

演習林年報

2007年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
2008.10

はじめに

東京大学は、わが国の民間法人としては7番目に広い土地（国内）を所有し管理しているようです。いささか心許ない表現なのは、明確な土地所有番付を見いだせていないからです。「東大はわが国で何番目の土地持ちか」と小宮山総長から問われ、関連分野の諸先生はもちろん林野庁や国土交通省など当たりから情報収集しましたが、いかにも存在しそうな端的な番付資料は見つからず、複数の情報を総合して先述の結論を導いています。

ただ「7番目」という数字は、今更ながら東京大学が、大規模な森林を管理し、利用していることを再認識させるものです。山手線内の5倍という広大で多様な森林と、100年を越える管理と計測の歴史。私たちが非常に大きな潜在力をもった森林に日々接していることを再認識しました。

私たちは、その大きな潜在力を十分に活かすことができているのでしょうか。大学を取り巻く環境は大きく変化しており、求められる教育機関としての姿、運営管理のあり方や社会との関わり方も変わってきています。その中で、演習林に求められるものも変化し、新たな「演習林像」が求められています。演習林が有している大きな潜在力を最大限に活かし、社会からの新たな期待に応えていく道を模索していかねばなりません。

従来からの延長線上で力一杯頑張ればよいというものではなく、活用にも、管理にも新たな姿が求められています。林業技術者の育成を中心に据えて森林科学を専門とする学生の実習や研究の場として利用し、そのフィールドとして木材生産あるいは林業経営という観点から良質な森林を維持するという旧来のモデルにとどまらない演習林像を描く必要があります。優れた教育研究の場（施設）として、その利用者に誰を想定し、どのようなプログラムと、どのような森林（フィールド）を提供していけばよいのでしょうか。

この文章では「新たな」という言葉を繰り返し使いましたが、大学演習林が大きな転換期に直面していることは間違いありません。「今のまま」という「解」は無いと考えた方がよいでしょう。であるとすれば、変化をずるずると受け止めるのではなく「こう変わりたい」という将来像をしっかりと描くことが重要です。多くの方々のご意見やご期待に真摯に耳を傾け、新たな演習林像を確立していきたいと考えています。

本年報には、演習林において展開されている教育や研究の「今」が掲載されています。この年報が、森林に関わる教育研究の発展の礎となるとともに、演習林に対する理解を深め、その「将来」を描くための一助となることを願ってやみません。

2008年10月
東京大学大学院
農学生命科学研究科
附属演習林長

下 村 彰 男

目次

はじめに

演習林の概要	1
演習林の活動	
教育活動	
大学院講義等	4
学部講義等	6
他大学の非常勤講師	8
招待講演・講師の派遣等	9
森林生態圏管理学大講座ゼミ	11
演習林研究部ゼミ	13
実習等	15
研究活動	
地方演習林研究活動報告	19
演習林技術職員等試験研究・研修会議	33
教職員の論文等	35
学会発表等	41
著書	45
外部資金によって行われた研究	46
社会連携	
公開講座・セミナー等	48
講師の派遣等	51
学外各種委員会等委員	52
国際交流	
交流事業	55
国際シンポジウム	55
外国人研究者の来訪	56
海外渡航	57
出版広報活動	
演習林報告	59
演習林	60
科学の森ニュース	61
演習林出版物	62
新聞・雑誌・放送等	64
利用状況	
演習林を利用して行った論文等	68
全利用者	71

研修		
	技術職員	112
	事務職員	112
各種委員会報告		113
安全衛生		
	安全・防災のための講習会等	122
	資格取得のための講習等	122
	災害統計	123
	山火事予防活動	123
資料		
	人事異動	126
予算配分と収入		
	予算配分	128
	収入	128
	演習林林産収入細分表	128
組織図		
	本部(研究部)	129
	千葉演習林	130
	北海道演習林	131
	秩父演習林	132
	愛知演習林	132
	富士演習林	133
	樹芸研究所	133
	田無試験地	133
付録		
	管理業務実行位置図	136
	管理面積集計表	143
	林相別蓄積集計表	143
	立木伐採量	144
	育林実行量	145
	植栽樹種	145
	素材生産総括表	146
	土木実行総括表	146
	道路現況	146
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 同縮尺図	148
	各演習林所在地及び連絡先	150
	演習林活動の統計	151
	教職員の写真	153
	演習林のシンボルカラー	
	里親制度パンフレット表紙の絵募集入選作品	

演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学に併合されて農科大学となり、1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて、教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら、北海道演習林(1899)、秩父演習林(1916)、愛知演習林(1922)、富士演習林(1925)、樹芸研究所(1943)、田無試験地(1929)が設置され、さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の、世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに、2000年度には大学院重点化が行われ、従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら、大学院農学生命科学研究科の他の附属施設(農場、牧場、水産実験所、家畜病院、緑地植物実験所)とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り、大学院教育にも主体的に参画している。現在、東京大学演習林(通称:科学の森教育研究センター)は7つの地方演習林と研究部から構成され、研究部を中心に演習林全体としての共通理念に立脚しつつ、各地方演習林独自の試験研究計画にもとづいて多くの教職員等が共同で管理する森林や多数の試験地によって支えられ教育研究および社会連携を進めている。

[地方演習林・研究部の概要]

千葉演習林は暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ、ヒノキ、マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を100年余にわたって実施してきた。また、モミ、ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し、学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では、特に自然史や生態系に関する調査、研究を幅広く行っている。

北海道演習林は亜寒帯に位置する総面積約23,000haの、東京大学では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって、林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方、奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用している。特に1958年以降、北海道演習林の天然林全域を対象として、北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」が実施しており、その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は冷温帯に位置し、総面積約5,800haと東京大学では2番目、青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあり、森林植生は変化に富み、生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また、急傾斜の山岳林における人工林施業法、映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

愛知演習林は崩壊の起きやすい花崗岩地域に設けられた総面積1,300haの演習林である。生産性の低い立地における森林水文ならびに森林植生回復に関する研究を主に行っている。70年にわたる量水観測は、わが国における土壌保全、水文研究の科学的、技術的発展に重要な役割を果たしてきた。また今日では、都市近郊林としての保健休養・環境保全機能や、河川の不安定化、洪水の増大などで苦しんでいる熱帯地域への国際協力面でも貢献が出来ると考えている。

富士演習林は富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価、環境教育に関する研究を行っている。また、演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。特用樹木の利用と育成に関する基礎研究や演習林内に泉源を持つ温泉熱を利用した温室における熱帯・亜熱帯産樹木の育成と展示を行っている。

田無試験地は本学農学部キャンパスに近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。大学に近いことや、土地が平坦なことから造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系の圃場実習や室内実験に多く利用されている。

農学部(弥生)キャンパスに設置されている研究部は東京大学演習林の教育研究活動の中心であり、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに、多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること、共同研究の企画調整、各演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行、森林科学関連学術雑誌の図書館機能、インターネット等を利用した情報公開促進・広報等、東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。

教育活動

大学院講義等

大学院農学生命科学研究科

生圏システム学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
梶 幹男	鎌田直人	後藤 晋			森林圏生態学
梶 幹男	鎌田直人	後藤 晋			森林圏生態学演習
山田利博	鴨田重裕				森林生物機能学
山田利博	鴨田重裕				森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
石橋整司	斎藤 馨				森林圏管理システム学
蔵治光一郎					国際森林学特論
石橋整司	蔵治光一郎				森林圏生態社会学演習
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也		森林圏水循環機能学
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也		森林流域管理学演習
山本博一	梶 幹男	鎌田直人	石橋整司	芝野博文	
山田利博	鴨田重裕	後藤 晋	尾張敏章	蔵治光一郎	生圏システム学実験・研究
廣嶋卓也					
樋口広芳	宮下 直	藤田 剛	山中征夫	池田裕行	生圏システム学総合演習
鈴木 牧					

森林科学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎					国際森林学特論
梶 幹男	鎌田直人	後藤 晋			森林圏生態学
石橋整司	斎藤 馨				森林圏管理システム学
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也		森林圏水循環機能学
山田利博	鴨田重裕				森林生物機能学
山本博一	梶 幹男	石橋整司	山田利博	芝野博文	
後藤 晋	鎌田直人	鴨田重裕	尾張敏章	蔵治光一郎	森林科学特別実験
廣嶋卓也					
山本博一	梶 幹男	石橋整司	山田利博	芝野博文	
後藤 晋	鎌田直人	鴨田重裕	尾張敏章	蔵治光一郎	森林科学特別演習
廣嶋卓也					

生圏システム学専攻博士課程

教 員 名					講 義 名
梶 幹男	鎌田直人	後藤 晋			森林圏生態学特別演習
山田利博	鴨田重裕				森林生物機能学特別演習
石橋整司	蔵治光一郎				森林圏生態社会学特別演習
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也		森林流域管理学特別演習
山本博一	梶 幹男	鎌田直人	石橋整司	芝野博文	
山田利博	鴨田重裕	後藤 晋	尾張敏章	蔵治光一郎	生圏システム学特別実験・研究
廣嶋卓也					

森林科学専攻博士課程

教 員 名					講 義 名
梶 幹男	鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕	森林生態圏管理学特別演習
井出雄二	石田 健				
酒井秀夫	山本博一	石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	森林生態圏管理学特別演習
廣嶋卓也	尾張敏章				
梶 幹男	鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕	森林生態圏管理学特別実験
井出雄二	石田 健				
酒井秀夫	山本博一	石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	森林生態圏管理学特別実験
廣嶋卓也	尾張敏章				
梶幹男	大澤雅彦	福田健二	斎藤 馨		森林生態社会学特別演習
梶幹男	大澤雅彦	福田健二	斎藤 馨		森林生態社会学特別実験

農学部講義・演習・実験実習

教員名			講義名	学部・課程(専修)等	開講年次・学期
山本博一 石橋整司 鴨田重裕 廣嶋卓也	梶 幹男 芝野博文 後藤 晋	鎌田直人 山田利博 尾張敏章	森林科学概論	生物環境科学課程・生物生産科学課程	3年次・冬学期
梶 幹男 山田利博 後藤 晋	山本博一 鎌田直人 石橋整司	芝野博文 石橋整司	森林生態圏管理学	生物環境科学課程・生物生産科学課程・応用生命科学課程	3,4年次・夏学期
宝月岱造 藤原章雄 池田裕行	松下範久 坂上大翼	梶 幹男 鈴木 牧	森林植物学実験	森林生物科学専修・森林環境科学専修・森林資源科学専修	3年次・夏学期
富樫一巳 宮本義憲	久保田耕平 前原 忠	加賀谷 隆	森林動物学実験	森林生物科学専修・森林環境科学専修・森林資源科学専修	3年次・夏学期
丹下 健 山中征夫	益守眞也 池田裕行	大澤裕樹 坂上大翼	造林学実験	森林生物科学専修・森林環境科学専修・森林資源科学専修	3年次・夏学期
鈴木 雅一 堀田紀文	芝野博文	蔵治光一郎	森林保全学実習	森林生物科学専修・森林環境科学専修・森林資源科学専修	4年次・夏学期
白石則彦	廣嶋卓也	藤原章雄	森林計画学実習	森林生物科学専修	4年次・夏学期
白石則彦	廣嶋卓也	藤原章雄	森林経営学実習	森林環境科学専修・森林資源科学専修	4年次・夏学期
永田 信 安村直樹	古井戸宏通 尾張敏章	宮本義憲	森林政策学演習	森林生物科学専修・森林環境科学専修・森林資源科学専修	3年次・夏学期
横川昇二 山本清龍	小野良平	伊藤弘	環境設計演習	森林環境科学専修	4年次・夏学期
鈴木 雅一 堀田紀文	芝野博文	蔵治光一郎	測量学実習	森林環境科学専修・森林資源科学専修	3年次・夏学期
龍原 哲	廣嶋卓也	藤原章雄	森林計測学実習	森林資源科学専修	3年次・冬学期
仁多見俊夫	藤原章雄		森林土木学実習	森林資源科学専修	4年次・夏学期
梶 幹男			樹木学	応用生命科学課程	3年次・夏学期
石橋整司 前原 忠	鴨田 重裕 田中延亮	廣嶋卓也	森林実習	国際開発農学専修	3年次・夏学期

教養学部講義・演習

教員名			講義名	開講学期
石橋整司 前原 忠	鈴木 牧 山中征夫		全学体験ゼミナール「森に学ぶ(1)危険生物の知識」	夏学期
石橋整司 藤原章雄	山本清龍 坂上大翼		全学体験ゼミナール「森に学ぶ(2)森林の保健休養機能」	夏学期

教員名		講義名	開講学期
山田利博 鈴木 牧	山中征夫 池田裕行 廣嶋卓也	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(3)フィールドで考える野生動物の保護管理」	夏学期
鴨田重裕		全学体験ゼミナール「森に学ぶ(4)(伊豆)伊豆の新炭林問題に取り組む」	夏学期
芝野博文		全学体験ゼミナール「森に学ぶ(5)森林生態研究の現場からの発見」	夏学期
石橋整司 鈴木 牧	藤原章雄 山本清龍 安村直樹	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(6)徹底検証『秩父』」	夏学期
梶幹男 宮本義憲	後藤 晋 尾張敏章	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(7)北方針広混交林と天然林施業を学ぶ」	夏学期
鎌田直人 山本清龍	前原 忠 坂上大翼	全学体験ゼミナール「都市の緑に学ぶ - 樹木の育成と管理 - 」	夏学期
鴨田重裕		全学体験ゼミナール「夏版 伊豆に学ぶ 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ」	夏学期
石橋整司 安村直樹	藤原章雄 山本清龍	総合科目D(人間・一般)「森林 - 人間系の科学」	夏学期
蔵治光一郎		総合科目D(人間・一般)「青の革命と緑のダム」	夏学期
斎藤 馨	藤原章雄	全学自由研究ゼミナール「デジタルビデオ森林映像製作 - 夏学期新緑編 - 」	夏学期
富樫一巳	鎌田直人	総合科目「森の生物学:共存する森林生物」	夏学期
梶幹男 宮本義憲	後藤 晋 尾張敏章	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	冬学期
鎌田直人 山本清龍	前原 忠 坂上大翼	全学体験ゼミナール「都市の緑に学ぶ(2)～都市の緑の健康～」	冬学期
山田利博 鈴木 牧	山中征夫 池田裕行 廣嶋卓也	全学体験ゼミナール「森林の炭素固定機能を検証する」	冬学期
鴨田重裕	齋藤暖生	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ」	冬学期
鴨田重裕 井上広喜	下村彰男 山中征夫	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ」	冬学期
石橋整司	山本清龍	全学体験ゼミナール「年輪を読む」	冬学期
石橋整司	藤原章雄	総合科目D(人間・一般)「冬の森林学」	冬学期
斎藤 馨	藤原章雄	全学自由研究ゼミナール「森林のデジタル化とフィールドワーク(冬学期紅葉編)」	冬学期

他大学の非常勤講師

教員名	講義名	対象学部	学科等	学年	大学名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1	電気通信大学
石橋整司	エコロジーA	造形学部	デザイン学科	2,3,4	東京造形大学
齋藤暖生	環境論特講	人文学研究科	環境社会学	M1,2	京都精華大学 大学院
齋藤暖生	commons論	人文学部	環境社会学	2,3,4	京都精華大学
齋藤暖生	総合E	文学部		1	関西学院大学
廣嶋卓也・山中 征夫・池田裕行 鈴木 牧	野生動物学実習	獣医学部	獣医保健看護学科	2	日本獣医生命 科学大学
池田裕行 (軽込 勉・藤平 晃司)	専攻演習の研修会	造林学研究室	森林総合科学科	3,4	東京農業大学
鈴木 牧	野生動物学実習	獣医学部	獣医保健看護学科	2	日本獣医生命 科学大学
鎌田直人	森林・緑地管理学特 別講義I	大学院応用生 物科学研究科		M1,2, D1,2,3	岐阜大学

注) 括弧内は技術職員

招待講演・講師の派遣等

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
廣嶋卓也	高校生のための森と海のゼミナール	高校生のための森と海のゼミナール実行委員会	千葉演習林, 千葉大海洋バイオシステム研究センター	2007. 7.30 ~ 8. 1
廣嶋卓也	緑の教室 (ふれあいポケット)	千葉演習林	千葉演習林	2007.10.19
梶 幹男 尾張敏章	アジアの持続可能性を考えるサマワーショップ	Intensive Program on Sustainability (IPoS)	北海道演習林	2007. 9.10 ~ 9.22
梶幹男	東大北海道演習林概要・林分施業法	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	北海道演習林	2007.10. 1
梶幹男	ブナ学ことはじめ	東京大学教養学部・駒場友の会共催	駒場コミュニケーションプラザ	2007.11.10
山中征夫	「鴨川アドベンチャー・清澄演習林」	千葉市立稲毛小学校	清澄作業所周辺	2007. 6.21
山田利博・廣嶋卓也・山中征夫・池田裕行	SPP自然体験活動講座	千葉県総合教育センター	演習林全域	2007. 7.26 ~ 7.27
山田利博・廣嶋卓也・山中征夫・池田裕行	「高校生のための森と海のゼミナール」 - 自然の中で考える環境問題と生物多様性 -	高校生のための森と海のゼミナール実行委員会	演習林全域	2007. 7.31 ~ 8. 2
山田利博・山中征夫・池田裕行	房総の林を知る～夏季生物教室	東京大学・教育学部中等教育学校	清澄, 札郷作業所周辺	2007. 8.20 ~ 8.22
山田利博	樹木医研修「幹の外科技術と機器による診断」	日本緑化センター	筑波研修センター, 筑波大学	2007.10. 2, 10.22
山田利博・廣嶋卓也・山中征夫・池田裕行	「緑の教室」	鴨川市立天津小学校・千葉演習林	清澄作業所管内	2007.10.19
池田裕行	「亀山に棲む生き物を調べよう」	君津市立坂畑小学校	猪ノ川, 郷台林道周辺	2007.10.31
山中征夫	「亀山自然観察事前学習」 - 房総の動植物相の特徴 -	千葉県立木更津高校	千葉県立木更津高校	2007.11. 5
廣嶋卓也	「夢・仕事ぴったり体験」	鴨川市立天津小学校	天津事務所	2007.11.15

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
山田利博	全国森林インストラクタ - 会 現地研修会「千葉演習林の 概要」	千葉県森林インストラ クタ - 会	猪ノ川, 郷台, 一杯水 林道周辺	2007.11.17 ~ 11.18
山中征夫	亀山自然観察学習「地層を 読む, 植生を読む」	千葉県立木更津高校	三石歩道周辺	2007.11.23
廣嶋卓也	伐採シナリオとアカウンティ ング方式に応じた森林炭素 吸収量の予測	国際緑化推進センタ -	日本森林技術協会	2008. 2.22
山田利博	木組工房・第3回エコツア - 「森林エコツア - 」	千葉県木材振興協会	清澄周辺	2008. 3.15
山田利博 山中征夫	「房総の植物と動物」, 「ヤマ ビルの生態」他	千葉演習林ボランティ ア会	演習林全域	2008. 3.15 ~ 3.16
山中征夫	「房総の自然勉強会」 - 房 総の地形と森林 -	千葉県山岳連盟・自 然保護委員会	郷台, 一杯水林道周 辺	2008. 3.29 ~ 3.30
鎌田直人	ふるさとの森 再び「森林シン ポジウム2007」	テレビ金沢	全日空ホテル金沢	2007. 7.21
鎌田直人	ブナ林と虫たち - なぜ森林 に虫があふれないのか? - 」	東大農場・演習林観 察会定例植物観察会	田無試験地	2007. 5.15
鎌田直人	生物間の相互作用と森の昆 虫のダイナミクス	秩父演習林	秩父演習林	2007.11.20
鎌田直人	カシノナガキクイムシからみ たブナ科樹木萎凋枯死被害 (ナラ枯れ)研究の最前線	樹木医学会	名古屋大学	2007.11.30
田中延亮	みなと森と水会議2007「森と 水学」講義 - 緑のダム -	東京都港区	赤坂区民センター	2007.11.29
蔵治光一郎	地球環境と調査	三重中学校	愛知演習林	2007. 7.23
山本清龍	総合的な学習の時間「森林 (もり)の変化と働き - 森の音」	山中小学校	山中小学校	2007. 4.19
山本清龍	総合的な学習の時間「森林 (もり)の変化と働き - 森の変 化, カエデをヒントに」	山中小学校	山中小学校	2007. 4.23
山本清龍	総合的な学習の時間「森林 (もり)の変化と働き - 木の 葉っぱ, 木が水を吸うことと, 葉の役割」	山中小学校	山中小学校	2007. 6.14

森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回(2007年4月27日(金)13:00~17:00/農学部1号館2階林学会議室)

山本博一(演習林研究部)「我が国における森林資源管理の問題点」

トリフコビッチ・スタンコ(森林博士3年)「Fitting frequency distributions of variable size circular plots in random and aggregated populations」

王 清春(森林博士2年)「Study on local residents' impact perception and participation behaviors in the nature reserves of China -Social exchange theory, structural equation modeling and questionnaire-

澤島 薫(生圏修士2年)「流域スケールを考慮した洪水流出の解明」

芝野博文(愛知演習林)「山地河川における高水流下過程・合流過程のシミュレーションによる降雨-流出応答関係の考察」

第2回(2007年5月25日(金)13:00~17:00/農学部1号館2階林学会議室)

広嶋卓也(千葉演習林)「京都議定書に即した国レベル森林炭素吸収量の予測」

梶 幹男(北海道演習林)「北海道演習林の前山長期生態系研究サイトの現状と今後」

中馬美咲(森林修士1年)「針広混交林における広葉樹稚樹の生育状況と環境要因に関する研究 ~ 修士論文 研究計画について~」

石塚 航(森林修士1年)「秩父山地におけるイヌブナ当年生残実生の実生バンクとしての評価」

中村麻祐子(森林修士2年)「南伊豆地方暖温帯下部二次林におけるアオキの生育」

第3回(2007年6月22日(金)13:00~17:00/農学部1号館2階林学会議室)

田中延亮(愛知演習林)「森林タイプと水消費量の関係 - 最近の成果と愛知演で調べたいこと - 」

安村直樹(演習林研究部)「人工林施業の国際比較」

石橋整司(秩父演習林)「小学生と大学生 森林と林業」

植村卓哉(生圏修士1年)「修士論文研究計画・秩父演習林における森林環境と哺乳類相の関係」

第4回(2007年7月20日(金)12:45~17:00/農学部1号館2階林学会議室)

鎌田直人(演習林研究部・田無試験地)「私の関わってきたナラ枯れ研究」

鴨田重裕(樹芸研究所)「エゾマツの更新問題克服への取組み」

坂上大翼(田無試験地)「材線虫病被害林分におけるマツノザイセンチュウ個体群の遺伝構造」

浅井英一郎(リサーチフェロー)「クズとイシミカワの生物防除のための候補昆虫の探索」

佐藤樹里(森林修士1年)「木造建造文化財の改修用材として使用できる高品質大径木に関する研究」

第5回(2007年9月21日(金)13:00~17:00/農学部1号館2階林学会議室)

前原 忠(田無試験地)「マイクロサテライトを用いたマツノマダラカミキリの繁殖生態研究」

堀 真人(大学院研究生)「ブナ科16種における葉の寿命と形態的・化学的特性の比較」

トリフコビッチ・スタンコ(森林博士3年)「Site-Specific Forest Regeneration Survey」

王 清春(森林博士2年)「Local residents' perception on the impact of nature reserve

-Case study of Beijing Labagoumen nature reserve-

第6回(2007年10月23日(金)13:00~17:00/農学部1号館2階 218-2号室)

佐竹(秋廣)敬恵(農学特定研究員)「千葉県我孫子市「古利根の森」にみる「協議システム」の現状と課題」

荒木田善隆(演習林研究部)「24年間に渡る巣箱設置調査から分かったこと - ヤマガラとシジュウカラの産卵について - 」

山本清龍(富士演習林)「自然公園利用者の富士登山に対する期待と期待阻害」

陳 鍾善(演習林研究部)「中国・吉林省における森林育成に関する研究 - 森林育成をめぐる担い手問題 - 」

佐藤樹里(森林修士1年)「木造建造物文化財における台湾ヒノキ利用に関する研究」

第7回(2007年11月16日(金)13:00~17:00/農学部1号館地下1階 生圏システム学専攻会議室)

井出雄二(生圏システム学)「メルクシマツ採種園における種子生産と遺伝的多様性」

山田利博(千葉演習林)「 γ 線による樹木腐朽診断」

尾張敏章(北海道演習林)「林分施業法における林分区分」

宮本義憲(北海道演習林)「ミズナラ作業級について」

鈴木牧(秩父演習林)「林縁がニホンジカ個体群を支える ~ 森林棲野生動物管理における景観構造分析の重要性 ~ 」

第8回(2007年12月21日(金)13:00~17:00/農学部1号館地下1階 生圏システム学専攻会議室)

藤原章雄(秩父演習林)「ロボットカメラ映像の毎日転送と利用者への提供システムの検討」

村田政穂(大学院研究生)「ブナ科樹木萎凋病の病原菌(*Raffaelea quercivora*)に対するブナ科樹木の感受性の差異とその発生機構」

中村麻祐子(森林修士2年)「南伊豆地方暖温帯下部二次林における林床の光環境とアオキの生育」

澤島 薫(生圏修士2年)「溪流流出が発生している複数の小流域と合流後の流出形態の比較検討」

第9回(2008年1月18日(金)13:00~17:00/農学部1号館地下1階 生圏システム学専攻会議室)

斎藤 馨(新領域生物圏情報学)「森林映像データを使った環境学習プログラム試験」

石塚 航(森林修士1年)「秩父山地天然林に優占するブナとイヌブナの実生と成木の分布」

中馬美咲(森林修士1年)「北方針広混交林における稚樹及び実生期の更新と環境」

石田 健(生圏システム学)「石田が秩父演習林で調べていること ミズナラ、スズタケ、突出峠の鳥」

第10回(2008年2月15日(金)13:00~17:00/農学部1号館6番講義室)

オ木 道雄(秩父演習林)「オオルリの繁殖生態記録」

大塚 明宏(千葉演習林)「造林補助金を活用した育林業務について」

千嶋 武(田無試験地)「田無試験地の繁殖期の鳥類相 - 20年前とどう変わったか - 」

木村 徳志(北海道演習林)「石綿鉱山採掘後58年目の植生回復状況について」

後藤 晋(北海道演習林)「環境条件の異なるアカエゾマツ個体群における生理・形態・遺伝変異」

第11回(2008年3月14日(金)13:00~17:00/農学部1号館2階林学会議室)

浅野 友子(演習林研究部)「平水時の山地斜面からの流出水中硝酸(NO_3^-)濃度の変動」

齋藤 暖生(秩父演習林)「森林 - 人間関係としてのキノコ採りの存続と展開 - 民族生物学的アプローチとその応用可能性 - 」

井上 広喜(千葉演習林)「私の研究背景 - 木本植物の細胞分化と二次代謝、植物の環境応答について」

池田 裕行(千葉演習林)「房総半島産ヒメコマツの保全活動」

山中 征夫(千葉演習林)「ニホンジカの生息状況とスギ・ヒノキ植栽苗の被害」

注)発表者名のあとの括弧内は発表時の所属。「生圏」は生圏システム学専攻、「森林」は森林科学専攻所属の学生であることを示す。

演習林研究部ゼミ

回	月日	発表者氏名	発表タイトル
第1回	2007. 4.20	植村 卓哉	足跡スタンプ法を用いたアライグマとタヌキの競合可能性の検証
第2回	2007. 5.11	石塚 航	修士研究課題「実生から稚樹への生き残りでみる秩父山地天然林優占種の更新動態」(仮)
		中馬 美咲	針広混交林における落葉広葉樹稚樹の生育状況と環境に関する研究(研究計画)
第3回	2007. 5.18	植村 卓哉	秩父演習林における森林環境と哺乳類相の関係
第4回	2007. 6. 1	佐藤 樹里	文化財建造物の補修用木材として使用できるヒノキ大径木に関する研究(仮題)
		陳 鐘善	中国・吉林省における森林管理の担い手問題
第5回	2007. 6. 8	澤島 薫	流域スケールを考慮した洪水流出プロセスの解明
		中村 麻祐子	論文紹介「Ecological Roles of stem Sprouts and Creeping Sprouts of Aucuba Japonica Thunb」
		浅井 英一郎	クズとイシミカワの生物防除のための候補昆虫の探索
第6回	2007. 6.15	堀 真人	都市林の植生の変遷 - 写真などの資料をもとに 今後の保全管理の手がかりとして -
		佐竹(秋廣) 敬恵	住民参加・パートナーシップによる森林管理・利用システムに関する研究 - 2001年森林ボランティア団体アンケートにみる「協議システム」の分類と現状 -
第7回	2007. 6.29	王 清春	Study on local residents' perception and participation behaviors in the nature reserves management around the megapolis of China- case study in Beijing-
		トリコビッチ・スタンコ	博士論文の流れについて
第8回	2007. 7.13	中村 麻祐子	南伊豆地方暖温帯下部二次林におけるアオキの生育について
第9回	2007. 9.28	トリコビッチ・スタンコ	Assessing Relative Density and Spatial Patterns of Artificially and Naturally Regenerated Forests
		澤島 薫	Concentration time of flood in small or medium river basin(中小河川の洪水到達時間)
第10回	2007.10. 5	中村 麻祐子	南伊豆地方暖温帯下部二次林における林床の光環境とアオキの生育
		石塚 航	秩父山地天然林優占種の実生期のリクルート過程と更新動態
第11回	2007.10.12	中馬 美咲	針広混交林における樹木の更新と環境に関する研究
第12回	2007.10.19	トリコビッチ・スタンコ	Assessing Spatial Pattern and Density of Trees in Evaluating a Success of Forest Regeneration: A Prospective Use of Mean of Angles and C-tree Sampling
		佐藤 樹里	研究計画 木造建造物文化財の補修材確保に関する研究
		澤島 薫	流域スケールを考慮した洪水流出プロセスの解明
第13回	2007.11. 9	植村 卓哉	秩父演習林における森林環境と哺乳類相の関係
		中村 麻祐子	南伊豆地方暖温帯下部二次林における林床の光環境とアオキの生育
第14回	2007.11.30	佐藤 樹里	木造建造物文化財における補修材確保に関する研究
		王 清春	博士論文の流れについて
第15回	2007.12. 7	石塚 航	修士研究課題「秩父山地天然林優占種の更新動態 ~ ブナ・イヌブナの成木分布の把握と更新動態への応用のための整理 ~ 」
		中馬 美咲	北方針広混交林における主要樹種の実生及び稚樹の更新に関する研究
第16回	2007.12.14	トリコビッチ・スタンコ	Assessing Density and Indexing Spatial Patterns of Trees:Plots, Distances and Angles in Forest Regeneration Surveys

回	月日	発表者氏名	発表タイトル
第17回	2008. 1.11	中村 麻祐子	修士論文発表の練習
		澤島 薫	修士論文発表の練習
		王 清春	study on local residents preceptions and participation behaviors in the nature reserver inChina
第18回	2008. 2. 1	佐竹(秋廣) 敬恵	地域社会における森林管理・利用への住民参加店パートナーシップに関する社会経済学的考察() - 森林ボランティア活動にみる森林管理・利用のための「協議システム」の分類と特徴 -
		村田 政穂	ブナ科樹木萎凋病の病原菌 (Raffaelea quercivora) に対するブナ科樹木の感受性の差異とその発生機構
第19回	2008. 2. 8	佐藤 樹里	木造建造物文化財に止揚する立木の評価に関する研究 - 製材品の規格および材質を推定する方法について -
		王 清春	アンケート調査の結果と分析
第20回	2008. 3. 7	石塚 航	秩父山地天然林に優占するブナとイヌブナの実生と成木の分布
		中馬 美咲	針広混交林に関する既存の研究(論文紹介)

実習等

演習林名	学校名	科目名	学部	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	22	5月	5
千葉	東京大学	森林植物学実験野外実習	農学部	森林系3専修	3~4年	19	5月	3
千葉	東京大学	2006年度森林経理/計画学・ 野外実習	農学部	森林系3専修	4年	18	5月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール 森に学ぶ(1) 危険生物の知識	教養学部		1~2年	15	5月	2
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール 森に学ぶ(3) 野生動物の保護管理	教養学部		1~2年	12	9月	4
千葉	日本獣医生命科学大学	野生生物学実習 - 1 -	獣医学部	獣医保健看護学科	2年	47	5月	3
千葉	日本獣医生命科学大学	野生生物学実習 - 2 -	獣医学部	獣医保健看護学科	2年	46	5月	3
千葉	東京大学	総合科目D「森林 - 人間系の 科学」	教養学部		1~2年	6	6月	2
千葉	千葉県立君津 青葉高等学校	総合学科環境系列校外学習		総合学科森林科学	2年	13	6月	2
千葉	東京大学	高校生ゼミ:自然の中で考える 環境問題と生物多様性	高校生			10	7月~8 月	3
千葉	静岡大学	地質調査法実習	理学部	生物地球環境科学科	院生	8	7月	5
千葉	東京大学	バイオリソーシツ研究室ゼミ ナー	分子細胞生物学 研究所		院生	8	8月	2
千葉	東京大学	地球惑星環境野外実習	理学部	地球惑星環境学科	3年	16	8月	5
千葉	附属中等教育 学校	房総の林を知る「夏季生物教室」			生徒	13	8月	2
千葉	京都大学	地質調査法野外実習	理学研究科	地質学鉱物学教室	3年	12	9月	5
千葉	東京大学	フィールド科学総合演習	生圏システム 学専攻	生物多様性科学研究 室	院生	17	10月	3
千葉	東京大学	2007年度森林計測学実習	農学部	森林経理学研究室	3年	3	12月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール 「森林の炭素固定機能を検 証する」	教養学部		1~2年	8	2月	4
千葉	東京学芸大学	地質学実習	教育系	環境科学分野	2~4年	12	3月	3
北海道	北海道大学	北海道大学大学院講義「景 域保全学」実習のため	大学院農学研 究院		院生	18	5月	4
北海道	東京大学	人間環境学専攻等学性の演 習林実習	新領域創成科 学研究科	人間環境学専攻	院生	7	7月	3
北海道	東京大学	森林動物学実験・森林政策 学演習	農学部3類		3~4 年,院生	24	7月	5

演習林名	学校名	科目名	学部	学科等	学年	学生数	実施月	日数
北海道	東京大学	フィールド科学総合演習(森 園管理)	農学生命科学 研究科	生圏システム学専攻	院生	8	8月	4
北海道	イエール大学 (米国)	イエール大学(米国)林学・環 境専門大学院臨地テーマ実 習	林学・環境専 門大学院		院生	7	8月	4
北海道	東京大学 主催	アジアの持続可能性を考え るサマーワークショップ (IPoS)			院生,学 生	33	10月	5
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール			1~2年	19	9月	4
北海道	北海道教育大 学		教育学部札幌 校	生物科	1~4 年,修士	54	10月	2
北海道	東京大学	自然環境学専攻生物環境学 専攻実習	大学院新領域 創成科学研究 科		院生	6	10月	3
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール			1~2年	23	3月	3
秩父	東邦大学	野外実習	理学部	生物学科	学部2年	20	6月	4
秩父	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林科学専攻造林学 研究室		5	4月	4
秩父	埼玉県立秩父 農工科学高等 学校	樹木採集実習	高校生	森林科学科	1年	41	7月	2
秩父	東京大学	自然環境学野外総合実習	新領域創成科 学研究科	自然環境学専攻	院生	47	4月	1
秩父	東京大学	総合科目森林-人間系の科 学	農学部	秩父演習林		9	6月	2
秩父	東京大学	システム創成学科領域プロ ジェクト	工学部	システム創成学科	学部4年	9	4月	2
秩父	東京大学	森林土壌学実習	農学部	森林科学専攻森林利 用学研究室		3	5月	4
秩父	東京大学	全学体験ゼミ「危険生物の知 識」	農学部	秩父演習林		12	6月	2
秩父	立正大学	学生実習(フィールドワーク IIE)	地球環境科学 部	環境システム学科		23	9月	4
秩父	首都大学東京	動物系統学野外実習	理工学研究科	生命科学専攻		14	8月	4
秩父	東京大学	森林植物学実験・野外実習	農学部			14	7月	4
秩父	東京都墨田川 高等学校	学校設定科目生物実習(1単 位)	高校生		2年	22	8月	1
秩父	共栄学園高等 学校	森林体験実習	高校生			3	8月	3
秩父	立教大学	実習(博物館資料論<巡検 >)	理学部	生命理学科	学芸員	34	7月	4
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「徹底検 証秩父」	農学部	秩父演習林		21	9月	4
秩父	東京大学	森園管理学実験	農学部			3	10月	2

演習林名	学校名	科目名	学部	学科等	学年	学生数	実施月	日数
秩父	東京大学	平成19年度森林科学実習	農学部	生物材料科学専攻	院生他	16	10月	3
秩父	東京大学	自然環境デザイン実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻		6	10月	2
秩父	東京大学	システム創成学科領域プロジェクト	工学部	システム創成学科		12	11月	2
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻		10	11月	2
秩父	東京大学	森林圏管理システム学	農学部	秩父演習林		3	12月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「冬の森林学」	農学部	秩父演習林		56	12月	1
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「冬の森林学」	農学部	秩父演習林		26	12月	2
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻		3	12月	1
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻		3	12月	1
秩父	東京大学	林政学研究室・国際森林環境学研究室合同ゼミ合宿	農学部	森林科学専攻林政学研究室他		8	12月	2
愛知	名古屋大学	測量学実習	大学院		3年	23	5月	1
愛知	東京大学	総合科目D人間・環境	教養学部			7	5月	3
愛知	東京大学	森林保全学実習	森林科学砂防研究室		4年	11	6月	3
愛知	名古屋大学	土壌学実習	大学院		4年	23	6月	1
愛知	三重中学校	特別授業「地球環境と調査」				24	7月	1
愛知	東京大学	測量学実習	森林科学砂防研究室		3年	6	8月	5
愛知	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部			6	9月	4
富士	東京大学	森圏管理学実習	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	3,4年	4	5月	2
富士	東京大学	総合科目(森林-人間系科学)実習	教養学部		1,2年	9	6月	2
富士	東京大学	環境設計学実習	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻	4年	10	7月	2
富士	東京大学	生態学野外実習	理学系研究科	生物科学専攻		8	9月	1
富士	東京大学	工学研究科	工学研究科	社会基盤工学専攻	3年	60	9月	3
富士	東京大学	全学体験ゼミナール「年輪を読む」	教養学部		1~2年	3	11月	2
樹芸	東京大学	森林管理学演習	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士	7	4月	2
樹芸	東京大学	総合科目「森林-人間の科学」	教養学部			3	6月	2

演習林名	学校名	科目名	学部	学科等	学年	学生数	実施月	日数
樹芸	東京大学	資源生物学基礎実験(植生調査)	農学部	緑地環境学専修	3年	7	7月	2
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ」	教養学部		1~2年	30	7月	4
樹芸	東京大学	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	22	8月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「森に学ぶ」	教養学部		1~2年	4	9月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	教養学部		1~2年	36	2月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	教養学部		1~2年	46	2月	4
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	17	4月	1
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	17	6月	1
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	17	7月	1
田無	東京大学	森林植物学実験	農学部	森林系3専修	3年	16	5月	1
田無	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系3専修	3年	18	6月	2
田無	東京大学	農場実習(昆虫採集)	農学部	農学系3専修	3年	36	5月	1
田無	白梅学園短期大学	森林実習		保育科	1年	22	4月	1
田無	白梅学園短期大学	森林実習		保育科	1年	23	4月	1
田無	東京大学教育学部中等教育学校	課題別学習「自然案内人になろう」				27	10月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部	全科類	1~2年	2	5月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部	全科類	1~2年	1	5月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部	全科類	1~2年	1	6月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部	全科類	1~2年	1	6月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部	全科類	1~2年	6	10月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部	全科類	1~2年	6	11月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部	全科類	1~2年	5	12月	1

■研究活動■

地方演習林研究活動報告

千葉演習林

人工林の管理を中心に据えた持続的な林業経営

持続的な森林経営に関する情報を提供し続けることを千葉演習林における試験研究の基本理念とし、800haを超えるスギ・ヒノキを中心とした人工林を持続的に経営することが最も重要な課題である。これを実現するため、以下を実施した。

- 1) 人工林を対象とした森林科学教育の維持：植付け、枝打ち、間伐など一連の保育を体験できる人工林を一定面積発生させた。
- 2) 遺伝的に均質な試料の確保：人工植栽に必要な苗畑、採種園を維持した。
- 3) 高齢級間伐による林種転換：地力の低い高齢人工林に対し、強度の間伐を実施し、ヘリコプター集材により収入を得たうえで、広葉樹の進入を促すための林種転換実験を開始した。

人工林の長伐期施業に対応した間伐方法の検討

人工林の約40%を占める80年生以上の高齢林を対象に、それら林分を健全に維持しつつ一定の収入を得るために、2007年度から次の3種の間伐方法を検討・実施している。

- 1) 良質材指向型間伐
本法は、80年普通伐期人工林に対し、60年生以降に比較的低い間伐率で間伐を実施し、個体間競争を緩和しつつ中径良質材の生産を目指す。
- 2) 大径材指向型間伐
本法は、160年長伐期人工林に対し、60年生以降に複数回にわたり比較的低い間伐率で間伐を繰り返し収入を得つつ、大径材の生産を目指す。
- 3) 林種転換型間伐
本法は、地力の低い高齢人工林に対し強度の間伐を実施し、一定の収入を得たうえで、以後は広葉樹の進入を促し、将来的に針広混交林への林種転換をはかる。

二ホンジカによる造林木被害の対策

千葉演習林で二ホンジカによるスギ・ヒノキの被害は1981年頃からで、特に目立つようになったのは1986年秋からであり、二ホンジカの生息数調査等を行っている。その後、1989年から新植地での電気柵、ネット物理柵、ヘキサチューブなどによる防護や大苗の植栽による被害対策を行ってきた。しかし、十分な効果が得られた場所は限られていた。そこで、2001年8月から新素材のネットを開発している東工コ・セン株式会社との共同研究を行い、新素材の「ダイニーマ」という超高分子ポリエチレンの高強度繊維から作られた防獣柵、生分解プラスチックの「ラクトロン」繊維製の幼齢木ネット、柵内を二ホンジカから見えにくくする網目を細かくした「ラティース」網を使用した柵の試験を行っている。幼齢木ネットでは良い効果が得られたものの各種柵では網目のサイズを変えるなど改良する点が明らかになった。また、これらの対策は資材コストがかかるものが多く検討の必要がある。今後は、以前より継続的に行ってきた大苗植林による対策で一定の効果が見られたので、大苗の形状や植付け間隔などを検討し研究を継続していく。

広葉樹二次林（旧薪炭林）の更新動態とシカの影響

暖地性二次林旧薪炭で更新のための伐採を実施し、伐採後の伐採跡地と未伐採隣接林分における生物相の変化を経年追跡する。伐採地の半分をシカ排除柵で囲い、シカによる更新阻害や生物相への影響を定量する。

今年度は設定（小坪沢、平塚、檜尾）された実験区の、毎木調査、光・地温の継続調査、シカの動態、土壤流出量、土壤動物相調査、鳥類相の観察など、広葉樹二次林伐採前及びシカ排除柵設置前の現状を把握するための調査を行った後、設定地の 1/2 の面積を伐採し、シカ排除柵の設置区と非設置区を設定した。今後、埋土種子調査、萌芽・実生の更新とシカ食害の関係、光・地温、シカの動態、土壤動物相、鳥類相、土壤流出量等を継続的に計測し、二次林の更新に関わるシカの影響を明らかにする計画である。

マツ材線虫病に対する抵抗性マツに関する研究

わが国においてマツ材線虫病によりマツ林の減少が続いている。千葉演習林ではマツ材線虫病に対する抵抗性育種を進めており 1983 年にアカマツ採種園を造成した。近年、採種園個体の枯死がみられることから採種園産実生苗に接種試験を行ったところ、すべての個体群で枯死率が 30% 以下であったことから抵抗性に問題が無いことが確認された。実生個体の方が母樹個体より抵抗性が増している可能性が示唆された。また、多くの抵抗性個体を集めた採種園による多様性の高い実生苗木生産を目指して、2001 年より新たな選抜を実施しており、現在 6 クローンを新たに採種園に追加する準備を進めている。また、抵抗性マツ同士の人工交配を実施してより抵抗性を高める組み合わせについても検討した。近年、抵抗性クロマツの需要が急増しており、その育成のため千葉県森林研究センターと共同研究を実施している。

ヒメコマツの保全に関する研究

寒冷期の遺存種とされる房総丘陵のヒメコマツは、近年急速に枯損が進み、現在、天然成木は千葉演習林内に 23 本（房総丘陵全体で約 80 本）しか確認されていない。天然に生育している個体は、お互いに離れているため花粉の流動性が少なく、他殖の稔性の高い種子生産が望めず、そのため更新が難しい状況にある。このままでは近いうちに絶滅の危険性が高いので房総のヒメコマツの保全について研究を進めている。なお、千葉県のレッドデータブックにおいてヒメコマツは最重要保護生物「A」にランクされ保護の必要性が認識されている。

研究の結果、天然個体、天然由来の庭木、植栽木等を使った人工交配を行うことにより、種子の稔性向上と、極端に減少した集団の遺伝的多様性の維持が可能になったことが明らかになった。現在生存している天然個体は 100 年以上前の集団の遺伝的形質を示すものであり、DNA 分析の結果、約 80 本しか残っていない房総丘陵のヒメコマツは、集団としての遺伝的多様性はまだまだ劣化していないことが明らかとなった。そこで、現在点在している天然個体を接ぎ木により増殖して、房総以外へ一時的疎開を含めた現地外保全方法の検討、現在の遺伝子を生かした採種園を造成するための研究を進めている。また、天然個体の枯死原因の一つにマツ材線虫病が考えられているが、その確認のため接ぎ木苗を用いたマツノザイセンチュウ接種試験やマツノマダラカミキリ放虫試験にも取り組んでいる。幼、稚樹に大きな被害をもたらすヒメコマツかさぶたがんしゅ病について病原菌を明らかにし、防除に関する研究を進めている。

ヤマビル生態と防除

房総半島南東部では 1985 年頃からヤマビルの大量発生が認められ、農林業などの野外作業における吸血被害が増大している。緊急な防除対策として殺虫剤等による化学的防除法が試みられているが、落ち葉の下などに隠れているヤマビルには効果がほとんどなく、逆に生態系への悪影響が懸念されるなど、実用化には至っていない。そこで、ヤマビルの密度低下や分布域の局限化など、防除方法を考える上で重要な個体群変動要因、生活史、生息環境要因などの調査・実験等を始めた。また、ニホンジカによるスギ・ヒノキ植栽苗の被害防止及びヤマビルの個体数増加防止のため、ニホンジカの有害駆除を行った。

これまでの調査・実験等から、ヤマビルにとってニホンジカは好適な寄生主であり、かつ運搬者であること。ヤマビルの増加にニホンジカの分布域拡大や個体数増加が密接に関係していること。ふ化から産卵までの最短期間は 5 ヶ月であること。非常に繁殖力が強い動物であること。最長寿命は 5 年であること。ヤマビルの生息場所である落葉の下の温度は林内気温と比較して変動幅が少なく比較的安定していること。林冠がうっぺいしている林床は湿度が非常に高く安定していること。天敵が不在なことを明らかにした。また、実用的な人的吸血被害防止策などを提案した。

ニホンジカの有害駆除を実施した地域では、今後、ヤマビルの生息数の減少が期待される。また、実習・研修等で来演した学生・利用者の現場作業における吸血被害防止策として、製作が簡単な「塩靴下」は、ヤマビルの足元からの侵入を防ぐのに有効であった。今後、ヤマビルの生態研究を基礎に、さらに発展させ、安全で効果的な防除方法の確立に向け努力していきたい。

総合対照流域法による森林—環境系の応答解析

森林が環境に及ぼす影響について、対照流域法を用いて総合的に解析することを目的として、2林班C1小班に袋山沢試験地を設定した。試験地は、ひとつの集水域(C流域, 2.03ha)からなり、北側のA小流域(0.80ha)、南側のB小流域(1.09ha)および残流域に3分される。植生は、スギ、ヒノキ壮齢人工林である。A,B,Cの3流域にそれぞれ量水堰堤が設けられており、流出水量・水質、堆砂量、浮遊砂濃度などを観測している。各流域の中では、降雨が樹冠に触れてから溪流へ流出するまでの経路に沿って、樹冠通過雨、樹幹流下雨の水量と水質、地表面流の発生場の分布、不飽和土壌水の深度分布と水質、地下水位の変動と地下水水質、地温、土壌中CO₂濃度などの観測を行った。

1998年度にB小流域の森林を皆伐した。伐採以降、皆伐の影響を重要課題として解析している。これまでにA,B小流域で観測された流出量を比較したところ、年流出量ではA流域の方が多いいにもかかわらず基底流出の逡減時の流出量は、B流域の方が多いいという結果が得られた。

2003年3月から新田における気象観測及び貯留降雨量等の観測に加え、2007年4月からは袋山沢試験地における流量観測を砂防教室から引き継ぎ、砂防教室の指導を仰ぎながら、千葉演習林として観測を続けている。

北海道演習林

北方天然林の持続的森林経営の実験

北海道演習林の施業は1907年の第1期施業案に始まる。第8期経営案(1958-1967)からは「林分施業法」を実行し、きめ細やかな天然林施業を行うようになった。2006年に第12期試験研究計画(2006-2015)を策定し、同計画に基づく施業実験を行っている。その特徴は、森林生態系を保全し生物多様性を維持しながら、各林分の個性に応じて健全で活力ある森林の育成を行い、木材生産機能と環境保全機能とを両立させる森林施業を目標とするところにある。

林分施業法では森林の取り扱いを、現在生育している樹木と天然更新状況を勘案して、天然林を択伐林分・補植林分・皆伐林分に区分して適切な施業を行う、としている。第12期計画では、約2万haの施業実験林を、地利級と林分成長率の観点から第1作業級と第2作業級に分け、それぞれ15年、20年回帰で施業を行う。過半の面積を占める択伐林分における択伐率は、回帰年ごとに森林蓄積量が現状復帰するという成長見合いの原則によるが、12期では11期の施業実績を参照して、第1作業級では択伐率10~16%、第2作業級では10~17%とした。天然林施業においては林相の改良を導くように伐採木を選ぶため低質材の伐採が不可欠となり、集材経費を低く押さえる必要がある。このために総延長933km、林道密度41.0m/haの林道(車道)が設置され、毎年適切なメンテナンスを行っている。

トマツ等の人工林は、北演産の種子を用いて育苗し、植林後は下刈り、つるきり除伐、間伐を適期に行い、主伐期を設けず将来は針広混交の天然林に誘導することとした。山火事跡の再生林でウダイカンバやミズナラなどが優占する林分では優良広葉樹大径木を育成するための間伐を行う。これらは適正密度になるように伐採率を決めている。

天然林内のウダイカンバ、ハリギリなどで顕著な衰退現象を示す大径木を収穫し銘木市に出品することは従前通りおこなった。また、「樽材の持続的生産システムの開発」の委託研究を受けて、第1、第2作業級にわたる約8,500haの天然林において2.6万本のミズナラ大径木(胸高直径40cm以上)の個体情報を収集した。これを元に林分施業法と整合するようにミズナラ大径木の持続的な収穫計画を立て、さらにミズナラの更新補助、枝打ち、密生区域の間伐等の実行計画とをあわせて、12期計画ではミズナラ作業級を設定し、実行を開始した。

2007年度には立木資材量にして26,000m³を収穫し1億400万円の収入を得た。このうち2,600m³を直営生産で行った。

天然林の長期観測大面積プロットにおける林分動態の解析

天然林では樹木の生育分布が均一でなく、わずかな立地条件の差の影響を受けやすい。その動態を把握するためには、十分な個体数と現存量のある箇所で大面積プロットによる継続調査が必要となる。また、樹木の寿命は非常に長く、環境変化に対する反応速度が遅いため長期的な継続調査によって個体の成長、枯死、更新の状況を把握することが不可欠である。これらについての良質な情報は大面積プロットにおける長期観測でしか得られない。本演では前山保存林に 1992～1993 年に 36.5ha(50m×50m, 146 プロット)、岩魚沢保存林に 1994 年に 19ha(50m×50m, 75 プロット)の大面積プロットを設置し、個体ごとの成長、進界・枯死木の記録測定を5年ないし 10 年ごとに行うことによって森林動態の長期モニタリングを実施している。1997～1998 年に前山保存林全プロット、2002-2003 年に前山保存林5年測定区 40 プロット、1999 年に岩魚沢保存林全プロット、2004 年に岩魚沢保存林5年測定区 27 プロットの測定を行った。2007 年には 1992～93 年に前山に設置した面積 36.5ha の大面積プロットのうち、1992 年に設置した 99 区画の毎木調査(胸高直径 5cm 以上)、副木(高さ 1.3m以上、胸高直径 5cm 未満)本数等の調査を完了した。

風害跡地における森林再生経過の解明

1981 年、北海道を襲った台風 15 号は北演の森林にかつてない大被害をもたらし、被害面積約 8,700ha(内、激害地 3,100ha)、被害材積約 81 万³に達した。このため、多くの施業実験地や試験地が壊滅すると共に、広大な無立木地も生じた。

これらの風害地に対し、風害直後からその森林復旧対策として、植林と地がきを施した。また、これらの復旧対策と関連して、風害地内に各種の試験地を設定し、植生の遷移、立地と天然更新状況、森林の再生過程における森林土壌動物相の変化、菌類の動向、さらには水収支の変化等を課題とする研究を行ってきた。その結果、これまでに風害跡地は、その環境により森林の回復パターンに大きな違いが見られること、また、地がきにより天然下種更新を期待できることなどが明らかとなった。

アイヌ民族文化の伝承と振興への寄与

1999 年の北海道演習林 100 周年記念式典において、当時の林良博学部長・研究科長は「北海道演習林の創立前にはアイヌの人たちが住んでいたことを忘れてはならない。今後はアイヌ民族との良い関係を作っていく。」と発言された。この提起を受けて、北海道演習林ではアイヌ民族文化の伝承と振興に寄与するために、北海道ウタリ協会支部やアイヌ民族が運営する博物館などに対して、造船のためのハリギリやカツラの超大径木、繊維をとるためのオヒョウやシナノキなどを持続的に提供している。

特に、幕藩体制による鎖国政策で造船が禁止された外洋帆船イタオマチブ(板綴り船)を、現代のアイヌ民族自身の手によって二百数十年ぶりに復元するに際して、主要資材を演習林が提供したことの意義は大きい。

2006 年にはオヒョウとシナノキの生立木に、伝統的な手法での樹皮剥による採取を行い、その後の経過観察を行っている。

2007 年には、白老アイヌ民族博物館に丸木船用のハリギリを有償提供した。さらに、アイヌ文化においてオヒョウは樹皮から繊維を採取する重要な樹であるが、シカによる樹皮食を防ぐため、小径木のオヒョウ約 80 本に、スキー場などで用いられる安全ネットを応用した保護網を施した。

エゾシカによる森林・農地被害

近年、エゾシカ個体数の増加に伴い、農作物や樹木への被害が大きな社会問題となっている。天然林試験地において、エゾシカによる被害の実態を把握する樹皮食と角とぎについての被害木調査を行っている。また、2006 年には農地被害抑制を目的として麓郷地区の農地に 81km(そのうち、15km は北演と隣接する)におよぶ防鹿柵を設置した。防鹿柵の設置に際しては、地元地権者より要望があり維持管理に必要と考えられた危険木の伐採を実施した。今後は、防鹿柵の効果やエゾシカをはじめとした野生動物への影響について調査していく必要がある。2007 年の 11 月中旬にライトセンサスによる調査を実施した。その結果、演習林内の個体数は少なかったが、農地際には 100 頭を越す集団が見られる箇所もあった。さらに、2008 年 3 月下旬に雪上の足跡調査を実施した。その結果、およそ 700m 以下の標高域に広い範囲に亘って足跡を観察した。

遺伝子資源の保全管理と利用に関する研究

北海道演習林では 1952 年に林木育種の研究が開始し、成長が速く耐病性や耐鼠性に秀でた樹種に関する研究および育成を行ってきた。現在では、諸外国から収集・育苗した北方系樹種を展示するとともに、カラマツ属やカバノキ属などの各樹種の成長特性、適応性、種分化などの調査を行っている。また、北海道産の約 40 種の樹木について、開葉・開花・紅葉などのフェノロジー特性を長期的に観測し、各樹種の種特性や産地特性の解明、種苗造林技術への応用などを行っている。

DNA マーカーを利用した北方系樹木の繁殖生態に関する研究では、トマツの倒木更新における種子散布実態を解明し、ほとんどの実生・稚樹は倒木のごく近傍の成木が母樹として貢献しているものの、100m を超える稀な長距離散布が起こっていることを示し、研究成果が *Molecular Ecology* 誌に掲載された。また、トマツの標高別試験地の解析から、トマツは自生する標高に適応しているために、高標高に植栽するには通常の種子を利用してうまく成林しない確率が高く、900-1100m 程度の高標高域から採取する必要があることを示した。また、トマツの高標高と低標高を相互に交雑した試験地の測定と解析から、成長は低標高×低標高 > 低標高×高標高の交雑 F1 > 高標高×高標高となっており、交雑タイプによって、成長が有意に異なることが示された。これらのデータは、非自生タイプを植栽した際の長期的な影響を評価する上でも貴重なものになると考えられる。

アカエゾマツは北海道の主要な針葉樹の一つで、最もよく造林されている樹種の一つである。アカエゾマツは湿地、蛇紋岩、高山、火山礫など他の樹木が生育できない劣悪な環境においても生育、成林しており、環境条件に適応した形態、生理特性を示していると考えられる。そこで本研究では、北海道富良野市という一つの地域内の様々な環境を対象として、各環境の気象、土壌などの環境条件を定量的に調べるとともに、生息するアカエゾマツの形態、生理特性に加えて遺伝的組成を調査した。その結果、高山帯と湿地の 1 集団でストレスに応答した形態や生理、遺伝子型に関する応答反応が起こっていることを示唆した。

アスベスト鉱山跡地の緑化

37・84 林班に残るアスベスト鉱山跡の緑化に取り組んでいる。一部に回復してきている植生の構造を調査し、土壌の pH や電気伝導度分析を行っている。いくつかの候補種を選定した。アカエゾマツの植栽とシラカンバ、ウダイカンバ、イヌエンジュなどの播種を行い小規模ではあるが試験地を設定した。今後、候補種ごとに根圏の観察と根圏の化学的指標によって、それぞれの環境適応能力を判断していく。

北海道演習林における植生調査の共同研究者である堀江は「北海道・超塩基性岩植物の化学的特性に関する研究」(2002)を著し、主に草本類の蛇紋岩植物や好石灰岩植物の生理的特性を明らかにしてきた。

アスベスト鉱山跡地は崩壊地形をなし、また蛇紋岩が風化し続けていることもあって土質は粉碎された岩屑からなりコンパクトで貧栄養である。緑化木については道内各地の崩壊地や岩壁で観察されるミヤマハンノキが有望な樹種であると考えられる。

ミヤマハンノキは、各種樹木図鑑等において亜高山帯の樹木とされているが、函館から霧多布までの太平洋に面する海岸段丘や岬の岩壁・崩壊地・ササ地などにほぼ連続的に分布・生育していることが観察されるが、これらの後背地には必ずしも高山帯のある山を伴わない(宮本、未発表)。また、幌満岳や内陸部の蛇紋岩地では比較的低標高の超塩基性岩地のガレ地においても分布している。

ミヤマハンノキはせいぜい樹高 10m の亜高木ではあるが、北海道演習林内では大麓山、大沢、仙人峡などに産する郷土樹種であること、崩壊地や岩壁など土壌の理化学性と養分の面で劣る場所に根付くこと、根粒バクテリアをもつ“肥料木”であること、比較的成熟が早く天然更新による増殖が期待できること、葉、球果などにある芳香成分の利用が将来期待できそうなことなどを勘案し、ドロマイト鉱山の残壁とともに、緑化のための有望な先駆性樹種として 2007 年度から播種と育苗の実験を開始した。

林分施業法における択伐林分と補植林分の比較分析

林分施業法における林分区分の作業基準を明示するため、択伐林分と補植林分の種組成および立木サイズを比較した。2002 年において 108C、109C 小班内に蓄積査定のために設けられた標準地のデータ(n=19)を分析に用いた。本研究により明らかとなったのは次の点である。1) 針葉樹の平均立木本数・平均蓄積は択伐林分が補植林分よりも有意に大きな値であった。2) ha 当たりの針葉樹立木本数(DBH5cm 以上)は、150 本以上で択伐林分、150 本未満で補植林分

であった。3) 針葉樹の立木本数は、全ての DBH サイズクラスにおいて択伐林分の方が補植林分よりも大きかった。以上の結果より、針葉樹の立木本数が択伐林分と補植林分を区別する際の主要な指標であると考えられた。

100 年生カラマツ人工林の成長経過

1908 年に植栽されたカラマツ人工林の調査を行い、その成長経過を明らかにした。また、カラマツ人工林収穫予想表との比較によって、高齢カラマツ人工林の成長特性を検討した。さらに、材質の観点からも評価を行い、カラマツ人工林長伐期化の可能性を考察した。

林内における GPS 測位精度の評価

林道上で 2 種類の GPS 受信機を用いた測位実験を行い、森林の立地条件や GPS 測位の方法、上空の GPS 衛星の状況が測位精度に及ぼす影響について評価した。実験結果を踏まえ、十分な精度を保障するための GPS 測量の作業指針について考察し、林内における GPS の利用可能性を検討した。

GIS データベースの構築

北海道演習林は過去 50 年間の施業実験を通じ、長期的かつ大面積にわたる森林情報を記録・蓄積している。そうしたデータを総合的に管理・活用するため、GIS (地理情報システム) を用いたデータベース化を進めている。

植生調査

旭川西高校 (現: 旭川市北邦野草園) の堀江健二博士の協力を得て、植生調査を行っている。2006 年末現在、維管束植物 940 分類群を確認した。2007 年以降、採取した標本の標本化作業を行っている。

水系総合調査

北海道演習林には大小多くの空知川水系が存在する。水系総合調査は生態系を地質や水質などの環境条件とともに流域規模で把握し、相互に関連する要素を総合的にとらえながら源流域の総合的理解を図ろうとするものである。学内外の各分野の専門家が会し、2007 年度には、奥の沢、一見沢で水温、水質、水量など流域の基礎的事項が測定されると共に、植物相、水生動物相についても調査を行った。

石灰岩地帯生態系総合調査および地質調査

北海道演習林内の石灰岩地帯の森林植生にはいくつかの特徴が見られる。例えば、石灰岩礫または露頭が散在する箇所ではエゾマツが地表更新し、林床にはササ類が無くシダ類が優占している箇所があり、せいぜい標高 500m までしか分布しないはずのカツラが標高 700m において大径木に育っている、などである。北海道演習林の施業では基岩地質については、これまでほとんど考察対象とされて来なかったが、林分樹種構成および更新、成長に関して新たな観点から調査研究し、施業に活かす必要が生じている。

2006 年には、ドロマイト鉱山が拡張されるため、森林と表土が消滅する区域の森林植生調査を行い、同区域の森林土壌の記録と水質の分析に備えて資料の採取を行った。

西達布神社山 (109 林班) においては、高度差 50m 延長 100m 以上にわたって径 1~2m 程度の石灰岩露頭を、空知層群 (橋本巨, 5 万分の 1 地質図幅説明書, 山部, 1953 年) に多数確認した。この箇所は、今までの地質関係の文献や図面には記載されていない。石灰岩には、103~105 林班の日高累層群中に産する石灰岩と同じく貝化石は認められなかった。

また、鉱山跡の緑化に参考となる知見を得るために、アメリカ東部五大湖周辺の石灰岩・ドロマイト地帯と中国東部の石灰岩地帯の植生視察を行った。

緑化に関しては、各地の観察結果と郷土樹種を用いることを考え、アスベスト鉱山跡と同様に緑化先駆樹種としてミヤマハシノキによる播種試験を開始した。

遺跡調査

2004 年の水系調査で仙人峡の最上流部の水中から偶然に縄文石器(黒曜石スクレーパー)を発見したことや以前から黒曜石のヤジリや破片が北演内で採取されたこと、また、北演と隣接する農地で遺跡発掘調査されていたことなどから、北演内に遺跡が存在することを予想していた。2005-2006 年に富良野市教育委員会によって、地形や湧水の存在を手がかりに林内で遺跡の試掘調査が行われ、8 カ所の縄文遺跡が確認され、北海道教育委員会に報告され、これらの箇所には遺跡表示看板を設置し、新規の土場や林道開設によって表土が不用意に攪乱されないようにした。

2007 年には、西達布川本流下流域において新たに2箇所の遺跡を確認した。主な出土品は、黒曜石の破片、縄文早期～晩期の土器片、北海道式石冠、スリ石、被熱した石片などである。そのほとんどをテフラ Ta-a(樽前山から 1739 年噴出した火山灰)の直下の森林褐色土層で確認し、表土が攪乱されていない貴重な遺跡である。しかし、現段階では本格的な調査の計画は未定である。

秩父演習林

トウバク沢水量水観測試験

トウバク沢土捨て場が流出特性へ及ぼす影響についてモニタリングしている。調査方法は、トウバク沢土捨て場最下部にある量水堰堤に量水計と雨量計を設置して行っている。

人工林固定測定地

人工林固定測定地はスギ、ヒノキ、サワラ、カラマツ人工林の成長量の測定や、間伐効果の検証を目的に 1956 年～1960 年に設置した。現在、矢竹沢地区、入山地区、大血川地区、栃本各所に 27 箇所の測定地があり、本学森林経理学研究室の協力を得て 5 年毎に測定調査を行っている。2007 年度は大血川地区のスギ、ヒノキ、サワラの 7 箇所の調査を行った。

二次林測定試験地

二次林測定試験地は、1982 年より 5 年間隔で測定してきたが、調査人員の関係から 1997 年に見直しを行い、全 15 プロットの内、7 プロットを調査間隔 10 年で測定することとした。2007 年は、測定年にあたり上記 7 プロットの測定を行った。

原生林測定

1970 年より演習林各所の原生林内に設定し、現在 13 箇所の測定地を 10 年間隔で測定している。調査結果から原生林の成長量と森林動態について基礎的なデータを収集している。

大面積長期生態系プロット

太平洋側の山地帯天然性林における森林動態の解明、自然攪乱によるギャップ形成とその修復過程の解明、森林生態系保全のための基礎資料を得ること、森林における各種の研究および共同研究の確保、各発達段階における十分な個体情報の収集および各樹種もしくは樹種群と地形条件との関連の解明などを目的として、27 林班と 28 林班(標高 1,132～1,314m)のブナ、イヌブナ、ツガが優占する天然林内に 6.875ha の大面積長期生態系プロットを 1994 年に設定した。1994-1995 年、1998-2000 年、2003-2005 年に毎木調査を行ってきた。これらの調査資料に基づいて、これまでに樹種構成・林分構造、林分動態、空間分布特性などについて解析を行い報告した。

ケヤキ人工林の間伐試験

1999年に三段階の間伐を実施してケヤキ人工林間伐試験地に仕立て直した。これらの試験地を今後10年間隔で成長量を測定する。また間伐する際、強度の間伐であったため残立木の幹から萌芽枝が多く出てきている。そこでそれら萌芽枝の枝打ちを2002年3月に実施した。以上の試験を行い、その経過を記録することにより、ケヤキ造林技術を確立することを目標とする。

広葉樹二次林整理伐試験

1970年に4林班は11小班広葉樹二次林で行った整理伐試験地について適時追跡調査を行っている。

森林性昆虫の発生予察

生物指標を利用して、道路周辺の樹木の健全度を総合的にモニターすることを目的とする。衰弱木や枯枝、枯死木、伐材の中に生育し、衰弱木などが増加するとその個体数が増加する穿孔虫類、特にキクイムシ類の発生状況を把握するために、秩父演習林内の滝川流域(国道140号沿い)と入川流域(入川林道沿い)にそれぞれ6ヶ所づつ誘引トラップを設置し、1989年以来、捕獲個体数のカウントを行ってきた。捕獲は2005年度で終了し、種別個体数のカウント作業を実行している。

人工林伐採跡地における天然下種更新の実用化

3林班い4小班人工林伐採跡地において木本の更新調査や埋土種子の発芽試験を行った結果、早期の天然更新による森林造成は不可能と判断した。そこで2005年度にヒノキ、カラマツを植栽した後(い30小班に改め)、シカ防護ネット柵で囲い、森林の回復を図ることにし、その回復過程を調査するため試験地を設定して植生調査を継続して行っている。

秩父山地亜高山帯域における風倒跡地林分の再生過程

17林班内標高1,950m付近の伊勢湾台風による被害跡地の再生過程を明らかにするため風害跡地と隣接する無被害林分に調査地を設置し、7~8年間隔で毎木調査を行っている。

ヒノキ天然性林のモニタリング

雁坂トンネル秩父坑口の直上に生育する天然ヒノキ林を主体とする林分は標高1,000m付近に位置し現存する天然林としては比較的低標高に分布する数少ない林分であること、国道140号線沿いの景観保全上重要な位置にあること、トンネルの出入口付近は排気ガス等の影響を受けやすい位置にあることから、この林分を安定的に維持するために長期的なモニタリングを継続している。

ブナ・イヌブナの豊凶現象に関する基礎的研究

これまでの調査でブナ・イヌブナの豊作年は2~5年間隔であることが分かったが、なぜブナ・イヌブナに豊凶現象があるのかについて明らかにする。調査方法はリタートラップによるリター生産量と堅果落下量の測定、それら堅果の健全率や虫害率(食害昆虫の同定)などの内容確認、デンドロメータによる直径成長量の測定、観察鉄塔を使った樹冠部のフェノロジー観察である。これらを行うことにより豊作年における同化物質の配分や、虫害と豊凶との関係を明かにし、ブナ・イヌブナにとって、なぜ豊凶現象が必要であるかを解明する。2007年度はリタートラップとデンドロメータの調査を行った。

シオジ・サワグルミの更新過程

秩父山地帯溪畔林の主要樹種であるシオジとサワグルミの更新特性とその過程について明らかにする。調査方法はリタートラップによるリター生産量と翼果落下量の測定、それら翼果の健全率や虫害率(食害昆虫の同定)などの内容確認、デンドロメータによる直径成長量の測定、実生の消長観察である。2007年度はシオジについてリタートラップ調査を行った。

ウダイカンバ優占二次林調査

1990年に設定したワサビ沢試験地(林齢60年)、2000年に設定した小赤沢試験地(林齢12年)、2001年に設定したバケモノ沢試験地(林齢約120年)を定期的に測定することにより、秩父山地におけるウダイカンバ優占林分の林分構造と成立過程を明らかにする。

ミズナラ等のフェノロジー観察

全演協地球環境モニタリングの一環として1996年度よりミズナラ、2004年度にケヤキ、ブナ、イヌブナを追加して開芽期、黄葉期、落葉期を大血川地区3個体、栃本地区6個体の計9個体について観察している。調査方法は4~6月と9~12月に週1~2回目視による判定と写真撮影を行っている。

ニホンジカ等の生息状況調査

秩父演習林ではニホンジカ等による森林への被害が増加していることから適正な密度管理の基礎資料とするため、2005年度から区画法とライトセンサスによるシカ等の生息状況調査を始めた。2007年度の区画法は、入川、滝川、大血川の3箇所で行った。ライトセンサスは、入川(入川林道)、滝川(国道140号線)、大血川(東谷林道)の3路線について毎月1回、日没後に調査を行った(9月の台風による災害の影響で一部、調査ができなかった箇所、期間がある)。

愛知演習林

森林水文に関する試験研究

試験流域の量水観測成果は、気象要素と共に観測以来70年の資料が蓄積され、きわめて貴重な学術的価値を有している。現在のところ、量水観測は降雨-流出系の観測体制であり、その種の研究が中心となっている。今後は、この貴重な森林量水試験の蓄積を継続発展させ、降雨遮断・蒸発散・斜面流出等の水文素過程別の研究と合わせて、水源涵養機能のメカニズムを解明する事を目標としている。量水観測は流域の森林成長と同時並行的に継続観測されることが学術的に貴重である。しかし、過去に遡って森林の成長過程を数量的に追跡する方法論が確立されていないことで、森林状態と雨水流出との関連付けが未だ十分に行われておらず、今後の研究テーマの一つである。2003年11月より科学技術振興事業団の戦略的創造研究推進事業(CREST)プロジェクト「森林荒廃が洪水・河川環境に及ぼす影響の解明とモデル化」が採択され、対象フィールドの一つとして犬山研究林内のヒノキ人工林、天然生林を選び、出水時の水量と水質の測定により、ヒノキ林の荒廃に伴う水量や水質の悪化の定量的評価に関する研究を開始した。蒸発散の直接測定が可能となり、これと組み合わせて森林微気象、樹液流、降水遮断の研究が赤津でも進展しつつあり、物質循環と水循環の関係の観測・解析と同様に森林生態学と水文学を結びつけた研究を計画している。2000年度には、量水観測システムを導入した。主要な試験流域である白坂・穴の宮・東山で水晶式水位計が高精度で長期間安定なシステムとして作動しており、白坂小流域では、流量観測のための6箇所の水位観測と4箇所の地下水位観測を更新した。いずれも5分間隔で水位を記録するシステムであり、主要3流域の総合気象観測装置導入と合わせて、大量のデータを総合した流域間比較研究が進展するものと期待している。白坂流域の降水流出の形成過程を分析するために、88.6haの流域内部に1ha程度の小流域を設定し、その流出観測を開始した。このような小流域はすでに北谷・南谷に50年の観

測の蓄積がある。これも合わせて小流域のハイドログラフがどのように異なるのか、それが微地形によって表現されるのかについての検討をおこなっている。同時に雨量観測点も5ヶ所新たに設置して分布型流出モデル構築へ向けた観測を開始した。

痩せ地における森林造成に関する試験研究

森林の環境保全機能(水源涵養, 洪水防止, 保健休養等)を維持しつつ木材生産をおこなう森林施業法を確立することも、愛知演習林における試験研究の重要な柱である。天然生林については、1968年からモザイク状皆伐更新法試験(沢を中心に左右交互に0.1haを上限に伐採, 植栽)を実施している。これは、一斉皆伐に比較して、土壌の保全、あるいは動植物への影響の軽減、台風等気象災害の防止等、有効と考えられる。人工林においては、間伐法を変えたスギ、ヒノキの総収穫量の比較試験、植栽密度を変えたヒノキ林の生産量の比較試験、恒続的収穫と森林の公益的機能の発揮を両立させる複層林造成試験、成長が劣る林地における肥培効果の比較試験などをおこなっている。第四期試験研究計画の策定に向けて様々な林分での蓄積を測定しどのような特性が現れているかの分析に向けた調査が進展した。

都市近郊林に関する試験研究

愛知演習林は立地条件から、東海都市圏を取り巻くグリーンベルト地帯にあるので、森林の多元的機能の解明を目的とする研究実験林としての位置づけを明確にし、都市近郊林・環境林に関する自然科学、社会科学を複合する総合的研究が始まろうとしている。計画段階の項目が多いが、具体的には、都市部と森林との相互作用を水・大気・土壌を媒介として測る自然科学的研究、都市住民あるいは都市部・農村部の産業活動に及ぼす森林環境の機能評価に関する社会科学的研究、森林生態系を保持しながら都市公園の機能を有する森林域の造成実験およびそれに関する各種の試験研究が挙げられる。犬山市民が期待する森林利用の形を探り、具体的な対応を検討する準備段階を迎えた。

環境教育と演習林の利用に関する研究

公開講座、地域開放特別事業、親子森林教室、小学校における社会化教育あるいは総合的な学習等で愛知演習林が利用されるケースが多くなってきている。これらの自然環境をベースとした教育に関してどのようなテーマがどのような学年に適しているのか、その効果がどのように評価されるのかを探りつつ、授業や野外活動の幅を広げてみたいと考えている。地域にあって研究機関としての存在意義を自然環境教育という形で実現し、質の高い教育内容を求めていくためのその効果を追跡するというプロセスが重要になっていくものと考えられる。多くの自然環境教育は最近開始されたばかりであるが、このプロセスの研究として、犬山研究林を利用した犬山市立今井小学校の探鳥会は、25年以上の実績を有しており、その効果を探るアンケート調査が実施された。探鳥会によってもたらされた効果として児童の自然を見る目が養われており、人格形成に及ぼした影響が少なからずあったであろうとの予見を与えるものであった。良質な自然が演習林に既に存在しており、教育者としての人的資質を高めることができれば社会からの要請に多面的にこたえることができるのではないかと考えられる。これまで同様技術職員が山づくりの専門家として位置づけられると同時に、自然教育の専門家としてその潜在能力を発揮できる道を探ることもつながっていく研究である。

森林生態系の長期モニタリングに関する研究

白坂北谷・南谷小流域を対象に量水観測が実施されている。これに並行して過去(1954年1976年2000年)にもその林分構成の調査が実施されているものの、連年のモニタリングに及ぶ内容ではなかった。1998年の科学研究費補助金(梶幹男代表:1998-1999年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2))により全域に20m×20mのプロット網を張り、その一部で長期観測を開始した。また、環境省からの委託研究である「モニタリング1000サイト」のコアサイトとして2004年に100m×100mのプロットを設置し、予算措置を伴って、毎年全木調査(約2200本/ha)を実施している。これには、地上徘徊性甲虫類のピットフォール調査やリタートラップによるリター・種子のサンプリング調査も含まれている。2007年には、小流域の全域をカバーする2.6haに10m×10mのプロット網を張り、全木調査を実施した。これにより、5000本-6000本程度の樹木を対象とするに至っている。また、全域の詳細な地形測量を実施し、1m×1mのDEMをGISソフトを使用して生成し、詳細な起伏を数値化した。微小なプロットではあるが、二つの小流域をカバーする樹木の空間分布がこれにより明らかとなり、さらには、土壌水分条件・斜面方位・日射量などの立地と樹木の空間分布との関連なども客観的に関係付けることが可能となった。環境省への100m×100m(1ha)のモニタリング1000サイトの調査結果の報告に加えて、それ

を取り囲む 2.6ha の調査結果は、愛知演習林独自の研究成果として小流域量水試験の観測結果とのすり合わせから様々な新しい研究テーマを生み出す基礎資料を提供することになると予測される。

富士演習林

環境教育および森林教育のプログラム開発、自然解説に関する研究

地球環境問題だけでなく、地域の自然環境に対する関心の高まりの中で、富士演習林が山中湖村の学校教育や社会教育の場面において果たすべき役割は大きくなってきている。また、山中湖村は観光地あるいはリゾートとして多くの来訪者を受け入れており、来訪者に地域理解を促すための有効な手段としてエコツアーガイドの活用が検討されている。富士演習林が目指す環境教育および森林教育のプログラム開発は、こうした地域の事情に合致するものであり、来訪者だけでなく地域住民に対して効果的なプログラムを提供することが重要な課題である。2007年度は、科研等の外部資金を用いて、森林教育プログラムの評価について検討を行った。

森林のアメニティに関する研究

森林が人に与える快適性を解明するには人の生理と心理の両面からの検討が必要である。2007年度は他の研究課題に重点があったため具体的な研究成果は無いが、利用者の意見や感想に耳を傾けそれらを空間に反映することで森林のアメニティを高度に発揮するという姿勢は一貫しており、これまでの経緯を踏まえつつ実証的にフィールドの管理を行ってきている。

森林のレクリエーション機能に関する研究

現在、世界的に森林の持続的な維持が課題となっているが、森林レクリエーション利用においても健全な森林を維持しつつ快適なレクリエーション機能を提供し続けるということが求められている。本演習林は、日本を代表する自然レクリエーション地域である富士伊豆国立公園富士団地の特別地域に位置し、利用拠点である旭日丘集団施設地区に隣接している。また、重要な自然資源である山中湖に面すると同時に、主要な利用動線である国道138号線が内部を横断している。このように自然環境面の優れた立地特性を持ち、森林レクリエーションに関する調査、研究を実証的に行いいるのが本演習林の大きな特徴といえる。この優良な立地特性を活かし研究を進展させるためには、レクリエーションの場として利用する人間へのアプローチが必要であり、その行動を通じた森林環境のあり方の追求が求められる。また、利用者の行動を特定する要因として空間構成やシーズンごとの特性などが考えられ、シーズンごとの利用に関する定期的な調査を行うことで、各要因の関係性を明らかにし空間計画へ繋げる。2007年度は全学体験ゼミ「森林の保健休養機能」を実施し、森林の機能について議論する場を設けた。

森林景観研究

これまで富士演習林では、景観への影響が大きいと考えられる皆伐等の施業は行わずに風致林として慎重に取り扱いが為されてきた。また、日本人の原風景と言われる富士山、更に風光明媚な山中湖畔に立地するという特性を活かしつつ1980年代より継続して行ってきた定点における景観観測など景観研究への資料が蓄積されており景観研究の一層の進展が望まれる。本演習林では、これまでの風致施業を踏まえながら「隠す」、「見せる」施業について再検討し、景観の類型化を通して研究サイトの多様性を向上させるとともに利用者から得られる森林景観の評価データを基に風致施業により生じる評価の差異を抽出し実際の施業へと活かす実践的研究を推進する。2007年度は全学体験ゼミ「森林の保健休養機能」等の機会を通して森林景観のSD評価実験データを蓄積するなど、景観管理のための情報の蓄積が進展した。

長期生態系プロット

試験地は、標高1,050mの3林班3小班。1920年代後半の植栽されたカラマツ人工林から天然生の落葉広葉樹林に遷移しつつある植生において遷移の過程を追跡し、東京大学の各演習林に設置されている長期生態系プロット等と比較して、森林動態の一般法則を発見することを目的にしている。2007年度に行った調査は無い。

気象観測

林班の標高 1,000m 地点において、1952 年 1 月から毎日午前 9 時の気温・雲量・気圧・湿度・地下 20cm と 1.0m の地温、最高・最低気温、積雪・霜などを記録している。富士山の東麓にあって変化の激しい山地気象で、冬は富士山からの寒風を受け、近隣の地区よりも低温・多雪であるなど、特殊な山地気象の様相を呈している。

樹芸研究所

フタバガキ科樹木の組織培養による増殖法に関する研究

フタバガキ科樹木は、木材利用上きわめて価値が高い重要樹種であるが、既に多くの地域で伐採され、その蓄積は激減している。このような状況から、フタバガキ科樹木を中心とした森林の再生が、熱帯地域における重要な課題となっている。フタバガキ科樹木は、開花・結実までに数十年という非常に長い時間を要し、隔年結果が著しく、安定的な苗の生産に苦慮している状態であり、現在、挿し木増殖を行って一定の成果を上げているが腋芽からの成長では枝性を示す個体が多い。しかし成長点培養をすることで枝性に有効であることが示されたため、組織培養を用い種苗を短期間に急速に増殖するための検討を行った。フタバガキ科樹木におけるこの利用は、熱帯林再生に大きな貢献が期待できる。さらに安定的な培養系の確立を目指している。

遺伝子資源の保存及びデータベース化

研究等の多様なニーズに応えるため、現在温室内において、350種あまりの熱帯・亜熱帯特用樹木の保存・増殖・管理している。その中には医薬品、香料、染料、食用、嗜好品等として現在も主要な成分として多くの場で使われているものもある。しかし、現在では輸入を規制される植物も多く日本国内での栽培もままならない植物も少なくない。そこでより安定的でかつ大量に研究用に供給出来る増殖技術の開発及び栽培法の確立が不可欠であると考え、様々な増殖・栽培法に取り組んでいる。栽培用土の選定、肥料の種類と量等種毎の最適な条件を検討する。また、上記の管理法を含めた熱帯・亜熱帯特用樹木のデータベース化を確立する。すでに現在もデータの蓄積が進んでおり個体毎のデータベース化を目指す。

暖帯常緑広葉樹林の持続的維持に関する繁殖生態学的研究

暖帯の常緑広葉樹林において、現在の主林木がどのような更新過程を経て新しく森林として再生するか、特に種子散布から稚樹の初期成長過程を中心に解明して、森林生態系を持続的に維持保全する上での計画の基礎として役立てたい。本研究は科研費の補助金を得て、暖帯常緑広葉樹林としてシイ類(スダジイ、コジイおよびその中間的形質を示すものを含む)が優占する二次林、クスノキ人工林を対象にして、林分の構造、種子生産、種子の動態、林床稚樹の動態、種子の発芽・稚樹の成長条件等について現地調査や実験を行っている。

シイ類、クスノキの種子飛散数の調査

シイ類を優占種とする約 70 年生二次林および、約 90 年生クスノキ人工林において、大きさの異なる個体の樹冠下で経年的に種子の飛散数とその形質について調査を続け、豊凶の周期性を調査している。また、2001 年から房総半島でもほぼ同一の調査を開始し、伊豆半島と房総半島における地域差を明らかにするための研究を進めている。

暖帯広葉樹二次林における林床稚樹群の動態

伊豆半島のシイが優占する広葉樹二次林において、林床稚樹群の動態について 3 年間にわたり追跡調査を行った。その結果、シイ類を中心に種子の豊凶に連動しながら林床稚樹群は増減を繰り返し、上層木の状態や林床の光条件により、樹種構成や密度が異なることが明らかとなった。しかし、多くの実生は数年でほとんど枯死することから、林床に形成される稚樹群は種子が継続的に散布されることにより維持されていると考えられる。今後、様々な環境のギャップを設定して稚樹の定着の関係について調査する必要がある。

ヤマガラとシジュウカラの繁殖生態調査

鳥類は森林の構造や水平的配置に応じて選択的に生息していると言われている。青野研究林では1972～1975年にヤマガラ・シジュウカラについて巣箱設置による詳細な研究を行った。その調査から30年が経過した。その間の森林構造の変化が鳥類相への様な影響を及ぼしたのか大変興味深い。そこで、30年前と同じ調査区に巣箱を設置して、巣箱を利用する種や利用率の違いなど、森林の時間経過による鳥類相への影響について検証を行っている。

大面積長期生態系プロット調査

森林の長期的な動態を明らかにするため、当所では1998年から、1haの長期生態系プロット2箇所を設定し定期的に調査を行っている。50年生二次林及び45～46年生二次林内に調査地を設定し、木本種の群落構造と種の多様性を調査した。調査地の内部を25m×25mの小区に区切り胸高直径4cm以上の個体について胸高直径を測定し、立木位置を記録した。今後継続して調査を行い、暖温帯林の代表的な林相である常緑広葉樹二次林の森林群集の動態を解明する。

森林水文に関する研究

樹芸研究所研究林域内の量水観測は降雨量と流出量との関係を基本に3流域(広葉樹天然林、針葉樹人工林、広葉樹人工林)で観測を行っている。東京農工大学との共同研究のより、それぞれ3流域の植生の違いによる流出量の違いなどのデータの分析を行った。今後とも引き続きデータを蓄積して、植生の違いによる水源涵養機能の差異を明らかにしたい。

ニホンジカの生育密度の変化とその植生に及ぼす影響に関する研究

近年、全国的にニホンジカの増加による被害が報じられており、東大演習林でもその調査、対策を行っている。樹芸研究所でも10年ほど前から徐々にその増加の傾向を観察してきたが、今回、その生育密度の変化とその植生に与える影響を明らかにするため生息密度調査を行った。調査はまず予備試験的に、ニホンジカが特に好んで食すアオキの食害状況をルートセンサスにより調査し、その結果を元に千葉演、秩父演とほぼ同様の方式で区画法による生息数調査を実施した。また、糞粒法による調査も実施した。アオキによる調査では、林道付近にはまだニホンジカの分布は少ないものの、境界など尾根にはすでにほぼ全域に分布し、アオキの生育に影響を与えだしている状況である様子が明らかとなった。区画法調査では、3区画について調査を行い、その結果クスノキ人工林区(45.58ha)にてニホンジカ8頭を目視にて確認した。他の区画では目視しなかった。また糞粒法調査では、1林班区が45個、クスノキ人工林区が255個、6林班区が113個となり、区画法とあわせてクスノキ人工林にニホンジカが多く分布しているという結果が明らかとなった。今後も毎年同様の調査を継続し、また植生の変化も調査することで、ニホンジカ個体数の変動とその影響を明らかにしていく。

田無試験地

都市域におけるマツ材線虫病の発生実態と防除効果

田無試験地における材線虫病被害木の発生本数を被害発生当初の1988年から経年記録するとともに、2001年から一部のマツ林において誘引捕獲によるマツノマダラカミキリ成虫の発生量調査を継続実施している。また、被害木を毎年網室に搬入し、マツノマダラカミキリ成虫の羽化脱出数とその消長を調査している。1999～2000年に再度の激害に転じた後、徹底的な伐倒駆除の実施によって、近年では微害で推移しているものの、マツノマダラカミキリ成虫は依然として多数捕獲されている。今後これまでに誘引および脱出捕獲したマツノマダラカミキリのDNA解析を行い、マツノマダラカミキリ個体群の遺伝的動態を明らかにすることを計画している。

田無試験地内のマツノザイセンチュウ個体群のDNA解析を実施し、2ヵ年にわたって供試した全ての枯死木中のほぼ全ての個体が単一のホモな遺伝子型であり、外部からの遺伝子流入が無く被害が隔離されていると考えられることを明らかにし、Phytopathology誌(第97巻3号,2007)に発表した。

ナラタケモドキの生態と病原性

広範な樹木種に根腐れ被害を引き起こすナラタケモドキの生態と感染様式、宿主範囲や病原性などについて明らかにし、効果的な防除法などの管理手法を確立するため、2000年以降様々な試験を実施している。2006年度には全域において子実体発生調査を行うとともに、菌株の対峙培養によるジェネットの識別を行い、2000～2003年に行った同様の調査との比較からジェネット分布の推移について明らかにした。

都市林生態系長期観測

暖温帯落葉広葉樹二次林の長期動態調査を目的として、1999年2月に林班4小班に面積0.42haのプロットを設置し、第1回目の調査を行った。2005年1月に第2回目の調査を実施し、断面積合計が増加し、後継樹の進界が進んでいること、林分構造に大きな変化がみられないこと、等を明らかにした。

一方、都市において樹林が微気象に与える影響を観測する目的で、生態系長期観測プロット内に気温センサーを設置するほか、第一苗畑気象観測露場において気温・湿度・降水量・地温(地下10・20・30cm)の観測を継続実施している。2006年12月26日には季節はずれの大雨で142.0mmの日降水量を記録した。

都市部における気温上昇と樹林による緩和効果について検証するため、田無試験地内外の気温および緑被率の経年変化を調査し、2006年度技術職員等試験研究・研修会議において発表した。

ヒノキ採種園の種子生産性

ヒノキ優良種苗の安定的供給を目標として、2004年に秩父地方産天然生ヒノキ実生家系のクローン苗を用いたクローン採種園を造成した。現在育成途上であるが、2005年より着果量・種子量等の連年調査を開始している。

演習林技術職員等試験研究・研修会議

場所

東京大学大学院農学生命科学研究科附属科学の森教育研究センター秩父演習林

日程

[平成 19 年 10 月 31 日 (水)]

試験研究発表会(於:ワサビ沢展示室)

11:00 西武秩父駅集合

12:00 ワサビ沢展示室到着

昼食

12:40 挨拶 下村彰男 林長

12:50 試験研究発表(○:発表者) 司会:芝野伸策

「千葉演習林におけるマツ材線虫病に対する抵抗性選抜育種」

○米道 学・鈴木祐紀・塚越剛史・里見重成・軽込 勉(千葉演習林)

13:10 「石綿鉱山採掘跡 58 年目の植生回復状況について」

○木村徳志・大川あゆ子・及川 希(北海道演習林)

13:30 「新居試験地における広葉樹植栽試験の概要と当年の植栽結果」

○澤田晴雄・渡部 賢・井上 淳・高德佳絵(愛知演習林)・米道 学・大塚明宏・鶴見康幸(千葉演習林)

13:50 「ウルシ科植物が含有するウルシオール・ラッコール量の季節変動および地域特性」

○高德佳絵・澤田晴雄(愛知演習林)・福岡 哲(北海道演習林)

14:10 休憩・集合写真撮影

14:20 「オオルリの繁殖生態記録」

○オ木道雄(秩父演習林)

14:40 「田無試験地の繁殖期の鳥類相 - 20 年前とどう変わったか - 」

○千嶋 武(田無試験地)・荒木田善隆(研究部)

15:00 「荒川源流域に生息するイワナの遺伝子解析(暫定報告)」

○大村和也(研究部)

15:20 「木材生産時に発生する残材等を活用した林業体験教育プログラムの開発(中間報告)」

○高野充広(秩父演習林)

15:40 休憩

15:50 「造林補助金を活用した育林業務について」

○大塚明宏・永島初義・鶴見康幸(千葉)

16:10 「温室全面自動灌水化予備試験の報告と温室管理の変遷」

○辻 良子・渡邊良広・村瀬一隆・辻 和明(樹芸研究所)

16:30 「地図情報を高機能化するためのGIS導入の試み

- 山部樹木園における見本林位置図の作成 - 」

○中川雄治・小川 瞳・大屋一美・丹羽悠二・小池征寛(北海道演習林)

16:50 研修(講義)「千葉演習林における森林管理システムの構想」

廣嶋卓也 講師(千葉演習林)

17:20 講評 石橋整司 教授

17:30 試験研究発表会終了

宿泊:川俣学生宿舎

[平成 19 年 11 月 1 日 (木)]

現地研修

8:30 自然観察ガイド法現地研修(高平→滝沢軌道跡→川俣学生宿舎)

13:00 昼食後解散

参加者

研 究 部: 下村彰男・荒木田善隆・大村和也・相川美絵子

千 葉 演 習 林: 廣嶋卓也・大塚明宏・米道 学・里見重成・阿達康真・三次充和

北 海 道 演 習 林: 木村徳志・中川雄治

秩 父 演 習 林: 石橋整司・藤原章雄・鈴木 牧・芝野伸策・神塚武一・栗田直明・齋藤俊浩・西山教雄・高野充広・
才木道雄・吉田弓子・算用子麻未

愛 知 演 習 林: 荒木田きよみ・澤田晴雄・高德佳絵

富 士 演 習 林: 千島 茂

樹 芸 研 究 所: 鴨田重裕・渡邊良広・辻 良子

田 無 試 験 地: 千嶋 武

緑 地 物 実 験 所: 南 定雄・榎本百利子



教職員の論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
Toshihiro YAMADA・ Daisuke SAKAUE	Changes in hydraulic conductivity of <i>Quercus crispula</i> seedlings surviving the inoculation of <i>Raffaella quercivora</i>	東大演報	117	65-76	2007
渡部賢・井上淳・高德佳 絵・荒木田きよみ・後藤 大成・芝野博文・澤田晴 雄・荒木田善隆	材線虫病被害後の海岸林における樹種構成の比較 - 七里御浜国有林と愛知演習林新居試験地の事例 から -	演習林（東大）	47	1-29	2008
米道学・鈴木祐紀・塚越 剛史・里見重成・軽込勉	千葉演習林におけるマツ材線虫病に対する抵抗性選 抜育種	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		1-4	2008
木村徳志・大川あゆ子・ 及川 希	石綿鉱山採掘跡58年目の植生回復状況について	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		5-13	2008
澤田晴雄・渡部賢・井上 淳・高德佳絵・米道学・ 大塚明宏・鶴見康幸	新居試験地における広葉樹植栽試験の概要と当年の 植栽結果	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		14-25	2008
高德佳絵・澤田晴雄・福 岡哲	ウルシ科植物が含有するウルシオール・ラッコール量 の季節変動および地域特性	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		26-28	2008
才木道雄	オオルリの繁殖生態記録	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		29-32	2008
千嶋武 荒木田善隆	田無試験地の繁殖期の鳥類相 - 20年前とどう変わったか -	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		33-40	2008
高野充広	木材生産時に発生する残材等を活用した林業体験 教育プログラムの開発（中間報告）	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		41-45	2008
大塚明宏・永島初義・鶴 見康幸	造林補助金を活用した育林業務について	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		46-49	2008
辻 良子・渡邊良広・村 瀬一隆・辻 和明	温室全面自動灌水化予備試験の報告と温室管理の 変遷	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		50-55	2008
中川雄治・小川 瞳・大 屋一美・丹羽悠二・小池 征寛	地図情報を高機能化するためのGIS導入の試み -山 部樹木園における見本林位置図の作成-	平成19年度技術職員 等試験研究・研修会 報告		56-62	2008
中島徹・広嶋卓也・白石 則彦	京都議定書・3条4項林面積の拡大を視野に入れた森 林施業の実施面積に関する分析	日林誌	89（3）	167-173	2007
小川安紀子・藤原章雄	USLTERのエコロジカル・インフォマティクス技術の動 向,日本森林学会発表等誌	日林誌	89（5）	360-364	2007
堀田紀文・広嶋卓也・坂 上大翼・山本清龍・田中 延亮・柴崎茂光	森林の多面的機能を題材とした森林教育テキストの作 成方針 - 既存の森林教育テキストの比較解析から	日林誌	89（6）	374-382	2007
鎌田直人	IUFRO拡大理事会報告-現在の大きな動き	IUFRO-J NEWS	92	1	2007
齋藤暖生	『コモンズ論再考』への再コメント	Local Commons	2	11	2007
齋藤暖生	山菜・きのこ採りのメンタリティ	Local Commons	2	14-15	2007
嶋田大作・齋藤暖生	山梨県身延町現地調査報告-環境保全の砦としての 里道・青線-	Local Commons	3	6-8	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
齋藤暖生	近刊紹介『コモンズ・所有・新しい社会システムの可能性-小繋事件が問いかけるもの-』	Local Commons	4	27	2007
三俣学・齋藤暖生・嶋田大作	英国ランカスターとアイル・オブ・マンでのセミナー共同開催の記録	Local Commons	4	7-10	2007
齋藤暖生	図書紹介『日本の村落構造』	Local Commons	5	23-24	2007
鎌田直人	ナラ・カシ類の害虫とカシノナガキクイムシ	Tree Doctor	15	20-23	2008
相川美絵子	樹木保全の普及活動 - 「巨樹・古木フォーラム in ぶなばし」の開催を通して -	グリーン・エージ	2007年12月号	26-27	2007
山本清龍・本郷哲郎	青木ヶ原樹海における適正利用にむけたモニタリングシステムへの社会的指標の導入	ランドスケープ研究（日本造園学会発表等誌）	70（5）	543-546	2007
蔵治光一郎	伊勢湾流域の森林の現状と課題	伊勢湾再生シンポジウム「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」論文等集、10月18日テレビアホール		30-35	2007
蔵治光一郎	参加者の楽しみを優先する市民調査 - 矢作川森の健康診断の実践から見てきたもの -	環境社会学研究.	13	20-32	2007
山本清龍	自然公園利用者の富士登山に対する期待と期待阻害	環境情報科学論文等集	21	129-134	2007
蔵治光一郎	森と水 - 森林管理の現場から - 第1回 森と水をめぐる情勢	現代林業	501	44-48	2008
山本清龍	自然公園に対する期待と管理計画	国立公園	654	16-19	2007
蔵治光一郎	新刊紹介 水の革命 - 森林、食糧生産、河川、流域圏の統合的管理 -	山林	1486	49	2008
尾張敏章	オランダにおける森林認証紙の市場動向	紙パルプ	704	25-29	2007
井口和信・福原賢二	速報 北海道富良野市における国道沿い危険木診断の事例	樹木医学研究	11（4）	188-189	2007
山中征夫	ヤマビル (<i>Haemadipsa zeylanica japonica</i>) - 日本で唯一の陸生吸血ビル -	森林科学	51	43-46	2007
蔵治光一郎	論壇 流域圏学会発表等と青の革命	森林技術	788	2-6	2007
陳 鐘善・石橋整司・郭忠玲	中国、吉林省の林業経営における税制および費用負担制度について - 日本との比較検討から -	森林計画学会誌	40	151-162	2007
竹添勝俊・広嶋卓也・中島徹・白石則彦	間伐によって確保されるFM林面積の算定と将来予測 - 岐阜県民有人工林を事例として -	森林計画学会誌	41	61-72	2007
中島徹・広嶋卓也・白石則彦	地域レベルの森林整備と林業補助金制度に関する実証的検討: - 岐阜県を事例として -	森林計画学会誌	41	179-186	2007
尾張敏章	北欧諸国の伐出作業の現状と我が国の林業	森林利用学会発表等誌	22（2）	79-80	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
蔵治光一郎	水のガバナンスとは何か - 日本の水管理の歴史と現状、将来展望	水をめぐるガバナンス - 日本、アジア、中東、ヨーロッパの現場から (東信堂)		3-24	2008
田中延亮・久米朋宣・吉藤奈津子・田中克典・瀧澤英紀・白木克繁・小坂泉・タンタシリンチャチャイ・タンタムニボン・鈴木雅一	タイ北部の熱帯季節林における現地観測をベースにした水文気象研究 - 既往研究の整理と今後の課題 -	水文水資源学会発表等誌	20	347-361	2007
鎌田直人	ブナ林と虫たち - なぜ森に虫があふれないのか？	東大農場・演習林観察会ニュース	113	1-5	2007
山本清龍・斎藤馨	国道140号線にみる風景と道路の役割	道路と自然135, 20-21	135	20-21	2007
尾張敏章	機械化によるコスト削減に向けて - 北海道林業の挑戦 -	北方林業	59 (10)	4-6	2007
梶幹男	旭岳のダケカンバ林	木の建築	19	裏表紙 + 写真	2007
梶幹男	大台ヶ原のトウヒ林	木の建築	17	裏表紙 (写真 + 文章)	2007
梶幹男	十勝平野のカシワ林	木の建築	18	裏表紙 (写真 + 文章)	2007
尾張敏章	フィンランドの製材業	木材情報	194	1-5	2007
Owari T・Sawanobori Y	Market benefits of chain-of-custody certification: perspectives of Japanese suppliers	Abstract Proceedings of the FORMATH KOBE 2007 INTERNATIONAL (the 7th International Symposium on Forest Resource Management and Mathematical Modeling)		22	2007
Naoto Kamata	Pine wilt IPM in Japan: Tactics and strategies	Abstracts of International Symposium on Pine Wilt Disease in Asia		19	2007
A.M. Liebhold Marek Turcáni Naoto Kamata	Inference of Adult Female Dispersal from the Distribution of Gypsy Moth Egg Masses in a Japanese City.	Agricultural and Forest Entomology	10	69-73	2008
Inoue H・Kamoda S・Terada T・Hamamoto H・Saburi Y	Menadione-induced cell death in <i>Ginkgo biloba</i> cell cultures	Bulletin of the Tokyo University Forests	118	25-43	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
Suzuki M・Miyashita T Kabaya H・Ochiai K Asada M・Tange T	Deer density affects ground-layer vegetation differently in conifer plantations and hardwood forests on the Boso Peninsula, Japan	Ecological Research	23 (1)	151-158	2008
Kume T・Takizawa H・ Yoshifuji N Tanaka K・Tanaka N・ Tantasirin C & Suzuki M	Impact of soil drought due to seasonal and inter-annual variability of rainfall on sap flow and water status of evergreen trees in a tropical monsoon forest in northern Thailand	Forest Ecology and Management	238	220-230	2007
Murata M・Yamada T・ Matsuda Y and Ito S	Discolored and non-conductive sapwood among six <i>Fagaceae</i> species inoculated with <i>Raffaelea quercivora</i>	Forest Pathology	37 (2)	73-79	2007
Naoto Kamata Hisahito Oana Miwa Kasai Kenryu Kato Tohru Mitsunaga Nobuko Kakiuchi Kojiro Esaki Masayuki Mikage Shin- Ichiro Ito	Induced Response of Oak Trees to <i>Raffaelea quercivora</i> as a Defense against a Vector Ambrosia Beetle <i>Platypus quercivorus</i>	From Biomolecules to Ecosystems: an Interactive Chemical Message for our Future. 4th Asia-Pacific Conference on Chemical Ecology (September 10-14 2007 Tsukuba Japan)		114	2007
Owari T・Sawanobori Y	Analysis of the certified forest products market in Japan	Holz als Roh- und Werkstoff	65 (2)	113-120	2007
Hirofumi Shibano Fadong Li Wanjun Zhang Yonghui Yang	Water balance and runoff response to rainfall at small mountainous catchment in the headwater area of North China Plain	International Conference on Precision Conservation of soil and water, 35			2007
Hiroshima T	Estimation of the Gentan probability using the price of logs in private plantation forests	J For Res	12 (6)	417-424	2007
Kaoru Saito Kazuki Imura Takuya Okamoto Akio Fujiwara	Historical forest landscape reconstruction using continuous forest management data from 1931 to 2001 at Tokyo University forest in Chichibu, central Japan	J For Res	12 (3)	193-200	2007
Naoto KAMATA Kurt W. GOTTSCHALK	Special feature: alien pests threatening biodiversity of forest ecosystems	J For Res	12 (5)	325-326	2007
Hashimoto S・Tanaka N・Kume T・Yoshifuji N・Hotta N・Tanaka K & Suzuki M	Seasonality of vertically partitioned soil CO ₂ production in temperate and tropical forest	J For Res	12 (3)	209-221	2007
Komatsu H・Tanaka N & Kume T	Do coniferous forests evaporate more water than broad-leaved forests in Japan?	Journal of Hydrology	336	361-365	2007
Nakajima T Matsumoto M Kanomata H Takezoe K Hiroshima T and Shiraishi N	The estimation of plantation forest resources focusing on the long rotation silvicultural practices in the management unit level: A case study in First Memorial Forest of Ise Jingu.	Kyushu J For Res	60	6-8	2007
Ohkawa A & Ito T	The genus <i>Plectrocnemia</i> Stephens of Japan (Trichoptera; Polycentropodidae)	Limnology	8 (3)	183-210	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
Aizawa M· Yoshimaru H· Saito H· Katsuki T· Kawahara T· Kitamura K· Shi F· & Kaji M	Phylogeography of a northeast Asian spruce, <i>Picea jezoensis</i> , inferred from genetic variation observed in organelle DNA markers	Molecular Ecology	16	3393-3405	2007
Lian C· Goto S· Hogetsu T	Microsatellite markers for Sachalin fir (<i>Abies sachalinensis</i> Masters)	Molecular Ecology Notes	7 (5)	896-898	2007
Masuya H & Yamada T	<i>Septobasidium parviflorae</i> sp. nov. on <i>Pinus parviflora</i> from Japan	Mycoscience	48 (6)	399-402	2007
Nakashima C· Akashi T· Takahashi Y· Yamada T· Akiba M and Kobayashi T	New species of the genus <i>Scolecostigmina</i> and revision of <i>Cercospora cryptomeriicola</i> on conifers	Mycoscience	48 (4)	250-254	2007
Akiko IKEGUCHI Haruo SAITO Yoshinao ADACHI Senduang Sivilay Ken-ichi NONAKA Yuichiro NISHIMURA	Food Plants and Animals in a Marketplace in Suburban Vientiane, Laos	Nature, Human and Environment (The Lao Agriculture and Forestry Journal, Special Issue)		47-57	2007
Zhihua Zhou· Sakaue D ·Bingyun Wu· Hogetsu T	Genetic Structure of Populations of the Pinewood Nematode <i>Bursaphelenchus xylophilus</i> , the Pathogen of Pine Wilt Disease, Between and Within Pine Forests	PHYTOPATHOLOGY	97	304-310	2007
Miyashita T Suzuki M Takada M Fujita G Ochiai K Asada M	Landscape structure affects food quality of sika deer (<i>Cervus nippon</i>) evidenced by fecal nitrogen levels	Population Ecology	49	185-190	2007
Owari T	Marketing strategies, functions, and benefits of forest certification: a cross-cultural comparison	Proceedings of IUFRO All Division 5 Conference		194	2007
Ohkawa A & Hattori T	The caddisflies (Trichoptera) of the University Forest in Hokkaido, the University of Tokyo. I. Rhyacophilidae	Proceedings of the 12th International Symposium on Trichoptera		263-274	2007
Owari T· Inukai H· Nakagawa Y· Fukushi K	Stand classification for natural selection forestry in the Tokyo University Forest in Hokkaido	Proceedings of the conference on sustainable forest management and carbon sequestration in Taiwan and Japan		22-30	2007
Gomyo Mie Kuraji Koichiro Suzuki Masakazu and Kanehiro Kitayama	Characteristics of stream water chemistry in Mt. Kinabalu, Malaysia	Proceedings of the International Association of Geomorphologists Regional Conference, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia, 25-29 June		71-72	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
Kuraji Koichiro Mie Gomyo and Kanehiro Kitanaya	Hydrological monitoring and impact assessment of forest conversion to other land uses in small watersheds in Sabah	Proceedings of the International Seminar on Land Converskions and Ecosystem Consequences under Climate Change in the Tropical Rain Forests of Borneo: Developing Societal Adaptability with Integrated Ecosystem Management, Dec.13-14 Kyoto, Japan		39-41	2007
Morita E· Fukuda S· Nagano J· Hamajima N· Yamamoto H· Iwai Y· Nakashuma T· Ohira H and Shirakawa T	Psycological effects of forest environments on healthy adults: Shinnrin-yoku (forest-air bathing,walking) as a possible method of stress reduction	Public health	121	54-63	2007
Fukuda K· Utsuzawa S and Sakaue D	Correlation between acoustic emission, water status, and xylem embolism in pine wilt disease	Tree Physiology	27	969-976	2007
Paul W. SCHAEFER Naoto KAMATA Nusyirwan HASAN Gerhard GRIES Regine GRIES Idrus ABBAS Siti SALMAH DAHELMI and Ahsol HASYIM	Synthetic Lymantriid Pheromones Attract Male Moths of Lymantria spp. (Lepidoptera: Lymantriidae) in Sumatra.	Tropics	16 (1)	71-74	2007

学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
山本清龍・井倉洋二	森林教育プログラムの評価に関する一考察	日林学術講	118	A17	2007
鴨田重裕・小川瞳・寺田珠実	エゾマツなどが産生する天然アセトフェノンによる暗色雪腐病の防除	日林学術講	118	B25	2007
山田利博・永石憲道・山下得男・小山常夫・神庭正則・大島 渡・飯倉 寛	各種樹木における傷害後の水分分布の変化および防御組織形成	日林学術講	118	B26	2007
鎌田 直人・江崎 功二郎・森 謙治・竹本 裕之・本田 洋・光永 徹	カシノナガキクイムシの合成フェロモンの誘引試験	日林学術講	118	B33	2007
後藤 秀章・濱口 京子・鎌田 直人	カシノナガキクイムシの分類学的検討	日林学術講	118	B34	2007
福田 健二・宇津澤 慎・坂上 大翼	MRI、AE、ひずみゲージによるマツ材線虫病進展過程の観測	日林学術講	118	C07	2007
蔵治光一郎	森林と洪水	日林学術講	118	F04	2007
齋藤暖生・山口健介	森林の共同管理に見る社会的紐帯-林政学と社会学の統合による仮説導出の試み-	日林学術講	118	F13	2007
石塚航・梶幹男	秩父山地天然林における、発生時期の異なるイヌブナ当年生実生の生残過程	日林学術講	118	K10	2007
池田裕行・益守眞也・丹下 健・井出雄二・佐倉詔夫・鴨田重裕・辻 和明・渡邊良弘・村瀬一隆	伊豆半島南部のシイ林における稚樹の発生と消長	日林学術講	118	K12	2007
若原妙子・白木克繁・田中延亮・蔵治光一郎・鈴木雅一	マレーシア・ランビルヒルズ国立公園における降雨流出特性	日林学術講	118	M22	2007
住吉千夏子・後藤晋・佐藤匠・井鷲裕司	沢沿いのジーンフロー	日林学術講	118	N01	2007
菊地 陽太・梶 幹男・澤田 晴雄・大久保 達弘	伐採後のイヌブナ二次林の再生過程とイヌブナの個体群構造	日林学術講	118	P1d03	2007
中馬美咲・谷本丈夫	栃木県大沼周辺における人工林及び広葉樹林の植生と土壌条件の関係	日林学術講	118	P1e08	2007
中村麻祐子・鴨田重裕・梶幹男	都市林と里山林におけるアオキの生育	日林学術講	118	P1e10	2007
後藤晋・木村徳志	地がき処理区の標高勾配に対する樹木種の更新反応	日林学術講	118	P1h03	2007
秋廣敬恵	住民参加・パートナーシップによる森林管理・利用システムにおける「協議システム」の分類	日林学術講	118	P2c16	2007
藤原章雄・斎藤馨・岩岡正博	森林映像を動画でインターネットで共有するためのコーデック選択の検討	日林学術講	118	P2c19	2007
尾張敏章・澤登芳英・伊藤 勤	日本における森林認証製品のマーケティング	日林学術講	118	P2d15	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
洲崎燈子・蔵治光一郎・丹羽健司	人工林の混み具合の評価手法に関する検討「矢作川森の健康診断」における取り組み	日林学術講	118	P2d23	2007
逢沢 峰昭・吉丸 博志・小川 瞳・梶 幹男	オルガネラDNAマーカーに見られるアカエゾマツ・エゾマツ種間雑種の遺伝的特徴	日林学術講	118	P2e27	2007
Qingchun Wang, Hirokazu Yamamoto	Problems and Characters of Community Participation in Nature Reserve Management of the People's Republic of China	日林学術講	118	P3a30	2007
小川瞳・芝野伸策・大屋一美・後藤晋・梶幹男	東京大学北海道演習林におけるトドマツ標高別相互植栽試験地の30年後の生育状況	日林学術講	118	P3b33	2007
五名美江・蔵治光一郎・春田泰次・鴨田重裕・小田智基・堀田紀文・鈴木誠・木村徳志・五十嵐勇治・大村和也・渡邊良広	東京大学5演習林8試験流域における渓流水質の特性	日林学術講	118	P3e31	2007
澤島薫・芝野博文・浅野友子	流域スケールを考慮した洪水流出プロセスの解明	日林学術講	118	P3e35	2007
本戸 三保子・三好 圭・飯尾 淳弘・鎌田 直人・角張 嘉孝	余剰生産量にもとづくブナの豊凶予測	日林学術講	118	P3h33	2007
内山憲太郎・後藤晋・井出雄二	山火事跡に成立したウダイカンバ二次林の林分内遺伝構造に択伐施策が与える影響	日林学術講	118	P3h39	2007
土屋 純一・大久保 達弘・船津丸 弘樹・鎌田 直人	ブナ属2種が混生するブナ林でのブナヒメシンクイの産卵開始時期と資源利用様式	日林学術講	118	P3i42	2007
遠國正樹・笠原久臣・木村徳志・清水目元一・高橋功一・中川雄治・後藤晋	シナノキとオオバボダイジュにおける伐採前後の萌芽発生状況	日林北支論	56	59-61	2007
上田明良・井口和信	樽前山山麓2004年18号台風風倒地における2007年度ヤツバキクイムシ類被害状況	日林北支論	56	67-69	2007
及川希・笠原久臣・尾張敏章	東京大学北海道演習林におけるGPS測位精度の評価	日林北支論	56	107-109	2007
磯崎靖雄・尾張敏章・小池征寛・福岡哲・及川希・倉橋昭夫	東京大学北海道演習林における100年生カラマツ人工林の成長経過	日林北支論	56	117-119	2007
山本清龍	富士五湖におけるリゾートイメージの構造に関する研究	日林関東森林研究	58	5-8	2007
古家直行・平田泰雅・鈴木誠・山本博一	高解像度衛星画像上での単木の把握において積雪のもたらす影響	日林関東森林研究	58	55-58	2007
陳 鐘善・石橋整司	中国・吉林省における森林育成に関する研究 - 森林資源の育成をめぐる日本の制度との比較 -	日林関東森林研究	58	65-68	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
池田裕行・鈴木祐紀・尾崎煙雄・遠藤良太・藤林範子・藤平量郎	ヒメコマツ更新地の林分構造と林床の光環境	日林関東森林研究	58	119-122	2007
山中征夫・山中千恵子	房総半島におけるヤマビルの発生予測	日林関東森林研究	58	261-262	2007
村田政穂・鎌田直人・伊藤進一郎	<i>Raffaëlea quercivora</i> に対するブナ科樹木4種の感受性の差異	日林中部森林研究	56	16	2007
後藤大成・荒木田きよみ・澤田晴雄・高德佳絵・渡部賢・井上淳・荒木田善隆	東京大学愛知演習林ヒノキ複層林造成試験地の最近20年間の成長経過	日林中部森林研究	56	36-40	2007
澤田晴雄・荒木田きよみ・高德佳絵・渡部賢・井上淳・後藤大成・荒木田善隆	東京大学愛知演習林ヒノキ間伐試験地の成長経過	日林中部森林研究	56	41-44	2007
高德佳絵・澤田晴雄・福岡哲・鴨田重裕・坂上大翼	ウルシ科植物が含有するウルシオール・ラッコール量の季節変動および地域特性	日林中部森林研究	56	95-96	2007
浅井美香・泉留維・齋藤暖生・山下詠子	ローカル・コモンスとしての財産区の現況-2007年悉皆調査より-	2007年度環境経済・政策学会発表等大会要旨			2007
齋藤暖生・山下詠子・浅井美香・泉留維	地域による共同的な林野管理制度としての財産区-2007年悉皆調査に見る設置現況と平成の市町村合併の影響-	2007年度林業経済学会発表等秋季大会要旨			2007
今井香代子・光永 徹・大橋英雄・伊藤進一郎・山田利博	ナラ枯れ原因菌 <i>Raffaëlea quercivora</i> によるペンタガロイルグルコースの分解について	日本木材学会発表等大会研究発表要旨集	57	M09-1015	2007
山岸崇之・山田利博・松本雄二	カシノナガキクイムシによる病傷害を受けたコナラ辺材のリグニン構造	日本木材学会発表等大会研究発表要旨集	57	L08-1000	2007
澤田晴雄・渡部賢・井上淳・高德佳絵・後藤大成・荒木田きよみ・米道学・大塚明宏・荒木田善隆	東京大学愛知演習林が海岸林で行った環境教育プログラム	2007年度日本海岸林学会発表等静岡大会研究発表講演要旨集	7	10-11	2007
山本清龍	地域づくりの視点による公園緑地管理へ	2007年度日本造園学会発表等全国大会分科会講演集		31-32	2007
江崎功二郎・加藤賢隆・鎌田直人	10年間の林分調査におけるカシノナガキクイムシの穿入と立木枯損動態	応動昆大会講演要旨	51	152	2007
鎌田直人・平間淳司	ゲンジボタルとヘイケボタルの発光特性と光感受特性(予報)	応動昆大会講演要旨	51	160	2007
山田利博	病原菌からみたブナ科樹木萎凋枯死被害(ナラ枯れ)研究の最前線	樹木医学会発表等講要	12	3-4	2007
鎌田直人	カシノナガキクイムシからみたブナ科樹木萎凋枯死被害(ナラ枯れ)研究の最前線	樹木医学会発表等講要	12	5-6	2007
清水淳子・坂上大翼・福田健二	町田市・中野区の街路樹における腐朽菌子実体が発生したサクラ類樹体内の腐朽分布	樹木医学会発表等講要	12	22	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
山田利博・永石憲道・山下得男・小山常夫・神庭正則	傷口の状態が材変色に及ぼす影響 - ケヤキの人為傷害事例 -	樹木医学会発表等講要	12	44	2007
芝野博文	海岸砂防林の保全に向けた取り組み	日本海岸林学会発表等静岡大会シンポジウム要旨集		25-26	2007
鎌田直人・小谷二郎・澤田晴雄	ブナヒメシンクイの食害に適応したブナ種子の発達経過	日本生態学会発表等大会	54	180	2007
高橋誠・後藤晋・梶幹男・渡邊敦史・福田陽子	ブナ葉緑体ハプロタイプと適応的形質との関係; ブナ産地試験地のデータ解析の結果から	日本生態学会発表等大会	54	G3-07	2007
石塚航・梶幹男・澤田晴雄	イヌブナの堅果及び実生の生残過程	日本生態学会発表等大会	54		2007
三木良太・審良昌紀・岡田学儀・藤井雄介・鎌田直人・平間淳司	虫の網膜電位信号(ERG信号)に基づいたホタルの誘引装置の試作	日本生物環境工学会発表等中部支部研究発表会講演要旨集		7-10	2007

著書

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
鎌田直人	マツ枯れと闘う高校数学	こんなに役立つ数学入門（広田照幸・川西琢也編 筑摩書房）		200pp	2007
齋藤暖生・三俣学	コモンズのメンタリティー—京都におけるマツタケ入札制度の成立と変容—	資源人類学第8巻 資源とコモンズ		163-186	2007
広嶋卓也 (分担執筆)	「減反率による地域森林資源の見通し」	森林・木材を活かす大辞典 - 地球環境と経済の両立のための情報集大成 - (木平勇吉 編産業調査会)		527pp	2007
広嶋卓也 (分担執筆)	「第一約束期間における京都議定書3条3項林の炭素吸収量の試算」	森林資源管理と数理モデルVol.6 - FORMATH KYUSHU 2006- (吉本敦・広嶋卓也・近藤洋史編 森林計画学会発表等出版局)		129-140	2007
齋藤暖生	キノコ食	図録 メコンの世界—歴史と生態—		88-89	2007
蔵治光一郎	解説 「地域森林の自治」をめざして 豊田市森づくり条例・豊田市100年の森づくり構想の取り組みから	全国林業改良普及協会編『この人にきく山を豊かにする林業創造』、全国林業改良普及協会		250-265	2007
イアン・カルダー著・蔵治光一郎・林裕美子監訳	水の革命 森林、食糧生産、河川、流域圏の統合的管理	築地書館		238	2008
蔵治光一郎編	水をめぐるガバナンス - 日本、アジア、中東、ヨーロッパの現場から -	東信堂		208pp	2008
Kamata N・ Tuda M・ Naka H・ Mori K・ Molnar B・ Szocs G	Leucoma candida males attracted to the same stereoisomer of leucomalure in Japan.	23th ISCE Annual Meeting. Book of Abstracts.		237	2007
Kume T・ Takizawa H・ Yoshifuji N・ Tanaka N・ Tanaka K・ Tantasirin C. & Suzuki M	Severe drought resulting from seasonal and interannual variability in rainfall and its impact on transpiration in a hill evergreen forest in northern Thailand	Forest Environments in the Mekong River Basin		45-55	2007
Yoshufuji N・ Tanaka N・ Tantasirin C & Suzuki M	Factors affecting interannual variability in transpiration in a tropical seasonal forest in northern Thailand: Growing season length and soil drought	Forest Environments in the Mekong River Basin		56-66	2007
Kraxner F・ Mater C・ Owari T	Biomass for energy and plantations – new certification driver: Certified forest products markets, 2006-2007	Forest Products Annual Market review 2006-2007		105-122	2007
Haruo SAITO・ Akiko Ikeguchi・ Kenich Nonaka	The biodiversity of vegetables in Vientiane	The biodiversity of vegetables in Vientiane			2007

外部資金によって行われた研究

科学研究費

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
梶 幹男	基盤研究(A)	50年間の林分動態と施業履歴に基づく森林生態系の順応型管理システムの構築	梶 幹男	東京大学北海道演習林
山本清龍	基盤研究(B)	森林を題材とした新しい環境教育の創造とプログラムの開発・実践・評価	井倉洋二	鹿児島大学
山田利博	基盤研究(B)	樹木の生体防御システムに基づいた樹木治療技術の確立に関する研究	山田利博	東京大学千葉演習林
山田利博	基盤研究(B)	ナラ類萎凋病における樹種間の枯死機構と抵抗性機構の比較研究	伊藤進一郎	三重大学生物資源学研究科
後藤 晋	基盤研究(B)	樹木個体群における自然選択に対する遺伝適応の実態解明	後藤 晋	東京大学北海道演習林
鎌田直人	基盤研究(B)	隔離ブナ集団の繁殖能力低下をめぐる開花量とシイナと散布前虫害との関係の解明	鎌田直人	東京大学演習林研究部
鎌田直人	基盤研究(B)	地域間DNA多型解析によるナラ枯れの媒介者カシノナガキイムシの外来種仮説の検証	鎌田直人	東京大学演習林研究部
安村直樹	基盤研究(B)	ウッド・マイルージに基づく木材貿易に関する環境負荷の定量化	立花敏	森林総合研究所
尾張 敏章	若手研究(B)	林産物マ - ケティング理論と実証に基づく計画手法の体系化	尾張 敏章	東京大学北海道演習林
山本清龍	若手研究(B)	森林の機能に対する理解が環境配慮意識・行動の形成に及ぼす影響に関する研究	山本清龍	東京大学富士演習林
前原 忠	基盤研究(C)	捕食性オサムシの生活史形質と個体生態研究による遅れのない密度依存性の機構の解明	前原 忠	東京大学演習林研究部
塚越剛史	奨励研究	実生サンプスギをベースにした優良材質の無着花スギの開発と増殖	塚越剛史	東京大学千葉演習林
軽込勉	奨励研究	房総南部に自生する植物種のデータベース化	軽込勉	東京大学千葉演習林
及川 希	奨励研究	ナキウサギの保全に関する基礎調査 - 北海道中央部における生息状況及び環境の評価 -	及川 希	東京大学北海道演習林
齋藤俊浩	奨励研究	シカの個体数増加が森林の音環境に及ぼす影響	齋藤俊浩	東京大学秩父演習林
高野充広	奨励研究	木材生産時に発生する残材等を活用した林業体験教育プログラムの開発	高野充広	東京大学秩父演習林

奨学寄付金

氏名	寄付目的	寄付者
山田利博	マツクイ虫防除に関する研究	(社) ゴルファーの緑化推進協力会
山田利博	放射線を用いた樹木内部の傷害様式の解明と非破壊診断法の高度化	(財) 新技術開発財団
梶 幹男	学術研究及び農学生命科学研究奨励のため	(株) サントリー
梶 幹男	農学生命科学研究助成のため	小山 富士夫
尾張 敏章	「AGSプロジェクト」研究助成採択による寄附	東京大学
石橋整司	モニタリングサイト1000	(財) 自然環境研究センター
芝野博文	モニタリングサイト1000	(財) 自然環境研究センター
鴨田重裕	学術研究の奨励・支援	(有) アンタス
鎌田直人	クズ・イシミカワの生物的防除に関する研究	アメリカ合衆国農務省
安村直樹	工務店の木材調達の実状と国産材普及の課題	昭和シェル石油環境研究助成財団

受託研究費

氏名	研究課題名	委託機関
廣嶋卓也	農林水産業における温暖化対策技術の高度化に関する研究・林業活動に関する炭素循環モデルの構築	森林総合研究所
廣嶋卓也	森林吸収源インベントリ情報整備事業・森林吸収源の取扱いに係る森林吸収量への影響分析	森林総合研究所
梶 幹男	石灰岩地帯の針広混合林における生態系基礎調査、石灰岩・ドロマイトに関する地質学的研究及びドロマイト鉱山跡の緑化に関する研究	北海道演習林
蔵治光一郎	水のグローバルガバナンス	(独) 日本学術振興会
蔵治光一郎	森林荒廃が洪水・河川環境に及ぼす影響とモデル化	(独) 科学技術振興機構
蔵治光一郎	熱帯林の熱・水環境の計測とモデリング及びモンスーン気候解析	(独) 科学技術振興機構
山本清龍	南伊豆地域における景観的特徴の解明と再評価(代表・下村彰男)	静岡県
鎌田直人(分担)	住民参加による生物保全機能を備えた農業用水路の維持・管理システム開発	埼玉県

他機関との共同研究

氏名	研究課題名	共同研究機関
千葉演習林林長	千葉県において選抜したクロマツ等のマツ材線虫病抵抗性評価	千葉県森林研究センター
山本清龍	地域における自然体験活動を通じた環境認識の形成に関する研究	山梨県環境科学研究所・基盤研究
鎌田直人	Fire Impacts of Wild Fire to Ecosystem, Permafrost and Hydrology in Alaska	JAXA/IARC
鎌田直人	ALOS データ等を利用した北海道とその周辺森林における虫害状況把握	北海道大学・RESTEC

社会連携

公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
鴨川市・東京大学交流事業 野鳥の巣箱をかけるよう(巣箱観察)	千葉演習林・鴨川市	千葉演習林	2007. 4. 7
春の一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2007. 4.14, 4.15, 4.21, 4.22
林間学校	千葉市立稲毛小学校	千葉演習林	2007. 6.21
SPP自然体験活動講座	千葉県総合教育センター	千葉演習林	2007. 7.25 ~ 7.27
高校生のための森と海のゼミナール	高校生のための森と海のゼミナール実行委員会	千葉演習林、千葉大学海洋バイオシステム研究センター	2007. 7.31 ~ 8. 2
公開講座 夏の森林教室	千葉演習林	千葉演習林	2007. 8. 4, 8.11
夏季生物教室	東京大学教育学部附属中等教育学校	千葉演習林	2007. 8.20 ~ 8.22
緑の教室	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	2007.10.19
養成研修	林野庁森林技術総合研修所	千葉演習林	2007.10.22 ~ 10.23
総合学習	君津市立坂畑小学校	千葉演習林	2007.10.31
夢・仕事ぴったり体験	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	2007.11.15
全国森林インストラクター会現地研修会	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2007.11.17 ~ 11.18
秋の一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2007.11.23
亀山自然観察実習	千葉県立木更津高等学校	千葉演習林	2007.11.23
秋の一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2007.11.24,11.25, 12. 1, 12. 2
鴨川市・東京大学交流事業 野鳥の巣箱をかけるよう(巣箱作り)	千葉演習林・鴨川市	千葉演習林	2007.12. 8
公開講座 静寂な東京大学の森を歩こう	千葉演習林	千葉演習林	2008. 1.19
森林GISフォーラム東京シンポジウム	森林GISフォーラム	東京	2008. 2. 4

講座名	主催	開催場所	日程
FORMATH TOHOKU 2008	FORMATH研究会	仙台	2008. 3. 8 ~ 3. 9
市民公開セミナー「樹海めぐり」	北海道演習林	北海道演習林	2007. 6. 3
大麓山ハイキング登山	北海道演習林	北海道演習林	2007. 7.15
子ども自然塾	北海道演習林	北海道演習林	2007. 9.29 ~ 9.30
富良野市博物館講座 「プロジェクト・ラーニングツリー」	北海道演習林後援事業	北海道演習林	2007.10. 6
自由見学日(栃本)	秩父演習林	栃本地区	2007. 5.12, 5.15, 8.21
自由見学日(大血川)	秩父演習林	大血川地区	2007. 4.14, 4.17, 6.16, 6.19, 7.17
ワサビ沢展示室特別開室	秩父演習林	ワサビ沢展示室	2007.10.20,10.21, 10.27, 10.28,11.3,11.4, 11.10,11.11
影森祭	秩父演習林	影森苗畑	2007.12. 9
公開講座「親子で学ぼう！！森林の昆虫採集」	秩父演習林	栃本管内	2007. 8. 4 ~ 8. 5
東京大学創立130周年記念事業「東大の森に行こう。」	秩父演習林	秩父演習林、秩父市	2007. 9. 1 ~ 9. 2
公開講座「奥秩父の亜高山帯の森林を学ぶ」	秩父演習林	秩父演習林	2007.10.14
共催事業「夏休み 親子で作る一研究」	秩父演習林・埼玉県立大滝げんきプラザ	秩父演習林	2007. 8.24
共催事業「紅葉のトロッコ軌道に秋を訪ねて」	秩父演習林・埼玉県立大滝げんきプラザ	秩父演習林	2007.11.17
サポーター養成講座 第1回秩父演習林の教育研究	秩父演習林	秩父演習林	2007. 4.17
サポーター養成講座 第2回秩父演習林の管理・運営	秩父演習林	秩父演習林	2007. 5.19
サポーター養成講座 第3回秩父演習林の植物(樹木、草本)	秩父演習林	秩父演習林	2007. 6. 6
サポーター養成講座 第4回森林における安全管理(1回目)	秩父演習林	秩父演習林	2007. 6.23
サポーター養成講座 第5回秩父演習林の動物(哺乳類・昆虫)	秩父演習林	秩父演習林	2007. 7. 7
サポーター養成講座 第6回森林生態系の管理と利用	秩父演習林	秩父演習林	2007. 8.29

講座名	主催	開催場所	日程
サポーター養成講座 第7回林業生産と育林技術	秩父演習林	秩父演習林	2007. 9. 8
サポーター養成講座 第8回森林の公益的機能	秩父演習林	秩父演習林	2007.10.13
サポーター養成講座 第9回秩父演習林と秩父地方の歴史	秩父演習林	秩父演習林	2007.11. 3
サポーター養成講座 第10回森林における安全管理(2回目)	秩父演習林	秩父演習林	2007.11.28
サポーター養成講座 第11回森林環境教育	秩父演習林	秩父演習林	2007.12. 7
公開講座「森を測る」	愛知演習林	愛知演習林	2007. 5.30
特別授業「地球環境と調査」	三重中学校	愛知演習林	2007. 7.23
公開講座「オリジナル樹木図鑑をつくろう」	愛知演習林	愛知演習林	2007. 8. 5
公開講座「鳥の巣箱作りと観察」	愛知演習林	愛知演習林	2007. 9. 9
公開講座「鳥の巣箱作りと観察」	愛知演習林	愛知演習林	2007.11.11
第20回日本の森と自然を守る全国集会 愛知瀬戸集会	日本の森と自然を守る全国連絡会	サンパレア瀬戸、愛知演習林	2007.12. 8 ~ 12.10
公開講座「マツ枯れ跡地にいっしょにマツを植えませんか」	愛知演習林	愛知演習林	2008. 3. 9
静大附属浜松中学校 総合学習「南伊豆の自然について」	樹芸研究所	青野研究林	2007. 4.10
公開講座「春の散策」	樹芸研究所	青野研究林	2007. 5.15
下田市立下田中学校 総合学習「くろふね学習」	樹芸研究所	青野研究林	2007. 6. 6
シンポジウム「南伊豆の風景探し」	静岡県	南伊豆中央公民館	2007.11.18
下田市立稲梓小学校	樹芸研究所	青野研究林	2007.12. 3
公開講座「鳥の巣箱を作ろう」	樹芸研究所	青野研究林	2007.12. 8
森林教室「田無の森の探検隊ミッション6:世界に一つの『樹木図鑑』を作ろう」	田無試験地	田無試験地	2007. 8.26
子ども樹木博士	西東京市子ども樹木博士を育てる会	田無試験地	2007. 5.27,11.4
公開講座「落葉の下の生き物たち - 土壌動物について - 」	田無試験地	田無試験地	2007.12. 2
休日公開	田無試験地	田無試験地	2007. 4.29 , 5.27 , 8.26,11. 4 , 11.23 , 12. 2

講師の派遣等

氏名	講演名	主催	開催場所	日程
軽込勉	校外学習「樹木採集と森林見学」	千葉県立君津青葉高校	郷台、清澄作業所管内	2007. 6.13 ~ 6.14
村川功雄・三次充和	「鴨川アドベンチャー・清澄演習林」	千葉市立稲毛小学校	清澄作業所周辺	2007. 6.21
村川功雄・三次充和	SPP自然体験活動講座	千葉県総合教育センター	演習林全域	2007. 7.26 ~ 7.27
村川功雄・三次充和	「高校生のための森と海のゼミナ - ル」 - 自然の中で考える環境問題と生物多様性 -	高校生のための森と海のゼミナ - ル実行委員会	演習林全域	2007. 7.31 ~ 8. 2
村川功雄・軽込勉・三次充和	房総の林を知る～夏季生物教室	東大・教育学部中等教育学校	清澄、札郷作業所周辺	2007. 8.20 ~ 8.22
村川功雄・塚越剛史	「亀山に棲む生き物を調べよう」	君津市立坂畑小学校	猪ノ川、郷台林道周辺	2007.10.31
村川功雄・三次充和	「夢・仕事ぴったり体験」	鴨川市立天津小学校	天津事務所	2007.11.15
村川功雄・根上昌久	全国森林インストラクター - 会現地研修会「千葉演習林の概要」	千葉県森林インストラクター - 会	猪ノ川、郷台、一杯水林道周辺	2007.11.17 ~ 11.18
村川功雄	木組工房・第3回エコツア - 「森林エコツア - 」	千葉県木材振興協会	清澄周辺	2008. 3.15
村川功雄・三次充和	「房総の植物と動物」, 「ヤマビル」の生態」他	千葉演習林ボランティア会	演習林全域	2008. 3.15 ~ 3.16
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立今井小学校	犬山市立今井小学校	2007. 4.24
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立城東小学校	犬山市立城東小学校	2007. 5.10
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立池野小学校	犬山市立池野小学校	2007. 5.23
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立今井小学校	犬山市立今井小学校	2007. 6.28
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立城東小学校	犬山市立城東小学校	2007. 7.23
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立池野小学校	犬山市立池野小学校	2007. 9.11
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立城東小学校	犬山市立城東小学校	2007.11. 7
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立今井小学校	犬山市立今井小学校	2007.11.22
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立池野小学校	犬山市立池野小学校	2008. 1.22
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立今井小学校	犬山市立今井小学校	2008. 2. 2
高德佳絵	探鳥会指導	犬山市立城東小学校	犬山市立城東小学校	2008. 3.25

学外各種委員会等委員

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
山田 利博	樹木医研修カリキュラム委員会	(財)日本緑化センター
山田 利博	コーディネーター会議	(財)放射線利用振興協会
山田 利博	千葉県森林審議会	千葉県
山田 利博	千葉県試験研究機関評価委員会	千葉県
山田 利博	千葉県国土利用計画委員会	千葉県
山田 利博	千葉県土砂採取対策審議会	千葉県
山田 利博	鴨川市文化財保護審議会	鴨川市
廣嶋卓也	「森林吸収源インベントリ情報整備事業」(次期枠組みにおける吸収量計上方法等調査)委員会	国際緑化推進センター
廣嶋卓也	英文誌編集委員会	森林計画学会
廣嶋卓也	広報委員会	森林計画学会
廣嶋卓也	関東地区運営委員	森林GISフォーラム
廣嶋卓也	事務局	FORMATH研究会
村川功雄 永島初義 鈴木祐紀 米道 学	千葉県鳥獣保護員	千葉県環境生活部
山中征夫	千葉県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ)策定検討委員会	千葉県環境生活部
梶 幹男	北海道林木育種協会顧問	北海道林木育種協会
後藤 晋	北海道林木育種協会評議員	北海道林木育種協会
後藤 晋	北海道林木育種協会編集委員	北海道林木育種協会
井口和信	北海道林木育種協会地方連絡員	北海道林木育種協会
後藤 晋	重点研究分野評価会議における評価委員	森林総合研究所
尾張敏章	アドバイザー	(財)北海道科学技術総合振興センター
尾張敏章	新林業機械作業システム検討協議会委員	北海道水産林務部
尾張敏章	プログラム指導員	北海道大学情報基盤センター
尾張敏章	森林利用学会誌編集委員	森林利用学会
尾張敏章	日本森林学会北海道支部幹事	日本森林学会北海道支部
梶 幹男	新エネルギービジョン策定委員会委員	南富良野町
梶 幹男	地域管理経営計画等に関する懇談会委員	北海道森林管理局
尾張敏章	南富良野地域環境情報協議会委員	緑資源機構東北北海道整備局
梶 幹男	自然環境保全基礎調査検討会植生分科会検討委員	環境省自然管理局生物多様性センター
梶 幹男	上川南部流域森林・林業活性化協議会委員	上川南部流域森林・林業活性化協議会

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
犬飼 浩	上川南部流域森林・林業活性化協議会幹事	上川南部流域森林・林業活性化協議会
石橋整司	特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員	埼玉県
石橋整司	埼玉県農林総合研究センター研究等評価委員会委員	埼玉県
藤原章雄	日本造園学会総務委員会	日本造園学会
芝野博文	中部森林学会	役職理事
芝野博文	豊田森林学校検討委員会	豊田市
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会	豊田市森林課
蔵治光一郎	環境基本計画見直し市民ワーキング	瀬戸市環境課
蔵治光一郎	地球温暖化防止のための多様な森林整備に関する調査事業にかかる検討委員会	林野庁(日本林業技術協会)
蔵治光一郎	綾川上流水源地域・観測マスタープラン策定調査事業に係わる委員会	林野庁九州森林管理局(水利科学研究所)
蔵治光一郎	国際誌編集委員会(副委員長)	水文・水資源学会
蔵治光一郎	国際委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	評議員	日本森林学会
山本清龍	山中湖村エコツーリズム推進協議会	山中湖村
山本清龍	山中湖村エコツーリズム推進協議会ワークショップ検討委員会委員	山中湖村
山本清龍	山中湖村景観計画検討委員会	山中湖村
山本清龍	男女共同参画ワーキンググループ委員	日本森林学会
山本清龍	造園技術報告集委員会委員・校閲委員	日本造園学会
山本清龍	研究発表論文集校閲委員	日本造園学会
山本清龍	環境研究発表会査読委員	環境情報科学センター
坂上大翼	理事会/編集委員会	樹木医学会
坂上大翼	理事会	日本森林学会
山本 博一	副会長	森林計画学会
山本 博一	国土審議会北海道開発分科会	国土交通省
山本 博一	超長期ビジョン検討会検討員	環境省
鎌田直人	国連食糧農業機構森林資源部門 森林保護セクションアドバイザー	FAO
鎌田直人	国際森林研究機関連合第7部会副会長	IUFRO
鎌田直人	国際森林研究機関連合ワーキンググループ副会長	IUFRO

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
鎌田直人	Journal of Forest Research編集委員	日本森林学会
鎌田直人	編集委員	日本応用動物昆虫学会
鎌田直人	編集委員	日本昆虫学会
鎌田直人	和文誌編集委員	日本生態学会
鎌田直人	運営委員	個体群生態学会
鎌田直人	Population Ecology編集委員	個体群生態学会
鎌田直人	東北森林管理局 朝日山地森林生態系保護地域モニタリング調査者	農林水産省
鎌田直人	石川県兼六園マツ等樹木保全対策指導	石川県

国際交流

交流事業

相手大学および 機関名	国名	協定締結の 有無	交流期間	目的
東北林業大学帽儿 山実験林場	中華人民共和国	有	2005. 3.28 (5年間)	森林経営に関する総合的な共同研 究・技術交流

国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主 催	開催地	日 程
蔵治光一郎	3rd International Conference on Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources	Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources (APHW)	Bangkok	2007. 4. 4 ~ 4. 7
田中延亮	4th International Conference on Fog, Fog Collection, and Dew	Pontificia Universidad Catolica de Chile	La Serena	2007. 7.22 ~ 7.27
鎌田直人	第4回アジア・太平洋化学生態 学会議(APACE)つくば2007	APACE	つくば市	2007. 9.10 ~ 9.14
蔵治光一郎	Symposium on Asian Winter Monsoon: Winter MONEX: A Quarter Century and Beyond	Malaysia Meteorology Department	Kuala Lumpur	2007.10.16 ~ 10.18
山本清龍	山梨県環境科学研究所国際シ ンポジウム2007「青木ヶ原樹海 の保護と利用」	山梨県環境科学研究所	山梨県環境科学 研究所	2007.11. 3
山本清龍	国際シンポジウムin秋田「持続 可能な観光を考える-観光は地 域に何をもたらすか?-」	国際教養大学・地域環 境研究センター	プラザ・クリプトン (秋田市)	2008. 2.15 ~ 2.16

外国人研究者の来訪

来 訪 目 的	日 程	国 籍	来訪人数
北海道針葉樹の成長メカニズムと更新ダイナミクスの北半球における比較研究	2007. 4. 1 ~ 2008. 3.31	カナダ	1
自然環境学野外総合実習	2007. 4. 7	マレーシア	1
スイス樹木園の本の本林造成のための植物資源の探索	2007. 4.30 ~ 5. 2	スイス	1
森林土木学実習	2007. 5. 7 ~ 5. 8	韓国	1
見学	2007. 5.11 ~ 5.12	イラン	1
ウダイカンバ新生組織の細胞壁構造分析	2007. 5.31	不明	1
視察	2007. 7. 4	韓国	2
北海道演習林における天然林施業の実際を見学	2007. 7. 5	大韓民国	30
樹木細胞壁形成におけるセルロースマイクロフィブリルの分析	2007. 7. 9	不明	2
林内歩道の歩行時運動強度測定と自然体験教育プログラム作成	2007. 7.24 ~ 7.26	不明	1
エクスカージョン	2007. 7.29	アメリカ, カナダ, イギリス	4
タイミンタチバナの個体群調査	2007. 8. 8 ~ 9.27	ペル -	1
台湾樹木制度制定のための情報収集	2007. 8.14	台湾	5
イェール大学林学・環境学専門大学院臨地テーマ実習	2007. 8.16 ~ 8.19	米国	7
アジアの持続可能性を考えるサマータワーワークショップ	2007. 9.10 ~ 9.21	各国 (アジア工科大学院, マサチューセッツ工科大学, チャルマース工科大学, 国立成功大学, 国立台湾大学, オーストラリア国立大学)	18
スギ・ヒノキ人工林及び天然常緑広葉樹の見学	2007. 9.11 ~ 9.12	韓国	3
平成19年度森林科学実習	2007.10. 3 ~ 10. 5	不明	1
本の大学演習林の施設見学と施設の管理・運営の現状, 法人化後の管理・運営の変化に関する視察	2007.10.24	韓国	6
林政学研究室・国際森林環境学研究室合同ゼミ合宿	2007.12.18 ~ 12.19	不明	1
器材撤収	2008. 3.18	不明	1

海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰国日
鎌田 直人	研究部	インドネシア	インドネシアにおけるカシノナガキクイムシと共生菌の採集	2007. 4.15	2007. 4.20
田中 延亮	愛知	マレーシア	混交フタバガキ林における水文気象の観測	2007. 5.13	2007. 5.19
蔵治 光一郎	愛知	中国	IUFRO Beijing Sympojiun出席	2007. 5.28	2007. 5.30
鎌田直人	研究部	中国	IUFRO拡大理事会・共同研究打合せ	2008. 5.29	2008. 6. 1
蔵治 光一郎	愛知	マレーシア	キナバル国立公園・ランビル国立公園における気象水文水質観測とメンテナンス及び国際地形学連合地域会議出席	2007. 6.21	2007. 7. 7
田中 延亮	愛知	タイ	熱帯季節林における水文気象の観測	2007. 6.26	2007. 7. 8
山本 博一	研究部	中国	中国吉林省北華大学での基調講演・演習林の視察・長白山自然保護区の視察	2007. 7. 4	2007. 7. 9
安村 直樹	研究部	中国	中国吉林省北華大学での基調講演・演習林の視察・長白山自然保護区の視察	2007. 7. 4	2007. 7. 9
陳 鐘善 (浅野助教代員)	研究部	中国	中国吉林省北華大学での基調講演・演習林の視察・長白山自然保護区の視察	2007. 7. 4	2007. 7. 9
石橋 整司	秩父	中国	中国吉林省北華大学での基調講演・演習林の視察・長白山自然保護区の視察	2007. 7. 4	2007. 7. 9
田中 延亮	愛知	チリ	霧・霧捕集・露に関する国際会議出席	2007. 7.22	2007. 7.29
蔵治 光一郎	愛知	マレーシア	キナバル国立公園・ランビル国立公園における気象水文水質観測とメンテナンス他	2007. 9.20	2007. 9.27
田中 延亮	愛知	マレーシア	混交フタバガキ林における水文気象の観測	2007. 9.23	2007. 9.29
山本清龍	富士	米国	国立公園の視察	2007. 9.27	2007.10.17
尾張敏章	北海道	台北(台湾)	森林研究機関国際連合第5分科会全体会議における研究発表のため	2007.10.29	2007.11. 2
尾張敏章	北海道	ヘルシンキ(フィンランド)	林産物マーケティング計画手法の体系化に関する研究打合せ及び資料収集	2007.11.17	2007.12. 1
蔵治 光一郎	愛知	タイ	タイ・メーチャム流域における雨量計の記録装置の交換	2007.11.24	2007.11.30
田中 延亮	愛知	タイ	カセツアート大学における研究セミナー開催及び熱帯季節林における水文気象の観測	2007.12.13	2007.12.23

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰国日
蔵治 光一郎	愛知	マレーシア	キナバル国立公園・ランピル国立公園における定期水サンプルの回収、EC計データ回収、土壌水・地下水の採集、自動採水装置設置・採水、同位体サンプル採集、ケムサイン訪問	2008. 1. 2	2008. 1.13
鎌田 直人	研究部	ベトナム	ベトナムにおけるカシノキクイムシと共生菌の採集のための現地視察および打合せ	2008. 1.28	2008. 2. 2
安村 直樹	研究部	ニュージーランド オーストラリア	「ウッド・マイレージに基づく木材質貿易に関する環境負荷の定量化」における聞き取り調査および資料収集	2008. 2. 4	2008. 2.14
田中 延亮	愛知	マレーシア	混交フタバガキ林における水文気象の観測	2008. 2. 8	2008. 2.13
鎌田 直人	研究部	ベトナム	ベトナムにおけるカシノキクイムシとその近縁種およびこれらの共生菌の採集	2008. 2.18	2008. 2.26
鎌田 直人	研究部	インド・インドネシア	インドにおけるカシノキクイムシ現地保存標本の計測観察と共同研究打ち合わせ	2008. 2.28	2008. 3. 6
田中 延亮	愛知	タイ	熱帯季節林における水文気象の観測	2008. 3. 1	2008. 3. 9

出版広報活動

演習林報告

「演習林報告」117号・118号を発行した。

演習林報告第117号 2007年6月25日発行

小松 光・久米朋宣・吉藤奈津子・堀田紀文・鈴木雅一 スギ人工林の冬季の蒸散：通年樹液流計測に基づく解析	1-9
小松 光・橋本昌司・久米朋宣・吉藤奈津子・堀田紀文・鈴木雅一 スギ人工林における純放射量と日射量の比の季節変化	11-19
藤田直子 都市における緑地としての社叢空間の評価に関する研究(2)	21-64
—空間スケール別にみる都市緑地における社叢の分析—	
山田利博・坂上大翼 <i>Raffaelea quercivora</i> を接種して生残した <i>Quercus crispula</i> 苗の水分通 導性の変化	65-76

演習林報告第118号 2007年12月25日発行

イダル ゲデ ヌルジャジャニンシ・齊藤陽子・津田吉晃・井出雄二 マイクロサテライトマーカーにより検出されたメルクシマツ実生採種園に おける母樹および次世代集団の遺伝的多様性	1-14
ブディレクソノ・栗延 晋・井出雄二 遺伝獲得量最大化のための実生採種園の最適設計	15-24
- <i>Eucalyptus pelita</i> の実生採種園における検討 -	
井上広喜・鴨田重裕・寺田珠実・濱本宏・佐分義正 イチヨウ培養細胞におけるメナジオンによる細胞死の誘導	25-43
指村奈穂子・井出雄二 湯檜曾川における3種のヤナギ科樹種の実生定着過程	45-64
五名美江・蔵治光一郎・春田泰次・鴨田重裕・小田智基・堀田紀文・鈴木 誠・ 木村徳志・五十嵐勇治・大村和也・渡邊良広 東京大学5演習林8試験流域における渓流水質の特性	65-83

演習林

「演習林」47号を発行した。

演習林第47号 2008年1月31日発行

渡部 賢・井上 淳・高德佳絵・荒木田きよみ・後藤太成・芝野博文・澤田晴雄・ 荒木田善隆	
材線虫病被害後における海岸林の樹種構成 七里御浜国有林と愛知演習林新居試験地の比較	1-29
秋廣敬恵	
千葉県我孫子市「古利根の森」にみる森林管理・利用のための「協議 システム」に関する調査研究資料	31-82
農学生命科学研究科附属演習林	
東京大学演習林気象報告(自2006年1月至2006年12月)	83-105

科学の森ニュース



■第38号■ 2007年6月10日発行

【表紙記事】 公開講座「野鳥の巣箱をかけよう！」（千葉演習林）
記事

- ・ 神社山自然観察路のオープンセレモニー（北海道演習林）
- ・ 公開講座「海岸林を歩こう、植えよう」（愛知演習林）
- ・ 木の幹の光屈性を発見（田無試験地）
- ・ 演習林のイベントダイジェスト 2007年4月～2007年9月

<クローズアップ>

演習林における気象観測（田無試験地・前原忠/造林学研究室・丹下健）

<科学の森の動植物紹介>

ヤマビル（千葉演習林）

<名所・名物紹介>

温故知新 樹芸温泉で温めるものは何？（樹芸研究所）



■第39号■ 2007年9月20日発行

【表紙記事】 開講「夏版 伊豆に学ぶ」（樹芸研究所）

記事

- ・ 公開講座「森を測る」（愛知演習林）
- ・ 第6回大麓山ハイキング登山会（北海道演習林）
- ・ 五月祭で「科学の森BOOKS」開店（研究部）
- ・ 演習林のイベントダイジェスト 2007年5月～2007年12月

<クローズアップ>

檜皮-木の文化伝承のために-（研究部・山本博一）

<科学の森動植物紹介>

カワヨシノボリ（愛知演習林）

<コラム>

森林棲動物の林外生活～房総半島の二ホンジカの場合～（秩父演習林・鈴木牧）



第40号■ 2007年12月10日発行

【表紙記事】 旭川「森林の市（もりのいち）」に初めて出店しました（北海道演習林）

記事

- ・ 130TH ANNIVERSARY SUMMER SCHOOL 東大の森へ行こう。（秩父演習林）
- ・ 公開講座「天津小学校 緑の教室」（千葉演習林）
- ・ 技術職員等試験研究・研修会議（秩父演習林）
- ・ 演習林のイベントダイジェスト 2007年9月～2008年2月

<クローズアップ>

前山長期森林生態系研究サイト調査の現状と今後（北海道演習林・梶幹男）

<お知らせ>

シンボルカラーが決まりました（広報情報室）

<名所・名物案内>

猿投山（愛知演習林）



第41号■ 2008年3月10日発行

【表紙記事】 大人気のお祭りです～東大演習林影森祭～（秩父演習林）

記事

- ・ 公開講座 親子でふれ合う「秋の里山散策会」（愛知演習林）
- ・ ニホンジカの生息数調査（千葉演習林）
- ・ シンポジウム「南伊豆の風景探し」（樹芸研究所）
- ・ 演習林のイベントダイジェスト 2007年11月～2008年6月

<クローズアップ>

なぜ、「将来計画2007」？（本部林長・下村彰男）

<科学の森の動植物紹介>

エゾナキウサギ（北海道演習林）

<コラム>

京都議定書における森林の炭素吸収量（千葉演習林・広嶋卓也）

演習林出版物



科学の森たんけん 8 ■ 秩父演習林 2007年5月1日発行

【秩父演習林の甲虫】

目次

- ・甲虫(昆虫)の特徴
 - ・甲虫(昆虫)のからだ
 - ・昆虫の採集方法その1
 - 見つけ採り
 - スーピング
 - ビーティング
 - ・オサムシのなかま
 - ・クワガタムシのなかま
 - ・コガネムシのなかま
 - ・カミキリムシのなかま
 - ・ハムシのなかま
 - ・オトシブミのなかま
 - ・ゾウムシのなかま
 - ・その他の甲虫
 - ・キクイムシのなかま
 - ・採集方法その2
 - ピットホールトラップ
 - ライトトラップ
 - 朽木掘り
 - マラダコールトラップ
- 秩父演習林所蔵鞘翅目(甲虫類)標本リスト



科学の森たんけん 9 ■ 秩父演習林 2007年5月1日発行

【秩父演習林の四季】

目次

- ・春
- 立春、雨水、啓蟄、春分、清明、穀雨
- ・夏
- 立夏、小満、芒種、夏至、小暑、大暑
- ・秋
- 立秋、処暑、白露、秋分、寒露、霜降
- ・冬
- 立冬、小雪、大雪、冬至、小寒、大寒



科学の森たんけん 10 ■ 秩父演習林 2007年10月1日発行

【亜高山帯の森林】

目次

- ・日本の植生分布
- ・奥秩父地方の亜高山帯
- ・亜高山の植物
- シラビソ、オオシラビソ、トウヒ、コメツガ、ヤハズハンノキ、ネコシデ、ダケカンバ、ジゾウカンバ、ヒロハカツラ、ナナカマド、ミネカエデ、コミネカエデ、オガラバナ、ヒロハツリバナ、コヨウラクツツジ、アズマシャクナゲ、サラサドウダン、ミヤコザサ、サルオガセ
- ・風倒害後の更新過程
- ・縞枯れ現象



科学の森たんけん 11 ■ 秩父演習林 2007年10月1日発行

【木を育てる】

- 目次
- ・林業の流れ
 - 植付け: 地拵え、植付け
 - 保育: 下刈り、つる切り、除伐、枝打ち、間伐
 - 主伐: 皆伐、択伐
- 獣害
 - シカ、ツキノワグマ、ノウサギ、忌避剤、防護筒、防除柵
- 道具
 - 服装、ナタ・ノコギリ、チェーンソー、刈払機
- 苗木
 - スギ、ヒノキ



東京大学愛知演習林リーフレット
愛知演習林 2007年8月1日発行

【愛知演習林の植物】

- 目次
- 裸子植物: アカマツ、スギ、ヒノキ
- 被子植物・双子葉離弁類: アカシデ、コナラ、アラカシ、クリ、ツクバネ、ホオノキ、シキミ、シロモジ、ヤブツバキ、サカキ、ヒサカキ、タマアジサイ、ノリウツギ、ヤマアジサイ、コアジサイ、ウワミズザクラ、ヤマザクラ、ニガイチゴ、モミジイチゴ、アズキナシ、ウラジロノキ、カマツカ、ハリエンジュ、ミヤマシキミ、ヤマウルシ、イロハモミジ、コハウチワカエデ、ウリカエデ、ソヨゴ、アオハダ、ツリバナ、アオキ、タカノツメ
- 被子植物・双子葉合弁類: リョウブ、パイカツツジ、コバノミツバツツジ、アセビ、ネジキ、ナツハゼ、ウスノキ、エゴノキ、マルバアオダモ、ヒイラギ、オオカメノキ、コバノガマズミ、ミヤマガマズミ、タニウツギ
- 用語解説



■ 東京大学愛知演習林リーフレット ■
愛知演習林 2008年2月29日発行

【愛知演習林の植物】

- 目次
- 用語解説
- 裸子植物: ネズミサシ、イヌガヤ
- 被子植物・双子葉離弁類: ヤマモモ、ヒメヤシャブシ、オオバヤシャブシ、サクラバハノキ、クヌギ、アベマキ、アカガシ、ウラジロガシ、ヒメコウゾ、シデコブシ、ヤマコウバシ、ヘビノボラス、チャノキ、ナツツバキ、マンサク、ノイバラ、フユイチゴ、クマイチゴ、ピロードイチゴ、コジキイチゴ、ナワシロイチゴ、マメナシ、ネムノキ、アカメガシワ、イヌザンショウ、サンショウ、ヌルデ、ヤマハゼ、カラコギカエデ、イヌツゲ、タラヨウ、ウメモドキ、ゴンズイ、イソノキ、ガンビ、ヤマボウシ、タラノキ、コシアブラ
- 被子植物・双子葉合弁類: モチツツジ、ヤマツツジ、ベニドウドン、シャシャンボ、ヤマガキ、サウフタギ、クロミノニシゴリ、ヒトツバタゴ、クチナシ、クサギ

新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
千葉演習林	朝日新聞(ちば房総)	2007. 4. 4	「房総でヤマビル暴走」山中助教が鑑定
千葉演習林	広報かもがわ	2007. 4. 5	春の一般公開案内
千葉演習林	朝日新聞	2007. 4. 8	鴨川市の巨木「観音桜」を池田助教が鑑定
千葉演習林	広報かもがわ	2007. 6.14	「夏の森林教室」参加者募集
千葉演習林	東京新聞	2007. 6.14	「夏の森林教室」参加者募集
千葉演習林	朝日新聞(ちばマリオン)	2007. 6.26	「高校生のための森と海のゼミナール」案内
千葉演習林	産経新聞	2007. 6.28	護岸の隙間からの出たヤシを池田助教が鑑定
千葉演習林	房日新聞	2007. 6.30	護岸の隙間からの出たヤシを池田助教が鑑定
千葉演習林	産経新聞	2007. 8. 7	夏の香り - 不動滝」記事掲載
千葉演習林	房日新聞	2007. 8.12	「高校生のための森と海のゼミナール」実施報告
千葉演習林	朝日新聞(夕刊)	2007. 8.28	「ヤマビル人里に接近」山中助教が鑑定
千葉演習林	千葉県ニュースリリース	2007.10.24	秋の一般公開案内
千葉演習林	房日新聞	2007.10.26	「みどりの教室(天津小学校)」実施報告
千葉演習林	月刊ぐるっと千葉	Vol.88, 2007.11	春の一般公開案内
千葉演習林	ゆるり	Vol.11, 2007.11	秋の一般公開案内
千葉演習林	ゴルフ場セミナー	第40巻, 2007.11	「生存マツから抵抗性マツを選抜」記事掲載
千葉演習林	鴨川市学園のまちづくり通信	第7号, 2007.11	「野鳥の巣箱をかけよう」案内
千葉演習林	房日新聞	2007.11.16	秋の一般公開案内
千葉演習林	朝日新聞(ちばマリオン)	2007.11.20	秋の一般公開案内
千葉演習林	東京新聞	2007.11.20	秋の一般公開案内
千葉演習林	房日新聞	2007.11.25	「野鳥の巣箱をかけよう」案内
千葉演習林	朝日新聞(夕刊)	2007.11.27	秋の一般公開案内
千葉演習林	朝日新聞(ちばマリオン)	2007.11.27	秋の一般公開案内
千葉演習林	房日新聞	2007.12. 6	内浦県民の森主催「清澄山紅葉ハイキング」実施報告記事
千葉演習林	房総ファミリア新聞	2007.12.12	「静寂な東京大学の冬の森を歩こう」案内
千葉演習林	東京新聞	2007.12.13	「静寂な東京大学の冬の森を歩こう」案内
千葉演習林	外房新聞	2007.12.14	「野鳥の巣箱をかけよう」実施報告記事
千葉演習林	房日新聞	2007.12.14	「静寂な東京大学の冬の森を歩こう」案内
千葉演習林	房日新聞	2007.12.20	「野鳥の巣箱をかけよう」実施報告記事
千葉演習林	房日新聞	2007.12.23	「野鳥の巣箱をかけよう」実施報告記事

演習林名	メディア	日付	内容
千葉演習林	THE JOURNAL Of SURVEY 「測量」	Vol.58号, 2008.1	産業技術研究所研修謝辞掲載
千葉演習林	南房総生活情報紙クリップ	2008. 1. 1	南房総検定・第4回模擬試験出問
千葉演習林	NHK	2008. 1.22	マイクロワールド「こっそり吸血ヤマビル」の秘密」
千葉演習林	千葉テレビ	2008. 1.25	稚児滝他放映
千葉演習林	房日新聞	2008. 2.21	車椅子の男性救助 阿達康真技術職員に感謝状の記事
北海道演習林	北海道新聞	2007. 5.18	富良野・神社山周辺の東大演習林 散策路拡充もっと親しんで
秩父演習林	読売新聞	2007. 7.26	彩の国調査隊 荒川の”最初の一滴”
秩父演習林	別冊 つり人 溪流2007	2007. 7.30 発行	希望の里暮らし。秩父演習林の番人 大村和也さん
愛知演習林	樹木医あいち	2007. 5. 1	シャクガ類による食葉害がケヤキの成長に与える影響
愛知演習林	日刊 とうめい	2007. 5.26	磁祖・民吉 帰郷から200年で記念事業
愛知演習林	朝日新聞【尾張】	2007. 6. 3	「森の健康診断」広がる参加者
愛知演習林	矢作新報	2007. 7.28	国交省シンポジウム 矢作川の「これから」を語る
愛知演習林	日刊 とうめい	2007.10.30	水環境テーマに意見交換
愛知演習林	矢作新報	2007.11. 3	森と人との新しい関わり方は 豊田市森林課 森づくりシンポジウム
愛知演習林	矢作新報	2007.11.10	矢作川「森の健康診断」報告シンポジウム
愛知演習林	広報せと	2007.11.16	第1回せと環境塾(プレ版) 「せとの森と水のみなもとを訪ねて」
愛知演習林	愛媛新聞	2007.11.21	肱川治水で意見交換 地元住民と研究者会合
愛知演習林	静岡新聞	2007.11.22	間伐の重要性再確認 天竜区で森の健康診断
愛知演習林	日刊 木材新聞	2007.12.21	森林環境税について議論 愛知県瀬戸市 日本の森と自然を守る全国集会
愛知演習林	中日新聞	2008. 1.21	「森林保全に市民も力を」 東大講師蔵治光一郎さんに聞く
愛知演習林	東京新聞	2008. 1.21	「森林保全に市民も力を」 東大講師蔵治光一郎さんに聞く
愛知演習林	clover eco stop	2008年1月 発行	巻頭インタビュー「団塊世代の人たちは、他のどの世代よりも未来を大きく変える可能性を持っています」
愛知演習林	森と人 (社団法人 静岡県山林協会 発行)	2008. 2.15	「首長は語る」新居町長 中嶋正夫 (新居試験地での植林の取り組み)

演習林名	メディア	日付	内容
愛知演習林	朝日新聞(夕刊)	2008. 2.20	窓 論説委員室から「植林神話」
愛知演習林	静岡新聞	2008. 2.29	松林再生へ 今年も植樹 -新居の海岸-
愛知演習林	中日新聞	2008. 2.29	ひん死の海岸林 復活もうすぐだ 抵抗性クロマツの苗1000本植林
愛知演習林	静岡新聞	2008. 3. 7	抵抗性アカマツ 新居試験地で植林
愛知演習林	中日新聞	2008. 3. 7	海岸林の松枯れを防げ 抵抗性アカマツ植林
愛知演習林	静岡新聞	2008. 3.10	アカマツ元気に育って 新居で公開講座
愛知演習林	中日新聞	2008. 3.10	海岸林 地域の手で守れ 抵抗性マツ植栽
愛知演習林	Radio SAN-Q	2007. 8. 7	演習林の概要と公開講座「鳥の巣箱作りと観察」参加の呼びかけ
愛知演習林	Radio SAN-Q	2007. 9.18	蔵治先生の環境講座
愛知演習林	Radio SAN-Q	2007.10.16	蔵治先生の環境講座
愛知演習林	テレビ朝日	2007.10.27	ニュースステーション
愛知演習林	Radio SAN-Q	2007.11.13	蔵治先生の環境講座
愛知演習林	Radio SAN-Q	2007.12. 4	蔵治先生の環境講座
愛知演習林	Radio SAN-Q	2008. 1.14	蔵治先生の環境講座
愛知演習林	Radio SAN-Q	2008. 2.11	蔵治先生の環境講座
愛知演習林	Radio SAN-Q	2008. 3.10	蔵治先生の環境講座
樹芸研究所	NHK BS	2007. 9.23	アジア大自然紀行
樹芸研究所	伊豆新聞	2007.11. 9	公開講座「鳥の巣箱を作ろう」参加者募集
樹芸研究所	伊豆新聞	2007.11.22	シンポジウム「南伊豆の風景探し」
樹芸研究所	伊豆新聞	2007.11.24	潮の響 シンポジウム「南伊豆の風景探し」、全 学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」
樹芸研究所	伊豆新聞	2008. 3.23	鴨田所長紹介
研究部	朝日新聞	2007.10.29	「ブナの葉はなぜ消えた」鎌田准教授
研究部	北日本新聞	2007.10. 6	「緑再生'07沈黙の森 カシナガ被害わずか5年 枯死400倍」鎌田准教授
研究部	朝日新聞	2007. 9.26	「枯れていくドングリの木 ムシの仕業示す幹の 穴 太平洋側へ広がる恐れ」鎌田准教授
研究部	毎日新聞山形	2007. 9.24	「ブナの葉枯れ:庄内地方の湯殿山スキー場付 近など4カ所で大発生 ウエツキブナハムシの 幼虫確認」鎌田准教授
研究部	北國新聞	2007. 8.14	「よみがえれ里山 子孫に残す緑の回廊」鎌田 准教授
研究部	デーリー東北	2007. 8.11	「謎の大発生 もぉ～ "ガ,, まん限界！」鎌田准 教授

演習林名	メディア	日付	内容
研究部	文化放送	2008. 1.21	「くしまるワイドごぜんさま～くしまるアカデミー」～森と昆虫～鎌田准教授

利用状況

演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
松島雄紀	長期間のアルミニウムストレスがクスノキの成長とアルミニウム集積に与える影響	東京大学卒業論文		1-49	2007
藤本典之	腐朽によるスギ・ヒノキ材の容積密度の推移	東京大学卒業論文		1-29	2007
浅田陽子	システム収穫表に基づく炭素蓄積最大化のための最適間伐施業	東京大学卒業論文			2007
江草智弘	流域スケールと流量・水質の関係	東京大学卒業論文		1-34	2007
高木悦郎	モチノキタネオナガコパチによるモチノキの利用と操作	東京大学卒業論文		1-31	2007
松澤健介	山地小流域における平均滞留時間の推定に基づく流水プロセスの考察	東京大学卒業論文		1-24	2007
渡邊祐哉	森林流域の地下水帯における脱窒プロセスの時空間分布と水文条件の影響	東京大学卒業論文		1-51	2007
北村智之	ニホンジガが森林の土壤生態系の構造と機能に与える影響とその状況依存性	東京大学卒業論文		1-34	2007
Shun TAKAGI	Hosut plant quality influences diapause induction of a swallowtail butterfly <i>Byasa alcinous</i>	東京大学卒業論文		1-22	2007
池田信輔	野外に生育するツバキ科8種の地上部におけるアルミニウム集積特性	東京大学卒業論文		1-40	2008
井越 慎也	森林土壌の撥水性評価に関する研究	埼玉大学卒業論文			2008
清水美紗子	森林流域における地下水帯の水質浄化機能について -NO ₃ の除去機構を中心に-	東京農業大学卒業論文		1-35	2007
板澤寛治	新第三期層地域千葉演習林内における流域のスケールと流量・水質の関係	東京農業大学卒業論文		1-58	2007
影山明子	土壌中二酸化炭素濃度の連続計測結果に基づいた土壌呼吸量の推定	東京農業大学卒業論文		1-51	2007
石森雄基	ブナとミズナラの開葉時期と蒸散開始の関係	東邦大学卒業論文			2007
宮内翠	太平洋型ブナと日本海型ブナの開葉時期と霜害感受性	東邦大学卒業論文			2007
小宮英之	冷温帯落葉広葉樹ブナとミズナラの水分生理特性の比較	東邦大学卒業論文			2007
宮井遼平	東京大学千葉演習林におけるスギ・ヒノキ人工林の鳥類相を規定する要因	東京大学修士論文		1-39	2007
川口高朗	人工林二段林におけるスギ・ヒノキ下木の成長 - 東京大学千葉演習林安野二段林を対象として -	東京大学修士論文		31	2007
吉里啓一郎	幹の環状剥皮により樹木が枯死に至る過程	東京大学修士論文		1-66	2007
中村麻祐子	南伊豆地方暖温帯下部二次林における林床の光環境とアオキの繁殖様式	東京大学修士論文		1-62	2008
江取良枝	多雨地域の乾性褐色森林土の水分状態の季節変化と撥水性の関与	東京大学修士論文		1-52	2008

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
矢永清美	夕方以降の結露が乾燥土壌のスギ苗の気孔反応と水ストレスに与える影響	東京大学修士論文		54	2008
吉田亮一郎	都市樹林地における鳥類層と樹林地周辺の土地被覆との関係	東京大学修士論文			2008
竹添勝俊	地位指数曲線を用いた造林木と侵入木の優劣関係の予測	東京大学修士論文			2008
中島淑子	スタジイの年輪年代学的解析	東京農工大学修士論文		1-63	2007
村田弘祐	苗畑で生育するエゾマツ実生と外生菌根菌の関係	帯広畜産大学修士論文		1-30	2008
高田まゆら	階層組織化理論に基づいたチビサラグモの個体数決定機構の解明	東京大学博士論文		1-84	2007
小松 光・久米朋宣・吉藤奈津子・堀田紀文・鈴木雅一	スギ人工林の冬季の蒸散：通年樹液流計測に基づく解析	演習林報告	117	1-9	2007
小松 光・橋本昌司・久米朋宣・吉藤奈津子・堀田紀文・鈴木雅一	スギ人工林における純放射量と日射量の比の季節変化	演習林報告	117	11-19	2007
矢永 清美, 丹下 健	夜間のミスト処理が乾燥土壌に生育するスギ苗のガス交換に与える影響	日林学術講	118	514	2007
川口高朗・龍原哲・鈴木誠	二段林における下木の成長	日林学術講	118	E29	2007
真板英一・鈴木雅一	千葉袋山沢流域における伐採前後の流況曲線の変化	日林学術講	118	P2b24	2007
小田智基・武田圭史・鈴木雅一	新第三紀層小流域における伐採前後の水収支の推定-CI-の物質収支を用いた深部浸透量推定に基づく検討	日林学術講	118	P2b27	2007
山本哲裕・浅野友子・鈴木雅一・澤野真治	スギ幼齢木の成長と水分、養分の分布の関係 - 地形情報を用いた解析	日林学術講	118	P3e41	2007
真板 英一・鈴木 雅一	千葉演習林袋山沢流域における伐採による月流出量変化	日本森林学会誌	89(4)	36-45	2007
真板 英一・鈴木 雅一	森林植生の伐採が山地小流域の流況曲線に与える影響 - 流況の流域間変動に対する植生要因の大きさの検討 -	日本森林学会誌	90(1)	278-287	2007
秋廣敬恵	地域社会における森林管理・利用への住民参加・パートナーシップに関する社会経済学的考察(II) - 森林ボランティア活動にみる森林管理・利用のための「協議システム」の分類と特徴 -	森林計画学会誌	41(2)	249-270	2007
高木俊・宮下直	ジャコウアゲハの可塑的な休眠性：葉の質の影響	日本昆虫学会大会	67	A103	2007
石原正恵・豊田鮎・中村誠宏	野外研究サイトから(8)モニタリングサイト1000	日本生態学会誌	57	438-442	2007
高木俊・宮下直	ホストの質の植内変異がジャコウアゲハの休眠決定に与える影響	日本生態学会大会講演要旨	54	P3-081	2007

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻 - 号	頁	年
浦本豪一郎・伊藤慎	房総半島鮮新統清澄層に認められる砂質海底扇状地における重力流プロセスの空間的变化	日本地質学会講演要旨	114	120	2007
孫田敏・園田里絵	エゾマツ研究会 第4回現地検討会-東京大学北海道演習林のエゾマツ林業-	北方林業	59(3)	60-62 (12-14)	2007
宮 久史	東京大学北海道演習林で天然林施業を学ぶ	北方林業	59(4)	86-88 (14-16)	2007
上田明良・原秀穂	2005年に北海道で発生した森林昆虫	北方林業	59(7)	159-160 (15-16)	2007
酒井秀夫	林業機械特集 機械化と路網	北方林業	59(8)	175-177 (5-7)	2007
Takehiko Ochimaru, Kenji Fukuda	Changes in fungal communities in evergreen broad-leaved forests across a gradient of urban to rural areas in Japan I	Can.J.For.Res	37	247-258	2007
Tadashi Miyashita , Mayura Takada	HABITAT PROBISIONING FOR ABOVEGROUND PREDATORS DECREASES DETRITIVORES	Ecology	88(11)	2809-2809	2007
Y Tsumura, A Matsumoto, N Tani, T Ujino-Ihara, T Kado, H Iwata, K Uchida	Genetic diversity and the genetic structure of natural populations of <i>Chamaecyparis obtusa</i> : implications for management and conservation	Heredity	99	161-172	2007
Norifumi Hotta, Toshiya Kayama, Masakazu Suzuki	Analysis of suspended sediment yields after low impact forest harvesting	HYDROLOGICAL PROCESSES	21	3565-3575	2007
Karunarathna, A.K., K. Kawamoto, P. Moldrup, T. Komatsu, and L.W. de Jonge.	Characterizing soil water repellency properties by soil organic carbon content, soil texture and sieved-size fractions.	Interfaces Against Pollution 2008.			2008
Shun Takagi ,Tadashi Miyashita	Does deer browsing affect life-history of a herbivorous insect through phenological change of a host plant?	The23Symposium of the Society of Population Ecology Sapporo,japan	23	P04	2007

2007年度 演習林を利用して行った論文数

千葉	32
北海道	5
秩父	4
愛知	2
富士	3
樹芸	3
田無	5

合計 54

複数の演習林にまたがった論文がある場合、各演の合計と総計は一致しない

全利用者

演習林名:千葉演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
1	4	1~30	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
2	4	1~30	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
3	4	1	千葉県森林インストラクター会	0	0	0	25	25	25	全国森林インストラクター会現地研修会の下見	
4	4	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	0	5	2	0	7	28	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	
5	4	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	2	2	2	シカ柵設置作業	
6	4	1	東大・農・造林学研究室	1	0	1	0	2	2	巻枯らしの水分生理学的研究及び「造林学実験」実習地下見	
7	4	1	東大・農・千葉演習林	0	0	0	23	23	23	公開講座「野鳥の巣箱をかげよう」～観察会～	
8	4	3	東大・農・森園管理理学研究室	0	0	1	0	1	3	ミヤマトベラの発芽成長モニタリング	清澄宿泊施設
9	4	1	東大 地震研究所	1	0	0	0	1	1	地震観測機器点検	
10	4	4	東大・農・千葉演習林	0	0	0	917	917	917	春の一般公開	
11	4	4	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	7	7	22	春の一般公開サポート	
12	4	1	㈱ジェイコム メディア営業部	0	0	0	1	1	1	春の一般公開区間撮影(週間トピックスで放映)	
13	4	1	東大・農・森林生態圏管理理学研究室	0	0	2	0	2	2	檜皮剥皮試験地でのフィールドデータ取得	
14	4	3	東大・農・生物多様性科学研究室	1	1	1	0	3	8	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設
15	4	1	内浦山県民の森 管理事務所	0	0	0	3	3	3	「清澄山新緑ハイキング」コース下見	
16	4	1	東大・農・保全生態学研究室	2	0	0	0	2	2	水生昆虫の生態学的研究	
17	4	1	内浦山県民の森 管理事務所	0	0	0	2	2	2	「清澄山新緑ハイキング」コース下見	
18	4	1	内浦山県民の森 管理事務所	0	0	0	33	33	33	「清澄山新緑ハイキング」	
19	4	2	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	2	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
20	4	2	東大 財務部資産課	5	0	0	0	5	10	管理移管林道の視察他	清澄宿泊施設2
21	4	1	檜堂	0	0	0	1	1	1	ヤブムラサキの調査	
22	4	1	東大・農・千葉演習林	4	0	0	0	4	4	春の特別巡林	
23	4	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	3	3	3	春の特別巡林補助	
24	5	1~31	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
25	5	1~31	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
26	5	3	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	3	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
27	5	2	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	2	広葉樹二次林の更新動態とシカの影響	清澄宿泊施設
28	5	2	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	2	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験	清澄宿泊施設
29	5	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設
30	5	2	名古屋大学 生命農学研究科森林保護学	2	0	1	0	3	6	森林昆虫(キクイムシなど)とその共生微生物の地理的変異	清澄宿泊施設
31	5	6	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	2	4	3	0	9	54	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	清澄宿泊施設
32	5	1	東大・農・千葉演習林	4	0	0	0	4	4	春の特別巡林	
33	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	4	4	4	春の特別巡林サポート	
34	5	10	横浜国立大学 環境情報学府 植生学研究室	0	0	1	0	1	10	クスノキ科常緑樹三種(タブノキ、ヤブニッケイ、シロダモ)における葉寿命と樹形の光環境に対する可塑性	清澄宿泊施設、清澄宿泊施設2
35	5	5	東大・農・森林科学専攻造林学研究室	2	15	4	0	21	102	造林学実験	清澄宿泊施設
36	5	5	東大・農・森林科学専攻造林学研究室	1	0	0	0	1	5	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性の解析	清澄宿泊施設
37	5	3	東大・農・国際森林環境学研究室	0	0	1	0	1	3	林内見学(造林学実験に同行)	清澄宿泊施設、札幌郷泊施設
38	5	2	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	2	0	2	6	三浦層群の堆積学的研究	札幌郷泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
39	5	2	東大・農・保全生態学研究室(研究拠点形成特任研究員)	1	0	0	0	1	2	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設
40	5	1	東大・農・生物多様性科学研究室	0	1	0	0	1	1	シカの環境変化が土壤動物・リター分解に与える影響	
41	5	1	東北大学 名誉教授	1	0	0	0	1	1	気象資料補正のための観測露場の観察	
42	5	3	東大・農・森林植物学研究室	2	14	3	0	19	57	森林植物学実験野外実習	清澄宿泊施設
43	5	2	慶応義塾大学 経済学部(生物学教室)	1	0	0	0	1	2	音声モニタリングによるカエル類の生息調査	
44	5	2	東大・農・秩父演習林	3	15	0	0	18	35	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(1)危険生物の知識」	札郷宿泊施設
45	5	4	東大・農・森林経理学研究室(千葉演習林)	3	8	2	0	13	52	2007年度森林経理/計画学実習	札郷宿泊施設
46	5	3	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	3	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設
47	5	1	東大・農・造林学研究室	0	0	1	0	1	1	巻枯らしの水分生理学的研究	
48	5~6	15	東大・生圏システム・耕地生圏生態学研究室	0	0	1	0	1	15	スギ・ヒノキ人工林における鳥類相を規定する要因	清澄宿泊施設2, 札郷宿泊施設
49	5	11	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	11	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
50	5	3	東京農工大学・植物資源形成学研究室	0	0	4	0	4	12	スタジイの肥大成長に影響を与える環境要因及び肥大成長における光合成産物の利用	札郷宿泊施設
51	5	2	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	4	4	8	春の造林研修聴講, 歩道標識杭の整備・補修	清澄宿泊施設
52	5	1	東大・農・千葉演習林	26	0	0	0	26	26	春の造林研修	
53	5	3	日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学科	3	47	1	0	51	153	野生動物学実習	清澄宿泊施設
54	5	2	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	3	3	6	5月例会	郷台宿泊施設
55	5	2	東大・農・生物多様性科学研究室	1	1	0	0	2	4	シカによる植物の更新, 土壤動物定着の阻害の把握	清澄宿泊施設
56	5	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	
57	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	3	3	3	歩道用標識杭作成(刻印)臨時作業	
58	5~6	3	日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学科	4	46	0	0	50	150	野生動物学実習	清澄宿泊施設
59	6	1~30	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
60	6	1~30	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
61	6	6	横浜国立大学 環境情報学府 植生学研究室	0	0	1	0	1	6	クスノキ科常緑樹三種(タブノキ, ヤブニッケイ, シロダモ)における葉寿命と樹形の光環境に対する可塑性	清澄宿泊施設2, 清澄宿泊施設
62	6	3	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	3	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
63	6	3	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	3	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
64	6	1	東大・農・保全生態学研究室	2	0	0	0	2	2	水生昆虫の生態学的研究	
65	6	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	5	2	0	8	32	総合対照流域法による水文過程や水質形成, 土壤呼吸メカニズムの評価, 気象観測	
66	6	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設
67	6	1	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	1	シカの環境変化が土壤動物・リター分解に与える影響	
68	6	2	千葉県立君津青葉高等学校 総合学科	2	0	0	11	13	26	樹木の種類と特徴を学習し興味・関心を高めるとともにその過程で生ずる様々な体験を通して生きる力を育む	清澄宿泊施設
69	6	1	東大・農・森林動物学研究室	0	0	1	0	1	1	ニホンホビロコメツキモドキの左右非対称な頭部形態が繁殖活動に及ぼす影響	
70	6	5	文理開成高等学校	0	0	0	2	2	10	サンコウチョウの基礎研究と鳥類相, 鳥類標識調査	
71	6	1	慶応義塾大学 経済学部(生物学教室)	1	0	0	0	1	1	音声モニタリングによるカエル類の生息調査	
72	6	2	東大・農・秩父演習林	1	6	0	0	7	14	総合科目D「森林 - 人間系の科学」	札郷宿泊施設
73	6	2	千葉県昆虫談話会	0	0	0	16	16	32	定例会(千葉県内各地の昆虫調査)	清澄宿泊施設
74	6	9	東大・農・生物多様性科学研究室	0	1	1	0	2	10	シカによる植物の更新, 土壤動物定着の阻害の把握	清澄宿泊施設2
75	6	4	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	4	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験(及び利用者説明会参加)	清澄宿泊施設
76	6	2	立正大学 地球環境学部	1	0	0	0	1	2	流水による岩盤の侵食(及び利用者説明会参加)	札郷宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
77	6	2	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	2	三浦層群の堆積学的研究(及び利用者説明会参加)	札郷宿泊施設
78	6	2	東大・農・千葉演習林	40	7	13	11	71	108	2007年度千葉演習林利用者説明会	清澄宿泊施設
79	6	2	東大・農・造林学研究室	1	0	1	0	2	4	巻枯らしの水分生理学的研究(及び利用者説明会参加)	
80	6	2	東大・農・田無試験地	1	0	0	0	1	2	オサムシ(及び利用者説明会参加)	
81	6	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	7	7	7	歩道杭設置(及び利用者説明会参加)	
82	6	1	住友林業株式会社	0	0	0	5	5	5	千葉演習林見学	
83	6	1	千葉市立稲毛小学校	1	0	0	10	11	11	林間学校「森林散策や森林体験活動等を通し清澄山の動植物と触れ合い楽しみながら森林の働きや大きさを学ぶ」	
84	6	1	(有)オーズランド	0	0	0	1	1	1	山中征夫インタビュー取材(フジテレビ「スーパーニュース」)	
85	6	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設2
86	6	2	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	2	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
87	6	1	千葉大学 園芸学部花卉園芸学研究室	1	0	0	0	1	1	カツラの系統地理学的研究	
88	6~7	13	東大・農・森園管理学研究室	0	0	1	0	1	13	ミヤマトベラの交配特性の調査	札郷宿泊施設
89	6~7	7	東大・生圏システム・耕地生圏生態学研究室	0	0	1	0	1	7	スギ・ヒノキ人工林における鳥類相を規定する要因	清澄宿泊施設2
90	6	1	東大・農・森園管理学研究室	1	0	0	0	1	1	暖帯林床植物の多様性に関する研究	
91	6	1	東大・農・安全衛生管理室特任教員	31	0	0	0	31	31	安全衛生マネジメントシステム説明会、毒物劇物保管状況調査及び防災事故現場確認	
92	7	1~31	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
93	7	1~31	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
94	7	4	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	4	第12期試験 土壌・植生調査	清澄宿泊施設2
95	7	10	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	10	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
96	7	5	文理開成高等学校	0	0	0	2	2	10	サンコウチョウの基礎研究と鳥類相、鳥類標識調査	
97	7	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	2	2	2	標識杭設置(T40からT42)	
98	7	5	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	2	7	2	0	11	55	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	
99	7	2	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	2	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
100	7	2	慶応義塾大学 経済学部(生物学教室)	1	0	0	0	1	2	音声モニタリングによるカエル類の生息調査	
101	7	23	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	23	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設2
102	7	55	静岡大学 理学部地球科学科	3	8	0	0	11	55	地質学調査法実習	清澄宿泊施設
103	7	2	名古屋大学 生命農学研究科森林保護学	1	0	0	0	1	2	森林昆虫(キクイムシなど)とその共生微生物の地理的変異	
104	7	2	東大・農・生物多様性科学研究室	1	1	0	0	2	2	シカの環境変化が土壌動物相に与える影響調査	
105	7	11	東大・農・森園管理学研究室	0	0	1	0	1	11	ミヤマトベラの交配特性の調査	札郷宿泊施設
106	7	1	東大・農・森林動物学研究室	1	0	0	0	1	1	水生生物の調査方法の講習(千葉演習林職員への講習会)	
107	7	4	立正大学 地球環境学部	1	0	0	0	1	4	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
108	7	12	東大・生圏システム・耕地生圏生態学研究室	0	0	1	0	1	12	スギ・ヒノキ人工林における鳥類相を規定する要因	清澄宿泊施設2
109	7	1	東大・農・造林学研究室	1	0	1	0	2	2	巻枯らしの水分生理学的研究	
110	7	1	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	2	1	0	4	4	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	
111	7	9	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	9	三浦層群の堆積学的研究(及び利用者説明会参加)	札郷宿泊施設
112	7	1	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	1	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験(及び利用者説明会参加)	
113	7	1	千葉演習林OB	1	0	0	1	2	2	オノ木会視察の下見	
114	7	2	千葉県総合教育センター	23	0	0	1	24	48	平成19年度SPP自然体験活動講座	清澄宿泊施設
115	7	2	東大・農・千葉演習林	1	0	0	2	3	6	植物観察	清澄宿泊施設2
116	7	1	秩父演習林サポーター	0	0	0	1	1	1	スギカミキリによるスギ被害状況情報の提供	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
117	7	4	東大・農・森林経理学研究室	1	1	0	0	2	6	木材腐朽に関する研究	清澄宿泊施設
118	7~8	3	高校生のための森と海のゼミナール実行委員会	0	0	0	12	12	12	高校生のための森と海のゼミナール	清澄宿泊施設, 札郷宿泊施設
119	7	1	㈱NHKエンタープライズ	0	0	0	3	3	3	松枯病対策実験林取材(NHK番組「ハイビジョン特集」用)	
120	7	1	東大・農・演習林研究部	1	0	0	0	1	1	NHK線虫種実験取材協力	
121	8	1~31	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
122	8	1~31	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
123	8	1	房日新聞 鴨川支局	0	0	0	1	1	1	取材(高校生のための森と海のゼミナール)	
124	8	1	千葉県香取市山林経営家	0	0	0	1	1	1	演習林内人工林の見学	
125	8	6	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	2	7	2	0	11	66	総合対照流域法による水文過程や水質形成, 土壌呼吸メカニズムの評価, 気象観測	札郷宿泊施設
126	8	4	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	4	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
127	8	2	東大・農・千葉演習林	0	0	0	55	55	55	公開講座「夏の森林教室」	
128	8	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	4	4	4	公開講座「夏の森林教室」サポート	
129	8	10	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	10	三浦層群の堆積学的研究(及び利用者説明会参加)	札郷宿泊施設
130	8	5	東大・理・地球惑星環境学科	2	22	3	0	27	135	理学部地球惑星環境学科「地球惑星環境野外実習」	清澄宿泊施設
131	8	4	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	4	第12期新炭林試験予備調査及び実習打ち合わせ	清澄宿泊施設2
132	8	2	東大・農・生圏システム学専攻森園管理学研究室	1	0	0	0	1	4	全学体験ゼミ「野生動物の管理」打ち合わせ	清澄宿泊施設
133	8~9	51	横浜国立大学 環境情報学府	0	0	1	0	1	51	タイムスタチバナの個体群調査	清澄宿泊施設2
134	8~9	37	横浜国立大学 環境情報学府	0	0	1	0	1	37	クスノキ科三種の葉寿命と樹形の光環境に対する適応戦略	清澄宿泊施設, 清澄宿泊施設2
135	8	2	東大・人材育成グループ	4	0	0	0	4	8	「新たな評価制度」~第二次施行セミナー	清澄宿泊施設2
136	8	2	茨城大学 理工学研究科システム学研究室	0	1	4	0	5	10	修士研究打合せ	札郷宿泊施設
137	8	1	千葉演習林ボランティア会Abies	1	0	0	5	6	6	ボランティア会Abies役員会	
138	8	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	2	2	2	公開講座「夏の森林教室」サポート	
139	8	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	
140	8	1	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	1	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験	
141	8	2	金沢工業大学 東京事務所	2	0	0	1	3	6	千葉演習林内見学	郷台宿泊施設
142	8	3	東大・教育学部附属中等教育学校	2	0	0	13	15	44	房総の林を知る~夏季生物教室	清澄宿泊施設
143	8	1	千葉演習林OB	0	0	0	5	5	5	森林博物資料館の見学	
144	8	1	東大・農・演習林研究部	2	0	1	0	3	3	北京林業大学との共同研究「複層林施業の研究」	
145	8	1	森林総合研究所 林木育種センター	2	0	0	0	2	2	抵抗性マツ共同研究に関する打合せ	
146	8	2	千葉演習林ボランティア会Abies	1	0	0	2	3	6	8月定期活動(下刈り及び標識杭設置)	清澄宿泊施設
147	8	1	宇都宮大学 森林科学科	1	3	1	0	5	5	水文観測試験地の見学	
148	8	1	東大・農・保全生態学研究室	2	0	0	0	2	2	水生昆虫の生態学的研究	
149	8	1	東大・農・造林学研究室	1	0	1	0	2	2	巻枯らしの水分生理学的研究	
150	8	1	千葉県森林インストラクター会	0	0	0	23	23	23	全国インストラクター会現地研修会の第二回下見	
151	8	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設2
152	8	3	東大・農・森園管理学研究室	0	0	1	0	1	3	ミヤマトベラの交配特性の調査	札郷宿泊施設
153	8	3	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	3	三浦層群の堆積学的研究(及び利用者説明会参加)	札郷宿泊施設
154	8	2	東大・分子細胞生物学研究所バイオリソース研究室	6	0	8	0	14	28	バイオリソース研究室セミナー	清澄宿泊施設
155	8	1	千葉県立市原特別支援学校	5	0	0	0	5	5	ヒメコマツ苗畑の見学及びヒメコマツ天然林の見学	
156	9	1~30	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設	
157	9	1~30	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲		
158	9	5	京都大学 理学研究科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室	3	12	3	0	18	90	課題演習E1/地質調査法野外実習(3回生必修)	清澄宿泊施設	
159	9	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	1	1	1	シイ、カシ、コナラなどの堅果の回収		
160	9	1	東大・農・生物多様性科学研究室	0	1	0	0	1	1	シカの環境変化が土壤動物相に与える影響の把握		
161	9	1	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	1	三浦層群の堆積学的研究(及び利用者説明会参加)		
162	9	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	7	2	0	10	40	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壤呼吸メカニズムの評価、気象観測		
163	9	1	ヤシマ産業(株) 研究開発本部開発部	0	0	0	3	3	3	試験用ヤマビルの採取		
164	9	12	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	1	1	0	3	24	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壤呼吸メカニズムの評価、気象観測	清澄宿泊施設2	
165	9	4	立正大学 地球惑星環境科学部地理学科	0	1	0	0	1	4	4	岩石・地質調査及び観察	札郷宿泊施設
166	9	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	1	0	0	1	2	シカの環境変化が土壤動物相に与える影響の把握	清澄宿泊施設	
167	9	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	1	0	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設	
168	9	2	慶応義塾大学 経済学部(生物学教室)	1	0	0	0	1	2	音声モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設	
169	9	1	東大・農・森園管理学的研究室	0	0	1	0	1	1	ミヤマトベラの交配特性の調査		
170	9	4	東大 農・千葉演習林	7	12	0	0	19	76	全身体験ゼミナール「森に学ぶ」(3)野生動物の保護管理	清澄宿泊施設	
171	9	2	韓国 国立山林科学院 南部山林研究所	2	0	1	0	3	6	スギ・ヒノキ人工林及び天然常緑広葉樹の見学	清澄宿泊施設	
172	9	4	立正大学 地球環境学部	1	0	0	0	1	4	4	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
173	9	2	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	2	2	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
174	9	1	京都大学 フィールド科学教育研究センター	1	0	0	0	1	1	1	水生生物(うなぎ)の調査地下見・選定	
175	9	1	千葉演習林ボランティア会Abies	1	0	0	3	4	4	4	ボランティア会9月定期活動	
176	9	3	島根大学 総合理工学部地球資源環境学科	0	1	1	0	2	8	8	千葉県鴨川地域に分布する安房層群の岩相・分布調査	清澄宿泊施設
177	9	1	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	1	1	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験	
178	9	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	1	1	1	1	シードトラップ回収	
179	9	1	安房植物愛好会	0	0	0	1	1	1	1	安房地域の植物分布調査のための千葉演習林植物目録の貸出し	
180	9	3	文理開成高等学校	0	0	0	2	2	6	6	サンコウチョウの基礎研究と鳥類相、鳥類標識調査	
181	9	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設
182	9	2	東京教育大学 36年会	0	0	0	9	9	18	18	学生実習地の再訪	清澄宿泊施設
183	9	1	東大・農・造林学研究室	1	0	1	0	2	2	2	巻枯らしの水分生理学的研究	
184	9	1	東大・農・造林学研究室	1	1	0	0	2	2	2	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性の解析	
185	9	1	(社)ゴルファーの緑化促進協力会 事業推進部	0	0	0	2	2	2	2	抵抗性松の育種状況の見学	
186	9	1	元東京水産大学 水産学部資源育成学科	0	0	0	1	1	1	1	千葉演習林内の見学	
187	9	2	千葉演習林ボランティア会Abies	3	0	0	11	14	26	26	ボランティア会9月定期活動	札郷宿泊施設
188	9	2	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	5	5	10	10	NPO法人房総の野生生物調査会9月例会	郷台宿泊施設
189	10	1	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
190	10	1	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
191	10	4	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	4	4	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
192	10	3	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	2	7	3	0	12	36	36	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壤呼吸メカニズムの評価、気象観測	
193	10	1	東大・農・生物多様性科学研究室	1	1	0	0	2	2	2	シカの環境変化が土壤動物相に与える影響の把握	
194	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	4	4	4	4	クモ類調査、林道歩道杭打ち	
195	10	1	(株)産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部	1	0	0	0	1	1	1	地質調査研修の下調べのため	
196	10	2	東大・農・千葉演習林	1	0	0	5	6	12	12	植物観察会	清澄宿泊施設2

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
197	10	4	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	4	広葉樹二次林の土壤動物相に対するシカのインパクト	清澄宿泊施設2
198	10	4	東大・農・森林経理学研究室	1	0	3	0	4	16	二段林の成長予測に関する研究	清澄宿泊施設
199	10	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設
200	10	1	東大・農・田無試験地	1	0	0	0	1	1	シカプロットにおける土壤動物調査	
201	10	6	東大・生圏システム・耕地生圏生態学研究室	0	0	1	0	1	6	スギ・ヒノキ人工林における鳥類相を規定する要因	清澄宿泊施設2
202	10	2	慶応義塾大学 経済学部(生物学教室)	1	0	0	0	1	2	両生類のモニタリング	郷台宿泊施設
203	10	5	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	5	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
204	10	1	東大・農・田無試験地	1	0	0	0	1	1	材線虫病被害木採集	
205	10	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	2	5	1	0	8	32	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	札郷宿泊施設
206	10	1	千葉県森林インストラクター会	0	0	0	12	12	12	全国新林インストラクター会現地研修会の第三回下見	
207	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	演習林歩道の杭打ち	
208	10	5	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	5	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
209	10	1	鴨川市立天津小学校 5年	4	0	0	48	52	52	天津小学校森林の学習	
210	10	1	千葉演習林ボランティア会abies	0	0	0	2	2	2	天津小学校森林の学習のサポート	
211	10~11	12	東大・農・生物多様性科学研究室	0	1	0	0	1	12	シカの環境変化が土壤動物相に与える影響の把握	清澄宿泊施設2
212	10	3	東大・農・森林経理学研究室	0	0	2	0	2	6	リモートセンシング技術に基づく樹冠情報を活用した林分成長モデルの開発	清澄宿泊施設
213	10	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設2
214	10	2	林野庁森林技術総合研修所	35	0	0	2	37	74	平成19年度養成研修 高等科	清澄宿泊施設
215	10	1	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	1	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験	
216	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	演習林歩道の杭打ち	
217	10	4	(独)産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門	1	0	0	5	6	24	地質調査研修	
218	10	3	東大・農・生圏システム学・生物多様性科学	1	0	17	1	19	57	生圏システム学総合学習(生物多様性科学研究室担当)	清澄宿泊施設
219	10	2	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	0	3	1	0	4	8	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	札郷宿泊施設
220	10	1	韓国忠南大学校農学生命科学大学(千葉大学)	6	0	0	0	6	6	日本の大学演習林の施設見学と施設の管理・運営の現状、法人化後の管理・運営の変化に関する視察	
221	10	1	鴨川市民(元天津小湊町職員)	0	0	0	1	1	1	トリカブトの調査	
222	10	1	東大・生圏システム・耕地生圏生態学研究室	0	0	1	0	1	1	スギ・ヒノキ人工林における鳥類相を規定する要因	
223	10	2	NPO法人 オの木	1	0	0	24	25	50	東大演習林を歩き環境と間伐材利用を学ぶエコツアー	清澄宿泊施設
224	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	3	3	3	NPO法人房総の野生生物調査会 10月例会(台風による林道崩壊のため日隔りに変更)	
225	10~11	9	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	9	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
226	10	1	東大・農・造林学研究室	1	0	1	0	2	2	巻枯らしの水分生理学的研究	
227	10	1	東大・農・森林動物学研究室	1	1	0	0	2	2	モチノキの存在様式とモチノキタネオナガコバチの生存率	
228	10	1	君津市立坂畑小学校	2	0	0	13	15	15	総合的な学習「亀山に棲む生き物を調べよう」	
229	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	NPO法人房総の野生生物調査会 歩道杭設置	
230	11	1~30	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
231	11	1~30	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
232	11	1	千葉県立鴨川青年の家	4	0	0	0	4	4	鴨川青年の家主催事業「リフレッシュイン鴨青」下見	
233	11	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設
234	11	1	千葉県立鴨川青年の家	4	0	0	0	4	4	鴨川青年の家主催事業「リフレッシュイン鴨青」下見	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
235	11	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	6	2	0	9	36	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	
236	11	2	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	3	3	7	11月例会(秋の研修会聴講,下刈り,クラフト素材集め)	清澄宿泊施設
237	11	1	東大 農・千葉演習林	25	0	0	3	28	28	技術秋職員研修会	
238	11	3	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	3	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
239	11	1	千葉県森林インストラクター会	0	0	0	10	10	10	全国新林インストラクター会現地研修会の下見	
240	11	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	NPO法人房総の野生生物調査会 歩道杭設置	
241	11	1	㈱NHKエンタープライズ 企画事業	2	0	0	3	5	5	TV番組取材(松枯病対策実験ほか)	
242	11	3	千葉大学 理学研究科 地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	3	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
243	11	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	1	1	1	NPO法人房総の野生生物調査会 シードトラップ回収	
244	11	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	7	7	7	清澄山紅葉ハイキングの下見	
245	11	4	立正大学 地球環境学部	1	0	0	0	1	4	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
246	11	2	東大・農・森圏管理学研究室	0	0	1	0	1	2	ミヤマトベラの交配特性の調査	札郷宿泊施設
247	11	1	鴨川市立天津小学校	0	0	0	4	4	4	夢・仕事びったり体験(児童・生徒による職場体験)	
248	11	1	千葉県立鴨川青年の家	6	5	0	9	20	20	リフレッシュイン鴨青「ハイキング」	
249	11	1	東京農業大学 森林総合学科	3	29	2	0	34	34	専攻演習の研修会	
250	11	1	東大 環境安全衛生研究センター	4	0	0	0	4	4	廃棄試薬処理前の保管状況視察及び作業環境監視	
251	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	6	6	6	11月臨時活動(秋の一般公開用クラフト作り)	
252	11	2	千葉県森林インストラクター会	0	0	0	49	49	98	全国新林インストラクター会現地研修会	清澄宿泊施設
253	11	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	NPO法人房総の野生生物調査会 11月例会	
254	11	2	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	2	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験	清澄宿泊施設2
255	11	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	7	7	7	清澄山紅葉ハイキングの下見	
256	11	1	大阪市立自然史博物館	1	0	0	0	1	1	ハリモミカサアブラムシの生物学的防除	
257	11	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	NPO法人房総の野生生物調査会 歩道杭設置	
258	11	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	2	2	2	清澄山紅葉ハイキングの下見	
259	11	3	東大 農・千葉演習林	0	0	0	4,204	4,204	4,204	秋の一般公開	
260	11	1	千葉県立木更津高等学校	4	0	0	20	24	24	亀山自然観察実習	
261	11	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	2	2	2	清澄山紅葉ハイキング	
262	11	1	㈱三共緑化 商品開発部	0	0	0	63	63	63	モウソウチク開花病地の見学	
263	11~12	11	東大・農・生物多様性科学研究室	0	1	0	0	1	11	シカの環境変化が土壌動物相に与える影響の把握	清澄宿泊施設2
264	11	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	NPO法人房総の野生生物調査会 歩道杭設置	
265	11	2	千葉大学 理学研究科 地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	2	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
266	11	1	(独)森林総研 林育センター・育種2課	2	0	0	0	2	2	マツノザイセンチュウ接種圃の交配実態	
267	11	1	君津市上総公民館 亀山分館	0	0	0	33	33	33	千葉演習林内の見学及び研修	
268	11	1	㈱元	0	0	0	1	1	1	NHK教育テレビ番組「マイクロワールド」制作のための資料としてのヤマビル譲渡	
269	12	1~31	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
270	12	1~31	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
271	12	2	東大 農・千葉演習林	0	0	0	3,488	3,488	3,488	秋の一般公開	
272	12	3	立正大学 地球惑星環境科学部地理学科	0	1	0	0	1	3	岩・地質調査及び観察	札郷宿泊施設
273	12	2	東大・農・生物多様性科学研究室	0	0	1	0	1	2	シカ採食による宿主の形質変化のジャコウアゲハへの影響	清澄宿泊施設
274	12	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	19	19	19	波岡歩こう会ハイキング引率	
275	12	1	千葉県森林インストラクター会	0	0	0	102	102	102	千葉演習森林インストラクター会野外特別講座	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
276	12	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	2	2	2	清澄山紅葉ハイキングの下見	
277	12	2	東大・農・森林経理学研究室	0	0	2	0	2	4	リモートセンシング技術に基づく樹冠情報を活用した林分成長モデルの開発	清澄宿泊施設
278	12	1	東大・農・森林動物学研究室	0	0	1	0	1	1	溪流の底生動物群集における物質循環	
279	12	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	2	6	2	0	10	40	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	札幌宿泊施設
280	12	1	東大・農・造林学研究室	1	0	1	0	2	2	巻枯らしの水分生理学的研究	
281	12	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	34	34	34	内浦山県民の森イベント「清澄山紅葉ハイキング」	
282	12	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	1	1	1	NPO法人房総の野生生物調査会 シードトラップ回収	
283	12	2	東大・農・演習林研究部	1	0	0	0	1	2	業務打合せ及び公開講座参加(野鳥の巣箱をかけよう)	
284	12	1	習志野市屋敷公民館	0	0	0	18	18	18	公民館講座	
285	12	2	東大 附属図書館職員及びOBの会	4	0	0	4	8	16	秋の自然観察会	札幌宿泊施設
286	12	1	東大・農・千葉演習林	3	0	0	20	23	23	公開講座「野鳥の巣箱をかけよう」開催	
287	12	3	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	3	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
288	12	1	NPO法人房総の野生生物調査会	1	0	0	2	3	3	ボランティア活動「歩道杭の設置」	
289	12	1	㈱元	0	0	0	1	1	1	NHK教育テレビ番組「マイクロワールド」制作のための資料としてのヤマビル譲渡	
290	12	1	千葉大学 真菌医学研究センター	2	0	0	0	2	2	ブナ科植物樹皮表面における酵母菌類相の調査	
291	12	5	千葉大学 理学研究科 地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	5	三浦層群の堆積学的研究	札幌宿泊施設
292	12	6	東邦レオ㈱	0	0	0	5	5	17	郷台作業所コリノキ腐朽診断及び枝下ろし	清澄宿泊施設
293	12	4	東大・農・森林経理学研究室	2	2	0	0	4	18	森林計測学実習	清澄宿泊施設
294	12	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	ボランティア活動「歩道杭の設置」	
295	12	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	3	3	3	郷台作業所コリノキ枝下ろし作業見学	
296	12	2	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	3	3	6	12月例会	郷台宿泊施設
297	12	1	東大・農・森林動物学研究室	0	0	1	0	1	1	溪流の底生動物群集における物質循環	
298	12	1	東大 地震研究所	1	0	0	0	1	1	地震観測用機器点検	
299	12	2	東大・農・森林経理学研究室	0	0	2	0	2	4	リモートセンシング技術に基づく樹冠情報を活用した林分成長モデルの開発	清澄宿泊施設
300	1	1~31	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
301	1	1~31	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
302	1	1	東大・農・森林動物学研究室	0	0	1	0	1	1	溪流の底生動物群集における物質循環	
303	1	1	東大 地震研究所	1	0	0	0	1	1	地震観測用機器点検	
304	1	3	東大・農・千葉演習林	6	3	0	6	15	45	ニホンジカの生息数調査(A-1-6-3)	清澄宿泊施設
305	1	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	7	2	0	10	40	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	
306	1	1	千葉テレビ放送 報道制作局	0	0	0	2	2	2	千葉の滝シリーズ「観音滝、稚児滝」撮影(ニュース番組「ニュースC-Master」内で放映)	
307	1	10	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	10	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
308	1	1	東大 地震研究所	1	0	0	0	1	1	地震観測用機器点検	
309	1	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	2	2	2	公開講座の下見(1/19実施)	
310	1	2	横浜国立大学 環境情報学府 植生学研究室	0	0	1	0	1	2	調査・試験地の器具類撤収	清澄宿泊施設
311	1	1	東大・農・森林動物学研究室	0	1	0	0	1	1	昆虫嗜好性線虫の侵入定着と遺伝的構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種数の影響の研究	
312	1	1	岩崎書店	0	0	0	1	1	1	「日本の林業」掲載用写真データ提供	
313	1	1	立正大学 地球環境科学部地理学科	0	1	0	0	1	1	調査用資材の撤収	
314	1	1	東大・農・千葉演習林	0	0	0	29	29	29	公開講座「静かな東京大学の森を歩こう」開催	
315	1	1	東大・農・生物多様性科学研究室	0	1	0	0	1	1	シカの環境変化が土壌動物相に与える影響の把握	
316	1	1	東大・農・森林経理学研究室	0	1	0	0	1	1	卒業論文(システム収穫表を用いた最適間伐材施業の模索)の資料収集	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
317	1	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	ボランティア活動「歩道杭の設置」	
318	1	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	7	7	7	「清澄山紅葉ハイキング」設置案内板撤去	
319	1	2	京都大学 フィールド科学教育研究センター	1	0	0	1	2	4	二タ間川におけるウナギの基礎生態	清澄宿泊施設
320	1	1	千葉県勤労者山岳連盟	0	0	0	70	70	70	ロングハイキング実施	
321	1~2	8	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	8	千葉演習林12期広葉樹林更新試験	清澄宿泊施設2
322	2	1~28	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
323	2	1~28	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
324	2	5	東大・農・演習林研究部	18	0	0	0	18	90	広葉樹伐採に係る安全衛生講習の実施	清澄宿泊施設
325	2	1	東大・農・森林動物学研究室	0	0	1	0	1	1	広葉樹伐採に係る安全衛生講習の実施	
326	2	1	鳥根県中山間地域研究センター	1	0	0	0	1	1	出版物の送付依頼(演習林第33号)	
327	2	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	6	2	0	9	36	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	
328	2	3	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	3	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
329	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	7	7	7	Abies 役員会	
330	2	1	内山グリーン倶	1	0	0	2	3	3	郷土苗畑見学	
331	2	2	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	5	5	11	2月度定期活動(歩道杭設置)	清澄宿泊施設
332	2	4	東大・農・千葉演習林	0	8	0	0	8	32	全学体験ゼミナール「森林の炭素固定機能を検証する」	清澄宿泊施設
333	2	3	街路樹診断協会	5	0	0	0	5	15	郷土作業所コリノキ枝下ろし扳倒	清澄宿泊施設
334	2	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	7	7	7	過去の案内板撤去のため	
335	2	1	倶テレバック	0	0	0	1	1	1	資料(画像データ)の提供	
336	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	3	3	3	郷土コリノキ扳倒見学	
337	2	1	東大・農・演習林研究部	1	0	2	0	3	3	檜皮試験木の樹幹解析	
338	2~3	2	東大・農・北海道演習林	1	0	0	0	1	2	業務引継ぎ・打合せ	清澄宿泊施設2
339	2	1	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	1	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験	
340	2	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	ボランティア活動「歩道杭の設置」	
341	2	1	日本蛾類学会	0	0	0	1	1	1	清澄山特別自然保護区の蛾類相資料収集のための事前調査	
342	3	1	鴨川市有害鳥獣対策協議会	0	0	0	35	35	35	有害鳥獣捕獲	
343	3	1	君津市役所 経済部農林振興課	0	0	0	4	4	4	有害鳥獣捕獲	
344	3	3	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	3	千葉演習林12期広葉樹林更新試験	清澄宿泊施設2
345	3	1	千葉演習林ボランティア会Abies	0	0	0	9	9	9	Abies臨時活動～総会さこうコース下見～	
346	3	4	立正大学 地球環境学部	1	0	0	0	1	4	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
347	3	3	東京学芸大学 教育学部環境科学分野	1	12	0	0	13	39	地質調査法の実習	清澄宿泊施設
348	3	3	千葉県環境生活部大気保全課	0	0	0	1	1	3	化学物質大気環境調査・ダイオキシン調査	
349	3	1	東大・農・森林動物学研究室	0	0	1	0	1	1	溪流の底生動物群集における物質循環	
350	3	6	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	2	6	2	0	10	60	総合対照流域法による水文過程や水質形成、土壌呼吸メカニズムの評価、気象観測	札郷宿泊施設
351	3	2	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	2	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験	清澄宿泊施設2
352	3	1	東大・農・保全生態学研究室	2	0	0	0	2	2	水生昆虫の生態学的研究	
353	3	1	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	2	2	2	ボランティア活動「歩道杭の設置」	
354	3	1	千葉県君津市 経済部農林振興課	0	0	0	48	48	48	有害鳥獣駆除のための銃による猟	
355	3	5	東大・農・森林経理学研究室	0	1	1	0	2	10	生態的要因を考慮した次世代型森林資源予測システムの開発に関する研究	清澄宿泊施設
356	3	1	千葉県森林ボランティア会 野外講座グループ	0	0	0	13	13	13	森に親しむ野外講座「早春の元清澄山へ」ルート下見	
357	3	3	東大・農・森林経理学研究室	0	0	1	0	1	3	Site quality, Intraspecific competition and thinning effects and stand development.	清澄宿泊施設
358	3	3	東大・農・秩父演習林	1	0	0	0	1	3	斜面小崩壊地におけるアーチ型挿し木の適用試験	清澄宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
359	3	1	東大・農・森林利用学研究室	1	0	1	0	2	2	GISを利用した林内道路計画に関する研究	
360	3	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	6	6	6	内浦山県民の森イベント「第18回関東ふれあいの道 ふれあいウォーク」のための下見	
361	3	2	千葉演習林ボランティア会Abies	5	0	0	15	20	40	～総会及び演習林を歩こう～	清澄宿泊施設
362	3	1	有限会社 木組工房	0	0	0	40	40	40	木組工房 第3回エコツアー	
363	3	1	東大・農・造林学研究室	1	0	0	0	1	1	巻枯らしの水分生理学的研究	
364	3	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	2	2	2	内浦山県民の森イベント「第18回関東ふれあいの道 ふれあいウォーク」のための下見	
365	3	1	内浦山県民の森管理事務所	0	0	0	52	52	52	内浦山県民の森イベント「第18回関東ふれあいの道 ふれあいウォーク」(本番)	
366	3	2	NPO法人房総の野生生物調査会	0	0	0	5	5	10	3月定例会	郷台宿泊施設
367	3	1	街路樹診断協会	3	0	0	0	3	3	ユリノキ腐朽診断	
368	3	1	市民まちづくり塾自然グループ(木更津市)	0	0	0	20	20	20	まちづくり活動の一環としての自然観察会	
369	3	7	(独)産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門	1	0	0	0	1	7	猪ノ川流域の地質調査	
370	3	2	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	2	0	0	3	6	気象・水文観測	札郷宿泊施設
371	3	3	千葉大学 理学研究科地球科学コース堆積学研究室	0	0	1	0	1	3	三浦層群の堆積学的研究	札郷宿泊施設
372	3	2	千葉県山岳連盟 自然保護委員会事務局	0	0	0	27	27	54	「房総の自然勉強会」演習林隣接ハイキングコース視察及び整備	清澄宿泊施設
373	3	1	日本蛾類学会	0	0	0	3	3	3	清澄山特別自然保護区の蛾類相調査(夜間観察及び採集)	

利用者数合計 11,426
利用者延べ数合計 13,673
利用件数 373

演習林名:北海道演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
1	4	1	帯広畜産大学 畜産科学科 環境総合科学講座	1	0	1	0	2	2	「針葉樹苗畑における外生菌根菌および病原菌の生態的研究」のための実生資料採取	
2	4	4	東京大学 樹芸研究所	1	0	0	0	1	4	暗色雪腐れ病等の病害防除に関する研究	山部宿泊施設2
3	4	2	北海道大学 大学院農学院 造林学分野	1	0	1	0	2	4	勉強会での講演及び後藤教員との打合せ	山部宿泊施設
4	4	1	一般	0	0	0	11	11	11	大麓山登山	
5	5	3	一般	0	0	0	4	4	12	石綿鉱山跡視察 里親樹木面会	
6	5	3	政策研究大学院大学	1	12	1	0	14	42	演習林見学	山部宿泊施設
7	5	3	帯広畜産大学 畜産科学科	2	2	4	0	8	14	エゾモンガの森林利用性に関する基礎生態学的研究打合せ	山部宿泊施設2
8	5	2	森林総合研究所 樹木遺伝研究室	0	0	0	1	1	2	スギ研究材料の測定及び調査	山部宿泊施設
9	5	1	北海道大学 大学院農学院 森林政策学研究室	1	1	2	8	12	12	ニッセイ財団重点研究「北海道の森林機能評価基準を活用した地域住民・NPO・行政機関・研究者の協働による森林管理体系の形成」における見学	
10	5	1	帯広畜産大学 畜産科学科 環境総合科学講座	0	0	1	0	1	1	「針葉樹苗畑における外生菌根菌および病原菌の生態的研究」のための試験区設定	
11	5	3	一般	0	0	0	1	1	3	樹木園・天然林施業地の見学	山部宿泊施設
12	5	1	富良野市立東山保育所	0	0	0	25	25	25	春の小遠足	
13	5	4	東京大学 樹芸研究所	1	0	0	0	1	4	水・物質動態の流域特性の広域比較研究と雪腐れ・立ち枯れ病研究	山部宿泊施設2
14	5	1	富良野市立山部小学校	0	0	0	30	30	30	遠足	
15	5	1	旭川野鳥の会	0	0	0	25	25	25	野鳥(夏鳥)の飛来を観察するため	
16	5	3	東京大学 農・森林利用学研究室	1	0	0	0	1	3	森林観察	山部宿泊施設
17	5	2	サントリー株式会社	0	0	0	8	8	16	森林観察	山部宿泊施設
18	5	2	樹木里親	0	0	0	2	2	4	里親樹木対面	山部宿泊施設
19	5	4	北海道大学 大学院農学研究院	1	0	18	0	19	76	北海道大学大学院講義「景観保全学」実習のため	北海道演習林セミナーハウス
20	5	1	東京大学 教育学部 附属中等教育学校	1	0	0	0	1	1	北海道宿泊研修の下見と打合せ	山部宿泊施設
21	6	2	東京大学 教育学部 附属中等教育学校	1	0	0	0	1	2	北海道宿泊研修の下見と打合せ	山部宿泊施設
22	6	1	第13回 市民公開セミナー 「樹海めぐり」	0	0	0	17	17	17	市民公開セミナー 「樹海めぐり」	
23	6	4	東京大学 農・演習林研究部	1	0	0	0	1	4	北海道演習林での収穫木の経済価値評価	山部宿泊施設
24	6	1	富良野市身体障害者福祉協会	0	0	0	12	12	12	自然体感・観察	
25	6	2	東京大学 農・演習林研究部	3	0	0	0	3	6	毒物劇物管理状況巡視および安全衛生マネジメントシステム説明	山部宿泊施設
26	6	2	東京大学 農・森林科学専攻	1	0	0	0	1	2	研究打合せ	山部宿泊施設
27	6	1	一般	0	0	0	2	2	2	鳥類観察	
28	6	3	東京大学 渉外本部	3	0	0	8	11	29	演習林視察およびコラボレーション企画検討(2泊)	山部宿泊施設
29	6	3	東京大学 農・森林科学専攻	1	0	1	0	2	6	昆虫嗜好性根昆虫の侵入定着と遺伝的構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種数の影響	山部宿泊施設
30	6	5	東京大学 樹芸研究所	1	0	0	0	1	5	暗色雪腐れ病等の病害防除に関する研究	山部宿泊施設2
31	6	1	北海道立林業試験場 道東支場	0	0	0	3	3	3	演習林の見学(天然林施業, 針広混交林など)	
32	6	1	北海道大学 大学院農学研究院	0	0	0	1	1	1	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地調査および研究打合せ	
33	6	1	一般	0	0	0	2	2	2	自然観察	
34	6	2	帯広畜産大学 畜産科学科	0	0	3	0	3	6	エゾモンガの森林利用性に関する基礎生態学的研究	山部宿泊施設2
35	6	1	大本教	0	0	0	15	15	15	林内見学	
36	6	1	札幌緑愛病院 職業病センター	0	0	0	3	3	3	石綿鉱山跡視察	
37	6	1	株式会社リビング・デザインセンター OZONE事業推進部	0	0	0	30	30	30	木工家具デザイン研修ツアーの一環として森と木を知る	
38	6	1	北海道森林管理局 日高北部森林管理署長	0	0	0	3	3	3	演習林見学	
39	6	2	帯広畜産大学 畜産科学科 環境総合科学講座	1	30	0	0	31	62	帯広畜産大学畜産科学科生態環境科学ユニット3年生の研修旅行として演習林内の森林・施設等の見学	北海道演習林セミナーハウス
40	6	2	東京大学 農学系事務部長	2	0	0	0	2	4	人事官来演に係る現地対応事務打合せ	山部宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
41	6	4	東北大学 大学院農学研究科 資源生物学専攻	0	0	1	0	1	4	アカエゾマツの遺伝的多様性にかかわる研究打合せ	山部宿泊施設2
42	6	2	東京大学 新領域創成科学研究科 文化環境学専攻	3	0	0	1	4	8	アジアの持続可能性を考えるサマワー クショップ(IPoS)開催に向けた事前調査 のため	北海道演習林セ ミナーハウス
43	6	4	東京大学 農学生命科学研究科	0	0	1	0	1	4	修士論文において針広混交林における 更新機構を解明するため広葉樹稚樹期 における樹木の生長と環境との関係につ いて	山部宿泊施設2
44	6	2	森林総合研究所 北海道支所 森林育成研究グループ	0	0	0	1	1	2	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地 調査および研究打合せ	山部宿泊施設
45	6	2	北海道大学 大学院農学研究科	1	0	0	1	2	4	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地 調査および研究打合せ	山部宿泊施設
46	6	1	北海道大学 大学院理学研究院 地震火山研究観測セン ター	1	0	0	0	1	1	十勝岳の広域火山性地殻変動検知のた めのGPS観測地点選定作業	
47	6	1	長野県林業大学校	2	11	0	0	13	13	林分施業法について	
48	6	2	北海道ボランティアレ ンジャー	0	0	0	25	25	50	北海道ボランティアレンジャー研修 林内見学・大麓山登山 等	北海道演習林セ ミナーハウス
49	6~7	4	東京大学 演習林研究部	1	0	0	3	4	16	林内見学	山部宿泊施設
50	6	1	元 苫小牧市博物館館長	0	0	0	2	2	2	森林性ガ類幼虫の生態研究のための幼 虫採集	
51	7	3	一般	0	0	0	3	3	9	林内見学	山部宿泊施設
52	7	3	東京大学 農・森林動物	1	0	0	0	1	3	北海道演習林における水生生物の調査	山部宿泊施設
53	7	1	栗山植物観察会	0	0	0	15	15	15	野生植物の現地勉強会	
54	7	1	北海道帯広農業高等学校	2	0	0	40	42	42	演習林見学	
55	7	1	帯広畜産大学 畜産学部畜産科学科	2	26	0	0	28	28	北方天然林の生態学的特徴と持続的利 用	
56	7	2	樹木里親	0	0	0	2	2	4	里親樹木対面	山部宿泊施設
57	7	2	北海道富良野高等学校	0	0	0	3	3	6	コウモリ調査のため	
58	7	5	東京大学 農・森林科学専攻	1	0	1	0	2	10	昆虫嗜好性根昆虫の侵入定着と遺伝的 構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種数 の影響	山部宿泊施設
59	7	4	東京大学 教育学部 附属中等教育学校	3	0	0	33	36	144	北海道宿泊研修	北海道演習林セ ミナーハウス
60	7	1	帯広畜産大学 畜産科学科 環境総合科学講座	1	0	1	0	2	2	「針葉樹苗畑における外生菌根菌および 病原菌の生態的研究」のための試験区 設定	
61	7	5	北海道大学 大学院農学研究科	0	0	0	1	1	5	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地 調査および研究打合せ	山部宿泊施設
62	7	1	大麓山ハイキング登山	0	0	0	21	21	21	大学等地域開放事業 「大麓山ハイキング登山」	
63	7	1	富良野市 教育委員会	0	0	0	17	17	17	上川管内教育委員会連合会教育委員 長部会研修会	
64	7	1	北海道森林管理局 釧路湿原森林環境 ふれあいセンター	0	0	0	10	10	10	天然林施業の基本的考え方とその具 体的な実践方法についての理解を促進 するための天然林施業地の視察	
65	7	12	水系調査	3	4	5	6	18	72	第4次水系調査 (含宿泊)	山部宿泊施設, 山 部宿泊施設2
66	7	4	帯広畜産大学 畜産科学科	1	1	3	0	5	10	エゾモモンガの森林利用性に関する基 礎生態学的研究	山部宿泊施設, 山 部宿泊施設2
67	7	2	旭川市北邦野草園	0	0	0	1	1	2	第4次水系調査	山部宿泊施設
68	7	3	東京大学 新領域創成科学研究科 人間環境学専攻	4	0	7	0	11	33	人間環境学専攻等学性の演習林実習	北海道演習林セ ミナーハウス
69	7	1	大本教 亀岡山の管理会	0	0	0	10	10	10	林分施業法の解説・指導	
70	7	2	森林総合研究所 北海道支所 森林育成研究グループ	0	0	0	1	1	2	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地 調査および研究打合せ	山部宿泊施設
71	7	3	東京大学 農・愛知演習林	1	0	0	0	1	3	北海道演習林における科研水文・水質 班の調査	山部宿泊施設
72	7	1	元 苫小牧市博物館館長	0	0	0	2	2	2	森林性ガ類幼虫の生態研究のための幼 虫採集	
73	7	5	東京大学 農学部3類	4	18	6	0	28	140	森林動物学実験・森林政策学演習	北海道演習林セ ミナーハウス
74	7	1	東京大学 北海道演習林	1	0	0	0	1	1	会食	北海道演習林セ ミナーハウス
75	7	1	韓国国立大学校 韓京大学	2	24	0	4	30	30	北海道演習林における天然林施業の実 際を見学	
76	8	4	東京大学 農・森林科学専攻	1	0	1	0	2	8	昆虫嗜好性根昆虫の侵入定着と遺伝的 構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種数 の影響	山部宿泊施設
77	8	1	ザントリー株式会社	0	0	0	5	5	5	ミズナラ供試木の見学	
78	8	2	北海道富良野高等学校	0	0	0	3	3	6	コウモリ調査のため	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
79	8	2	東京大学 農・林政学研究室	1	0	0	0	1	2	資料閲覧	山部宿泊施設
80	8	6	東京大学 農・生圏システム学専攻	3	0	8	0	11	50	フィールド科学総合演習(森園管理)	山部宿泊施設, 北海道演習林セミナーハウス
81	8	3	森林総合研究所 森林昆虫研究領域	0	0	0	4	4	12	天然林とトマツ林における植生調査	
82	8	1	北海道立林業試験場 道東支場	0	0	0	2	2	2	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験調査のため	
83	8	1	岐阜大学 流域圏科学研究センター	1	0	0	1	2	2	植生調査で未同定となっている植物についての種同定用標本の採取	
84	8	18	北海道大学 環境科学院	1	0	2	0	3	24	富良野盆地周辺の第四系 -とくに十勝火砕流堆積物について-	山部宿泊施設?
85	8	1	北海道大学 理学研究院 地震火山研究観測センター	1	0	0	1	2	2	十勝岳広域GPS観測網設置工事のための下見	
86	8	2	北海道立林業試験場 道東支場	0	0	0	1	1	2	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験調査のため	
87	8	4	宇都宮大学 農学部森林科学科	2	0	7	0	9	36	イェール大学(米国)林学・環境専門大学院院臨地テーマ実習	北海道演習林セミナーハウス
88	8	4	東京大学 北海道演習林	1	0	0	0	1	4	イェール大学(米国)林学・環境専門大学院院臨地テーマ実習に同行	北海道演習林セミナーハウス
89	8	1	若手大学 農学部共生環境課程	1	0	0	1	2	2	ウダイカンバ林におけるクスサン発生調査のための予察	
90	8	1	北海道富良野高等学校	0	0	0	3	3	3	コウモリ調査のため	
91	8	2	帯広畜産大学 畜産科学科	1	1	2	0	4	8	エゾモモンガの森林利用性に関する基礎生態学的研究	山部宿泊施設
92	8~9	16	東京大学 農学生命科学研究科	0	0	3	1	4	47	針広混交林における樹種の分布・成長と環境条件について プロットの設置・環境条件の測定	山部宿泊施設?
93	8	1	帯広畜産大学 畜産科学科 環境総合科学講座	0	0	1	0	1	1	「針葉樹苗畑における外生菌根菌および病原菌の生態的研究」のための実生試料採取と実地調査	
94	8	1	北海道 上川南部森林管理署	0	0	0	25	25	25	人工林から天然林へ林種の変更した箇所の施肥・高密度網及び林分施肥法について視察・研修	
95	8	3	東京大学	4	0	0	0	4	12	「新たな評価制度」セミナー	山部宿泊施設
96	8	3	東京大学 農学系事務部長	2	0	0	0	2	6	「新たな評価制度」セミナー	山部宿泊施設
97	8	4	東京大学 農・森林利用学研究室	1	0	0	1	2	8	ユフロ国際会議2008打合せ	山部宿泊施設?
98	8	1	本別町林業グループ協議会	0	0	0	12	12	12	林分施肥法, 特に人工林の取扱いについての解説・指導	
99	8	3	北海道大学 大学院農学研究院	0	0	0	2	2	6	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地調査および研究打合せ	山部宿泊施設
100	9	1	富良野市生涯学習センター	0	0	0	20	20	20	富良野市博物館主催講座 身近な生き物調査「ふらの・ザリガニ探検隊」によるニホンザリガニの生息状況調査	
101	9	6	東京大学 農・演習林研究部	8	0	7	0	15	77	前山保存林調査(科研)	北海道演習林セミナーハウス
102	9	18	北海道大学 環境科学院	0	0	1	0	1	18	富良野盆地周辺の第四系 -とくに十勝火砕流堆積物について-	
103	9	2	北海道立林業試験場 道東支場	0	0	0	1	1	2	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験調査のため	
104	9	2	東京大学 農学系経理課	3	0	0	0	3	6	北海道演習林監査	山部宿泊施設
105	9	5	東京大学 樹芸研究所	1	0	0	0	1	5	前山調査協力 暗色雪腐れ病等の病害防除に関する研究	山部宿泊施設?
106	9	2	北海道森林管理局	0	0	0	4	4	8	天然林施肥の見学	北海道演習林セミナーハウス
107	9	3	静岡大学 農学部環境森林科学科 造林学研究室	2	0	1	0	3	9	異なる森林生態系における土壌呼吸に関する研究	山部宿泊施設?
108	9	9	IPoS2007	21	3	38	0	62	457	アジアの持続可能性を考えるサマワー クショップ(IPoS)のため	北海道演習林セミナーハウス
109	9	5	東京大学 農・森林科学専攻	1	0	1	0	2	10	昆虫嗜好性根昆虫の侵入定着と遺伝的構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種数の影響	山部宿泊施設
110	9	14	東京大学 農学生命科学研究科	0	1	0	0	1	14	針広混交林における樹種の分布・成長と環境条件について プロットの設置・環境条件の測定	山部宿泊施設?
111	9	1	帯広畜産大学 畜産科学科 環境総合科学講座	1	3	1	0	5	5	「針葉樹苗畑における外生菌根菌および病原菌の生態的研究」のための実生試料採取と実地調査	
112	9	3	北海道立林業試験場 道北支場	0	0	0	2	2	6	クマガウの採餌痕やモニタリング手法に関する課題研究のための予察	
113	9	3	菌類懇話会	1	2	0	7	10	30	地下に子実体を形成するきのこ(地下生菌)のフロアの調査	山部宿泊施設
114	9	1	北海道立地質研究所 地域地質部表層地質課	4	0	0	16	20	20	富良野断層帯麓断層トレンチ調査地周辺の断層崖地形の見学	
115	9	1	一般	0	0	0	4	4	4	里親候補木選定	
116	9	4	岐阜大学 流域圏科学研究センター	1	0	0	0	1	4	山火事跡地再生林の小規模皆伐地の植生調査	山部宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
117	9	3	新潟大学 理学部地質科学科	1	0	0	1	2	6	山部地域における変成岩類と火成岩類の野外地質調査	山部宿泊施設2
118	9	2	京都大学 農学部森林生物学研究室	0	2	0	0	2	4	ハリギリとハリギリ褐斑病菌の系統地理学研究	山部宿泊施設
119	9	2	森林総合研究所 北海道支所	1	0	0	0	1	2	自動撮影装置を用いたナキウサギの生息調査	山部宿泊施設
120	9	4	東京大学 北海道演習林	1	19	0	0	20	80	全学体験ゼミナール	北海道演習林セミナーハウス
121	9	2	東京大学 農学系事務部長	6	0	0	0	6	12	演習林見学	山部宿泊施設
122	9	2	帯広畜産大学 畜産科学科	1	2	4	0	7	14	エゾモモンガの森林利用性に関する基礎生態学的研究	山部宿泊施設
123	9	1	深川市議会	0	0	0	25	25	25	深川市議会森林・林業活性化推進議員連盟の視察研修	
124	9	2	子ども自然塾	0	0	0	14	14	28	子ども自然塾	北海道演習林セミナーハウス
125	10~11	23	北海道大学 環境科学院	0	0	1	0	1	23	富良野盆地周辺の第四系 -とくに十勝火砕流堆積物について-	
126	10	1	北海道立林業試験場 道東支場	0	0	0	1	1	1	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験調査のため	
127	10	2	京都大学 農学部森林科学専攻 森林生物学研究室	0	0	1	0	1	2	後藤教員による論文指導	山部宿泊施設2
128	10	1	富良野市 保健福祉部児童家庭課 東山保育所	0	0	0	25	25	25	東山保育所 秋の小遠足	
129	10	2	北海道教育大学 教育学部札幌校生物科	5	50	2	2	59	118	野外実習	北海道演習林セミナーハウス
130	10	13	富良野市 生涯学習センター 博物館係	0	0	0	3	3	39	遺跡分布調査	
131	10	1	富良野市 生涯学習センター 博物館係	0	0	0	20	20	20	北海道演習林後援事業 富良野市博物館講座 「プロジェクト・ラーニングツール」	
132	10	1	ウタリ協会 平取支部	0	0	0	10	10	10	林内見学	
133	10	5	東京大学 農・千葉演習林	4	0	0	0	4	20	エゾマツの天然更新に関する調査	山部宿泊施設
134	10	2	東京大学 教養学部等事務部	2	0	0	0	2	4	演習林見学	山部宿泊施設
135	10	3	北海道地方演習林 業務担当者会議	15	0	0	0	15	45	北海道地方演習林業務担当者会議	北海道演習林セミナーハウス
136	10	1	帯広畜産大学 畜産科学科 環境総合科学講座	1	0	1	0	2	2	「針葉樹苗畑における外生菌根菌および病原菌の生態的研究」のための森林実地見学と打合せ	
137	10	1	一般	0	0	0	1	1	1	風穴地(上部)の見学	
138	10	2	衆議院議員	0	0	0	4	4	8	林内見学	
139	10	1	富良野市生涯学習センター	0	0	0	40	40	40	富良野の自然に親しむ集い(自然観察会)	
140	10	3	東京大学 農・演習林研究部	2	0	0	0	2	6	業務打合せ・演習林視察	山部宿泊施設
141	10	5	東京大学 農・生圏システム学専攻	1	0	1	0	2	10	ウダイカンバ家系競争試験地調査のため	山部宿泊施設
142	10	2	北海道大学 大学院農学研究院	0	0	1	0	1	2	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地調査および研究打合せ	山部宿泊施設
143	10	1	北海道立林業試験場 林業経営部	0	0	0	3	3	3	樹木園(カラマツ属)、ブナ産地試験地の見学	
144	10	1	北海道新聞社 富良野支局	0	0	0	1	1	1	大麓山登山道見学	
145	10	2	帯広畜産大学 畜産科学科	1	1	4	0	6	12	エゾモモンガの森林利用性に関する基礎生態学的研究	山部宿泊施設
146	10	1	森林総合研究所 森林遺伝研級領域 樹木遺伝研究室	0	0	0	1	1	1	ミスナラおよび外国産カンバの葉の採取	
147	10	4	東京大学 農・森林科学専攻	1	0	1	0	2	8	昆虫嗜好性根昆虫の侵入定着と遺伝的構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種数の影響	山部宿泊施設
148	10	1	富良野市 生涯学習センター 博物館係	0	0	0	22	22	22	富良野市博物館主催講座 「第2回森とのつきあい講座」	
149	10	1	北海道森林インストラクター会 道北支部	0	0	0	2	2	2	平成20年度北海道森林インストラクター会研修会の事前調査・打合せ	
150	10	2	東京大学 農学系経理課 施設設備チーム	3	0	0	0	3	6	建築基準法第12条の定期報告のための調査	山部宿泊施設
151	10	3	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	2	0	6	0	8	24	自然環境学専攻生物環境学専攻実習	北海道演習林セミナーハウス
152	10	3	東京大学 北海道演習林	1	0	0	0	1	3	自然環境学専攻生物環境学専攻実習	北海道演習林セミナーハウス
153	11	3	東京大学 樹芸研究所	1	0	0	0	1	3	前山調査協力 暗色雪腐れ病等の病害防除に関する研究	山部宿泊施設2

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
154	11	4	北海道大学 大学院理学研究院 地震火山研究観測センター	2	0	0	0	2	8	十勝岳広域GPS観測網設置工事のため	
155	11	1	北海道森林管理局 企画調整部業務調整課	0	0	0	22	22	22	林分施業法に関する研修	
156	11	12	東京大学 農学生命科学研究科	0	0	1	1	2	16	修士論文「親交混交林における樹木の更新と環境に関する研究」	山部宿泊施設2
157	11	5	北海道大学 大学院農学研究院	0	0	0	2	2	10	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地調査および研究打合せ	山部宿泊施設, 山部宿泊施設2
158	11	6	東京大学 農・演習林研究部	5	0	0	0	5	27	北演科研 シカ調査	山部宿泊施設
159	11	4	東京大学 北海道演習林	8	0	0	0	8	32	基盤データ整備委員会GIS部門会議	山部宿泊施設
160	11	2	東京大学 北海道演習林	1	0	0	0	1	2	GIS研修会・シカ調査 打合せ	山部宿泊施設
161	12	5	北海道大学 大学院農学研究院	0	0	0	1	1	5	アカエゾマツの遺伝適応に関する現地調査および研究打合せ	山部宿泊施設2
162	12	1	北海道大学 農学部生物資源科学科	0	1	0	0	1	1	シカ猟見学	
163	1	1	札幌市役所山岳会	0	0	0	6	6	6	大麓山登山	
164	1	2	東京大学 農・演習林研究部	1	0	0	0	1	2	業務打合せ・演習林視察	
165	1	2	東京大学 農・森林科学専攻	0	0	1	0	1	2	風況シミュレーションを活用した風害発生要因の分析に関する研究	山部宿泊施設2
166	2	2	東北大学 大学院環境科学研究科	2	0	0	0	2	4	FSC等森林認証制に関わる森林資源管理のあり方に関する研究調査	
167	2	9	北海道大学 大学院農学研究院	0	0	0	1	1	12	アカエゾマツの遺伝適応に関する研究打合せ	山部宿泊施設2
168	2	2	帯広畜産大学 畜産科学科	1	1	2	0	4	8	エゾモモンガの森林利用性に関する基礎生態学的研究	山部宿泊施設2
169	2	3	東京大学 農・秩父演習林	1	0	0	0	1	3	シカ棲息密度調査(雪上踏査)の下見	山部宿泊施設2
170	2	4	新潟大学 自然科学研究科 総務課	2	0	0	0	2	8	北海道演習林見学	山部宿泊施設2
171	2	5	東京大学 樹芸研究所	1	0	0	0	1	5	水・物質動態の流域特性の広域比較研究と雪腐れ病研究	山部宿泊施設2
172	3	3	東京大学 農・生圏システム学専攻	0	0	1	0	1	3	論文執筆に関する打合せ	山部宿泊施設2
173	3	4	大自然教育専門家 IIP-ストングレイシャーアドベソチャー	0	0	0	1	1	4	野生動物管理に関する指導助言・講演・講義(北演から講師依頼)	山部宿泊施設2
174	3	1	ボーイスカウト富良野第1師団ビーバースカウト隊	0	0	0	10	10	10	林内見学	
175	3	1	第25回 麓郷ラングラウフ実行委員会	0	0	0	500	500	500	第25回麓郷ラングラウフ大会開催のため(コース整備・会場設営等を含む)	
176	3	3	東京大学	0	23	0	0	23	69	全学体験セミナー	北海道演習林セミナーハウス
177	3	1	東京大学 秩父演習林おじの会 サポートスタッフ	0	0	0	2	2	2	森林資料館見学	
178	3	1	北海道大学 大学院農学研究院 森林生態系管理学研究室	1	0	0	0	1	1	平成20年度開講予定「景域保全学」の準備のため	
179	3	4	東京大学 農・演習林研究部	7	0	0	0	7	28	北演科研 シカ調査	山部宿泊施設
180	3	2	東京大学 北海道演習林	1	0	0	0	1	2	北演科研 シカ調査	山部宿泊施設
181	4~3	366	東京大学 大学院農掛け生命科学 研究科 外国人特別研究員	0	0	0	1	1	366	北海道針葉樹の成長メカニズムと更新ダイナミクスの北半球における比較研究	山部宿泊施設2
182	4~3	48	一般	0	0	0	1	1	48	北海道演習林内の撮影	
183	4~3	11	一般	0	0	0	1	1	11	植生調査	
184	4~3	13	一般	0	0	0	1	1	13	自然観察	
185	5~10		森林資料館見学者	0	0	0	287	287	287	森林資料館見学	
186	4~10		樹木園見学者	0	0	0	76	76	76	樹木園見学	

利用者数合計 2,216
利用者延べ数合計 4,435
利用件数 186

演習林名: 秩父演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
1	4	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
2	4	1	埼玉県農林総合研究センター	4	0	0	0	4	4	荒川流域水辺林再生技術の開発	
3	4	1	埼玉県農林総合研究センター	4	0	0	0	4	4	荒川流域水辺林再生技術の開発	
4	4	4	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2	4	1	0	7	28	森林土壌学実験	川俣宿泊施設
5	4	2	東京大学秩父演習林しおじの会	0	0	0	2	2	4	早春に出現する蛾(エゾツメヤイボタガ)の調査	大血川作業所
6	4	1	信州大学農学部森林科学科	1	1	0	0	2	2	ブナの肥大成長季節変動観測	
7	4	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査, カメラチェック	
8	4	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査, カメラチェック	
9	4	3	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	1	0	1	3	クマハギ調査, カメラチェック	川俣宿泊施設
10	4	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実の遺伝構造, クマ, キクイムシ地域集団	
11	4	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実の遺伝構造, クマ, キクイムシ地域集団	
12	4	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実の遺伝構造, クマ, キクイムシ地域集団	
13	4	2	東京大学愛知演習林	3	0	0	0	3	6	森林生態系における水・物質動態の流域特性の広域比較研究	栃本宿泊施設
14	4	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	8	0	47	0	55	55	自然環境学野外総合実習	
15	4	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	1	イヌブナ実生の消長を決める要因の解明	
16	4	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	1	イヌブナ実生の消長を決める要因の解明	
17	4	2	東京大学アジア生物資源環境研究センター	6	0	0	0	6	12	外生菌根菌による実生の成長促進機構の解明	川俣宿泊施設(自炊)
18	4	1	東京大学秩父演習林しおじの会	0	0	0	1	1	1	忌避ブロックの設置現地状況確認	
19	4	3	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	1	0	1	3	クマハギ調査	川俣宿泊施設
20	4	3	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	1	0	1	3	クマハギ調査	栃本宿泊施設
21	4	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	1	0	1	1	ライトセンサス調査見学	
22	4	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	17	17	17	自由見学日	
23	4	1	足立区荒川ビジターセンター 解説員	0	0	0	4	4	4	自然探訪 荒川源流ウォーキング下見	
24	4	1	東京大学農学部森林生物学専修森林動物学研究室	0	1	0	0	1	1	ルリクワガタ属の生態解析	
25	4	2	東京大学工学部システム創成学科	3	5	4	0	12	24	システム創成学科領域プロジェクト	川俣宿泊施設
26	4	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	6	6	6	自由見学日	
27	4	2	東京大学農学部森林生物学専修森林動物学研究室	0	4	0	0	4	5	ルリクワガタ属の生態解析	川俣宿泊施設(自炊)
28	4	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻	1	0	0	0	1	1	森林土壌学実習下見	
29	4	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	2	クマハギ調査	幕営

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
30	4	4	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	4	クマハギ調査	幕営
31	4	1	埼玉県農林総合研究センター	4	0	0	0	4	4	荒川流域水辺林再生技術の開発	
32	4	1	東京大学秩父演習林しおじの会	0	0	0	22	22	22	新緑勉強会	
33	4	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	9	9	9	サポーター講習会(教育研究)	
34	5	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	5	0	0	0	5	10	東大渉外本部スタッフ見学案内	川俣宿泊施設
35	5	1	東京大学愛知演習林	2	0	0	0	2	2	シオジの水分生理が冬季の直径収縮現象に与える影響	
36	5	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
37	5	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
38	5	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林研究部	1	0	0	1	2	4	スイスETHに造成する日本の森林の見本林創成のために必要な植物資材の探索	栃本宿泊施設
39	5	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査	
40	5	2	独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所内水面研究部資源生態研究室	4	0	0	0	4	8	イワナのDNA解析用の標本の採集	栃本宿泊施設
41	5	1	埼玉県高体連登山専門部	16	0	0	61	77	77	高校総合体育大会登山の部	
42	5	1	埼玉県高体連登山専門部	27	0	0	112	139	139	高校総合体育大会登山の部	
43	5	1	東邦大学理学部生物学科	1	0	0	0	1	1	実習地下見	
44	5	1	寄居町中央公民館利用団体	0	0	0	18	18	18	演習林見学	
45	5	4	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林利用学研究室	2	1	2	0	5	18	森林土木学実習	川俣宿泊施設
46	5	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	1	イヌブナ実生の消長を決める要因の解明	
47	5	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	1	イヌブナ実生の消長を決める要因の解明	
48	5	1	秩父市立大滝小学校	2	0	0	7	9	9	総合的な学習 森林からの発信	
49	5	1	足立区荒川ビジターセンター 解説員	0	0	0	4	4	4	自然探訪 荒川源流ウォーキング下見	
50	5	1	東京大学秩父演習林しおじの会	0	0	0	1	1	1	早春に出現する蛾(エゾヨツメヤイボタガ)の調査	
51	5	1	東京大学農学部森林生物科学専修森林動物学研究室	0	1	0	0	1	1	ルリクワガタ属の生態解析	
52	5	1	東京大学農学部森林生物科学専修森林動物学研究室	0	1	0	0	1	1	ルリクワガタ属の生態解析	
53	5	1	埼玉県秩父農林振興センター	0	0	0	63	63	63	埼玉県入川地域における森林ツアーのモニターツアー	
54	5	3	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	3	景観データの収集	
55	5	1	埼玉県環境科学国際センター	3	0	0	0	3	3	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立、武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマスカシユリの保全に関する研究	
56	5	3	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	1	1	0	2	6	秩父山地天然林優占種の更新動態	栃本宿泊施設(自炊)
57	5	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	75	75	75	自由見学日	
58	5	1	東大和山歩きの会	0	0	0	14	14	14	ブナ原生林見学	
59	5	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	22	22	22	自由見学日	
60	5	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミスナラ結実の遺伝、鳥類標識、クマ、キクイムシ地域集団	幕営
61	5	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミスナラ結実の遺伝、鳥類標識、クマ、キクイムシ地域集団	幕営
62	5	1	東京大学秩父演習林しおじの会	0	0	0	1	1	1	忌避ブロックの設置現地状況確認等	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
63	5	1	足立区荒川ビジターセンター 解説員	0	0	0	24	24	24	荒川源流を訪ねるイベント	
64	5	3	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	3	クマハギ調査	栃本宿泊施設(自炊)
65	5	1	秩父市立影森中学校	7	0	0	104	111	111	ふるさと環境学習	
66	5	3	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	2	2	0	5	15	全学自由研究ゼミナール デジタルビデオ制作 - 夏学期新緑編 -	大血川作業所泊
67	5	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	13	13	13	サポーター講習会(森林施設)	
68	5	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林研究部	1	0	0	0	1	1	ブナの種子発育過程に伴う樹木の養分分配と成長および昆虫の食害との関係解明	
69	5	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学分野	0	0	1	0	1	1	ライトセンサス調査へのオブサーバ参加	
70	5	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学分野	0	0	1	0	1	2	クマハギ調査	川俣宿泊施設(自炊)
71	5	2	東京大学渉外本部	1	0	0	3	4	8	サントリー視察ご案内	川俣宿泊施設
72	5	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	2	サントリー, 東大渉外本部スタッフ見学案内	川俣宿泊施設
73	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	1	0	2	0	3	3	ウダイカンバ新生組織の細胞壁構造分析	
74	5	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	
75	5	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	2	2	2	里親企画	
76	6	4	東邦大学理学部生物学科	3	19	1	1	24	96	野外実習(学部2年生)	川俣宿泊施設
77	6	1	一般	0	0	0	11	11	11	演習林見学	
78	6	2	東京大学秩父演習林	1	9	0	0	10	20	総合科目森林 - 人間系の科学	川俣宿泊施設
79	6	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	クマハギ調査	栃本宿泊施設(自炊)
80	6	3	信州大学農学部森林科学科	1	4	0	0	5	10	ブナの成長維コア試料採取	川俣・栃本宿泊施設
81	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	1	1	1	0	3	15	不成熟造林地の取り扱い指針に関する研究	栃本宿泊施設
82	6	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	クマハギ調査	川俣宿泊施設
83	6	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
84	6	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
85	6	2	しおじの会	0	0	0	1	1	2	初夏に出現する蛾及び甲虫の調査・採集	大血川作業所泊
86	6	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実, 長期生態系, 鳥類標識, スズタケ結実確認	
87	6	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実, 長期生態系, 鳥類標識, スズタケ結実確認	入川コンテナ泊
88	6	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実, 長期生態系, 鳥類標識, スズタケ結実確認	幕営
89	6	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実, 長期生態系, 鳥類標識, スズタケ結実確認	
90	6	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実, 長期生態系, 鳥類標識, スズタケ結実確認	
91	6	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	9	9	9	サポーター講習会(植物)	
92	6	1	東京大学農学生命科学研究科附属緑地植物実験所	1	0	0	4	5	5	シオジ林等の見学	
93	6	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	1	0	2	2	クマハギ調査地区検討	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
94	6	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査	
95	6	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	
96	6	2	東京都老人総合研究所動物施設	1	0	0	0	0	2	「国内在来食注目動物の前肢進化」研究目的の為の資料採集	入川コンテナ泊
97	6	3	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	3	クマハギ調査	栃本宿泊施設
98	6	2	東京大学秩父演習林	2	12	0	0	14	28	全学体験ゼミ「危険生物の知識」	川俣宿泊施設
99	6	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査	
100	6	1	東京農業大学森林総合科学科森林経営学研究室	0	1	0	0	1	1	卒論下見	
101	6	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	9	9	9	自由見学日	
102	6	3	東京大学秩父演習林	0	0	0	6	6	18	炭焼き作業	大血川作業所泊
103	6	1	埼玉県環境科学国際センター	3	0	0	0	3	3	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立、武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマスカシユリの保全に関する研究	
104	6	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	2	2	2	自由見学日	
105	6	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	
106	6	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	
107	6	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	6	6	6	サポーター養成講座(安全講習)	
108	6	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	夜間ライトセンサス調査へのオブザーバ参加	
109	6	2	財団法人日本野鳥の会自然保護室	0	0	0	1	1	2	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	
110	7	2	埼玉県立秩父農工科学高等学校	2	0	0	41	43	86	樹木採集実習	川俣宿泊施設
111	7	4	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	3	0	4	16	クマハギ樹木位置調査	川俣宿泊施設
112	7	1	読売新聞さいたま支局	0	0	0	1	1	1	読売新聞埼玉版紙面での紹介のため	
113	7	1	(株)カラット	0	0	0	3	3	3	雑誌自遊人取材	
114	7	1	毎日新聞旅行・(株)毎日企画サービスクラス国内企画課	0	0	0	19	19	19	荒川を歩いて源流まで	
115	7	3	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林利用学研究室	2	0	4	2	8	23	林内歩道の歩行時運動強度測定と自然体験教育プログラム作成	川俣学生宿舎
116	7	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
117	7	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
118	7	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
119	7	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	クマハギ調査(測量)	栃本宿泊施設
120	7	2	しおじの会	0	0	0	1	1	2	蛾及び甲虫の調査・一部採集	大血川作業所泊
121	7	2	しおじの会	0	0	0	2	2	4	蛾及び甲虫の観察・一部採集	大血川作業所泊
122	7	2	財団法人日本野鳥の会自然保護室	0	0	0	1	1	2	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	
123	7	5	財団法人日本野鳥の会自然保護室	0	0	0	1	1	5	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	
124	7	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミスナラ結実,長期生態系,鳥類標識,スズタケ結実確認	入川コンテナ泊
125	7	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミスナラ結実,長期生態系,鳥類標識,スズタケ結実確認	幕営
126	7	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	0	1	0	1	2	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	栃本宿泊施設(自炊)
127	7	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	
128	7	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	8	8	8	サポーター養成講座(動物)	
129	7		東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
130	7	1	クラブツーリズム多摩	0	0	0	1	1	1	10月実施予定ツアーの下見	
131	7	1	独立行政法人森林総合研究所森林遺伝研究領域樹木遺伝研究室	1	0	0	0	1	1	ミスナラ、コナラおよびブナの採取・アカマツの採取	
132	7	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	0	0	5	0	5	10	不成熟造林地の取り扱い指針に関する研究	栃本宿泊施設
133	7	3	秩父市立秩父第一中学校	0	0	0	5	5	15	仕事発見DAY	
134	7	1	東京大学農学部生物材料科学専攻	1	1	1	0	3	3	樹木細胞壁形成におけるセルロースマイクロフィブリルの分析	
135	7	4	東京大学農学生命科学研究科	4	14	0	0	18	72	森林植物学実験・野外実習	川俣宿泊施設
136	7	1	上広谷東南子供会・森と職人支援室	0	0	0	17	17	17	先生にご案内頂きながらとにかく身体で森の中を感じる	
137	7	1	信州大学農学部森林科学科	1	1	2	0	4	4	ブナの肥大成長観測	
138	7	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査	
139	7	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林田無試験地	1	0	0	0	1	1	クロカタビロオサムシの生態	
140	7	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	1	景観ポイント調査補助	
141	7	2	東京大学秩父演習林	0	0	0	4	4	8	木材生産時に発生する残材等を活用した林業体験教育プログラムの開発	栃本宿泊施設(自炊)
142	7	2	しおじの会	0	0	0	1	1	2	蛾及び甲虫の調査・一部採集	大血川作業所泊
143	7	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林研究部	1	0	0	0	1	1	ブナの種子発育過程に伴う樹木の養分配分と成長および昆虫の食害との関係解明	
144	7	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	
145	7	2	東京大学農学生命科学研究科演習林研究部	1	0	0	0	1	2	鳥類標識調査	幕営
146	7	1	森と職人支援室	0	0	0	2	2	2	演習林のGISの見学および研修	
147	8	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	0	0	5	0	5	10	不成熟造林地の取り扱い指針に関する研究	栃本宿泊施設
148	8	4	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	2	13	1	0	16	64	動物系統学野外実習	川俣宿泊施設
149	8	1	東京都墨田川高等学校	4	0	0	22	26	26	学校設定科目生物実習(1単位)	
150	8	2	東京大学森林利用学研究室	0	0	1	0	1	2	森林・林道への意識調査・公開講座同行	川俣宿泊施設
151	8	3	共栄学園高等学校	2	0	0	3	5	15	森林体験実習	川俣宿泊施設
152	8	2	秩父市立影森中学校	0	0	0	4	4	8	中学生社会体験チャレンジ事業"職場体験学習"	
153	8	3	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	3	0	3	9	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	栃本宿泊施設(自炊)
154	8	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	2	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	栃本宿泊施設(自炊)
155	8	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
156	8	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
157	8	7	立教大学理学部生命理学科	5	31	3	4	43	172	実習(博物館資料論<巡検>)	川俣宿泊施設,民泊
158	8	1	埼玉県環境科学国際センター	0	0	0	2	2	2	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立、武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマスカシユリの保全に関する研究	
159	8	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父演習林における森林環境と哺乳類相の関係)	
160	8	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査(3林班発生調査)	
161	8	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査(3林班発生調査)	
162	8	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査(3林班発生調査)	
163	8	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林研究部	1	0	0	0	1	1	ブナの種子発育過程に伴う樹木の養分配分と成長および昆虫の食害との関係解明	
164	8	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	29林班14測量調査下見,29林班クマハギ発生見回り,センサーカメラのチェック	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
165	8	2	東京大学秩父演習林	0	0	0	18	18	36	公開講座「親子で学ぼう!! 森林の昆虫採集」	川俣宿泊施設
166	8	2	しおじの会	0	0	0	1	1	2	蛾及び甲虫の調査・一部採集	大血川作業所泊
167	8	2	しおじの会	0	0	0	1	1	2	蛾及び甲虫の調査・一部採集	大血川作業所泊
168	8	1	東京大学愛知演習林	1	0	0	0	1	1	ブナとヒノブナの試料整理と乾燥重量の測定	
169	8	1	東京大学愛知演習林	1	0	0	0	1	1	大プロブナ林調査区のブナ開花調査	
170	8	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林研究部	1	0	0	0	1	1	ブナの種子発育過程に伴う樹木の養分配分と成長および昆虫の食害との関係解明	
171	8	1	東京大学農学部生物材料科学専攻	1	0	2	0	3	3	樹木細胞壁形成におけるセルロースマイクロフィブリルの分析	
172	8	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査	
173	8	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	3林班クマハギ発生調査	
174	8	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査	
175	8	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	夜間ライトセンサス調査へのオブザーバ参加	
176	8	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実, 長期生態系, 鳥類標識, スズク結実確認	
177	8	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	1	0	2	4	ミズナラ結実, 長期生態系, 鳥類標識, スズク結実確認	幕営
178	8	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実, 長期生態系, 鳥類標識, スズク結実確認	幕営
179	8	2	ユースホステル研究会	0	0	0	9	9	18	自然探索"ファミリーサマーキャンプ"	川俣宿泊施設
180	8	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2	0	0	0	2	4	科研・ブナ林内の景観と環境情報の定時伝送蓄積によるインターネット環境学習データの作成	栃本宿泊施設
181	8	1	埼玉県立大滝げんきプラザ	0	0	0	43	43	43	げんきプラザ主催事業(夏休みに親子でつくる一研究)	
182	8	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	12	12	12	自由見学日	
183	8	2	東京大学農学生命科学研究科演習林研究部	1	0	0	0	1	2	130周年記念行事の下調査	
184	8	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	12	12	12	サポーター養成講座(生態系)	
185	8	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	0	0	5	0	5	5	不成熟造林地の取り扱い指針に関する研究	栃本宿泊施設
186	9	4	立正大学地球環境科学部環境システム学科	2	23	0	0	25	100	学生実習(フィールドワークII)	川俣宿泊施設
187	9	2	しおじの会	0	0	0	1	1	2	蛾及び甲虫の調査・一部採集	大血川作業所泊
188	9	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻	1	0	0	0	1	1	多支線架線実験施設管理	
189	9	1	埼玉県環境科学国際センター	2	0	0	0	2	2	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立, 武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマカシユリの保全に関する研究	
190	9	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	12	12	12	サポーター養成講座(育林)	
191	9	4	東京大学秩父演習林	5	21	0	0	26	104	全学体験ゼミナール「徹底検証秩父」	川俣宿泊施設
192	9	3	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	3	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	栃本宿泊施設(自炊)
193	9	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	ライトセンサス調査へのオブザーバ参加	
194	9	1	埼玉県環境科学国際センター	2	0	0	0	2	2	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立, 武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマカシユリの保全に関する研究	
195	9	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実の遺伝特性解明, 長期森林生態系研究, 鳥類標識調査, スズク開花調査	幕営
196	10	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
197	10	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
198	10	2	京都大学農学部森林生物学研究室4回生	1	1	0	0	2	4	ハリギリとハリギリ褐斑病菌の系統地理学研究	栃本宿泊施設
199	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2	3	0	0	5	10	森園管理学実験	川俣宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
200	10	3	東京大学農学生命科学研究科生物材料科学専攻	1	12	4	0	17	51	平成19年度森林科学実習	川俣宿泊施設
201	10	5	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	1	0	1	0	2	10	不成熟造林地の取り扱い指針に関する研究	栃本宿泊施設(自炊)
202	10	5	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	0	1	1	0	2	10	不成熟造林地の取り扱い指針に関する研究	栃本宿泊施設(自炊)
203	10	5	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	0	0	3	0	3	15	不成熟造林地の取り扱い指針に関する研究	川俣宿泊施設(自炊)
204	10	2	しおじの会	0	0	0	1	1	2	蛾及び甲虫の調査・一部採集	大血川作業所泊
205	10	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	クマハギ調査とセンサーカメラのチェック	川俣宿泊施設(自炊)
206	10	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	1	0	2	2	自然環境デザインスタジオ下見, ロボットカメラメンテ	
207	10	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実の遺伝特性解明, 長期森林生態系研究, 鳥類標識調査, スタケ開花調査	幕営
208	10	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実の遺伝特性解明, 長期森林生態系研究, 鳥類標識調査, スタケ開花調査	
209	10	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実の遺伝特性解明, 長期森林生態系研究, 鳥類標識調査, スタケ開花調査	
210	10	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実の遺伝特性解明, 長期森林生態系研究, 鳥類標識調査, スタケ開花調査	
211	10	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実の遺伝特性解明, 長期森林生態系研究, 鳥類標識調査, スタケ開花調査	幕営
212	10	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	6	0	7	14	自然環境デザイン実習, ウッドデッキ設置下見	川俣宿泊施設
213	10	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	2	ロボットカメラ緊急メンテ	幕営
214	10	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	2	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	栃本宿泊施設(自炊)
215	10	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	2	ロボットカメラ緊急メンテ	幕営
216	10	1	東京大学愛知演習林	3	0	0	0	3	3	シオジの冬季における樹幹部収縮現象の解明	
217	10	1	文化庁文化財部	0	0	0	2	2	2	ふるさと文化財の森システム推進事業	
218	10	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	10	10	10	サポーター養成講座(森林の公益的機能)	
219	10	2	東京大学秩父演習林	34	0	0	0	34	34	技術職員等試験研究・研修会議	川俣宿泊施設
220	10	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	4	4	4	公開講座「奥秩父の亜高山帯の森林を学ぶ」	
221	10	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	区画法への参加	川俣宿泊施設
222	10	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2	0	0	0	2	2	科研: プナ林内の景観と環境情報の定時伝送蓄積によるインターネット環境学習データの作成	
223	10	2	千葉演習林ボランティア会 Abies	3	0	0	10	13	26	秩父演習林見学・しおじの会との交流会	川俣宿泊施設
224	10	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ木立地調査	
225	10	1	しおじの会	0	0	0	1	1	1	秩父演習林昆虫相調査地打ち合わせ	
226	10	3	しおじの会	0	0	0	1	1	3	区画法への参加	川俣宿泊施設
227	10	2	しおじの会	0	0	0	1	1	2	区画法への参加	川俣宿泊施設
228	10	2	しおじの会	0	0	0	12	12	24	Abies見学会	川俣宿泊施設
229	10	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	ライトセンサス調査	栃本宿泊施設
230	10	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
231	10	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	36	36	36	ワサビ沢展示室特別開室	
232	10	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	48	48	48	ワサビ沢展示室特別開室	
233	10	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	37	37	37	ワサビ沢展示室特別開室	
234	10	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	141	141	141	ワサビ沢展示室特別開室	
235	11	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	0	1	3	0	4	8	人工林成長試験地の測定	栃本宿泊施設
236	11	1	東京大学秩父演習林	28	0	0	0	28	28	技術職員等試験研究・研修会議	
237	11	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	0	1	2	0	3	6	不成熟造林地の取り扱い指針に関する研究	栃本宿泊施設
238	11	2	東京大学工学部システム創成学科	4	8	4	0	16	32	システム創成学科領域プロジェクト	川俣宿泊施設
239	11	1	しおじの会	0	0	0	2	2	2	秩父演習林昆虫相調査誘蛾灯による夜間採集	
240	11	1	日本獣医生命科学大学獣医学部獣医保健看護学科	2	0	0	0	2	2	実習先としての見学	
241	11	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林	0	0	1	0	1	2	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	栃本宿泊施設(自炊)
242	11	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実の遺伝特性解明,長期森林生態系研究,鳥類標識調査,スズケ開花調査	
243	11	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実の遺伝特性解明,長期森林生態系研究,鳥類標識調査,スズケ開花調査	幕営
244	11	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実の遺伝特性解明,長期森林生態系研究,鳥類標識調査,スズケ開花調査	幕営
245	11	1	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	1	ミズナラ結実の遺伝特性解明,長期森林生態系研究,鳥類標識調査,スズケ開花調査	
246	11	2	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学専攻森園管理学専攻分野石田研究室	1	0	0	0	1	2	ミズナラ結実の遺伝特性解明,長期森林生態系研究,鳥類標識調査,スズケ開花調査	幕営
247	11	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
248	11	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
249	11	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
250	11	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	2	景観情報の収集	幕営
251	11	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	9	9	9	サポーター養成講座(歴史)	
252	11	1	埼玉県立大滝げんきブラザ	0	0	0	70	70	70	主催事業「紅葉のトロコ軌道に秋を訪ねて」の実施(トロコ軌道跡ハイキング)	
253	11	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	170	170	170	ワサビ沢展示室特別開室	
254	11	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	156	156	156	ワサビ沢展示室特別開室	
255	11	1	埼玉県環境科学国際センター	2	0	0	0	2	2	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立,武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマスカシユリの保全に関する研究	
256	11	2	秩父演習林	0	0	0	13	13	22	演習林見学	川俣宿泊施設
257	11	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	2	0	3	3	自然環境デザインスタジオ準備	
258	11	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2	0	10	0	12	24	自然環境デザインスタジオ	川俣宿泊施設
259	11	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	33	33	33	ワサビ沢展示室特別開室	
260	11	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	37	37	37	ワサビ沢展示室特別開室	
261	11	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査(測量・その他)	川俣宿泊施設(自炊)
262	11	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林研究部	1	0	0	0	1	1	ブナの種子発育過程に伴う樹木の養分配分と成長および昆虫の食害との関係解明	
263	11	1	東京大学農学生命科学研究科森林動物学研究室	1	0	1	1	3	3	穿孔虫の分化過程,遺伝的多様性,生態の解析	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
264	11	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	0	1	0	1	1	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	
265	11	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査(測量・その他)	
266	11	1	しおじの会	0	0	0	10	10	10	秩父演習林見学	
267	11	1	東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	1	1	0	2	2	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	
268	11	2	埼玉農林総合センター	0	0	0	3	3	6	秩父演習林昆虫相調査	川俣宿泊施設(自炊)
269	12	2	東京大学秩父演習林	1	0	3	0	4	8	森林園管理システム学	栃本宿泊施設
270	12	1	東京大学秩父演習林	0	56	0	0	56	56	全学体験ゼミナール「冬の森林学」	
271	12	2	東京大学秩父演習林	0	26	0	0	26	52	全学体験ゼミナール「冬の森林学」	川俣宿泊施設
272	12	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
273	12	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
274	12	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専修附属演習林	0	0	1	0	1	2	修士論文研究(秩父山地天然林優先種の更新動態)	栃本宿泊施設(自炊)
275	12	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	クマハギ調査(DBH測量)	川俣宿泊施設(自炊)
276	12	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	3	0	4	4	自然環境デザインスタジオ	
277	12	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	3	0	3	3	自然環境デザインスタジオ	川俣宿泊施設(自炊)
278	12	1	埼玉県環境科学国際センター	2	0	0	0	2	2	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立,武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマスカシユリの保全に関する研究	
279	12	1	埼玉県環境科学国際センター	2	0	0	0	2	2	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立,武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマスカシユリの保全に関する研究	
280	12	2	東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻林政学研究室	0	2	6	0	8	16	林政学研究室・国際森林環境学研究室合同ゼミ合宿	川俣宿泊施設
281	12	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	2	景観情報の収集,センサービデオ設置準備作業	幕営
282	12	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	2	0	2	2	クマハギ調査(センサービデオの設置)	
283	12	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	11	11	11	サポーター養成講座(環境教育)	
284	1	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
285	1	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	クマハギ木分布調査	栃本宿泊施設(自炊)
286	1	1	文化庁文化財部	0	0	0	3	3	3	ふるさと文化財の森システム推進事業	
287	1	1	東京大学秩父演習林	0	0	0	5	5	5	木材生産時に発生する残材等を活用した林業体験教育プログラムの開発	
288	1	3	東京大学愛知演習林	1	0	0	0	1	3	ブナとイヌブナの試料整理と現地での補足調査	
289	2	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
290	2	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査(センサーカメラ,2007年クマハギ発生チェック)	
291	2	2	宇都宮大学農学部森林科学科	2	5	2	0	9	18	急傾斜林地で利用される林業機械の見学	川俣宿泊施設
292	2	1	埼玉県環境科学国際センター	2	0	0	0	2	2	埼玉県における光化学オキシダントの植物影響把握法の確立,武甲山に生育する絶滅危惧種ミヤマスカシユリの保全に関する研究	
293	2	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	2	景観情報の収集,センサービデオ運用準備作業	幕営
294	2	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	2	クマハギ発生チェックとセンサービデオ・機材テスト	栃本宿泊施設(自炊)
295	2	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	1	景観情報の収集,センサービデオ運用準備作業	
296	2	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	0	0	1	0	1	1	サイバーフォレスト研究	
297	2	1	しおじの会	0	0	0	1	1	1	忌避ブロックの調査地設置状況確認	
298	2	1	演習林研究部	1	0	0	0	1	1	業務打ち合わせ	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
299	2	1	埼玉県農林総合研究センター	2	0	0	0	2	2	荒川流域水辺林再生技術の開発	
300	2	1	帯広畜産大学畜産科学科	1	0	0	0	1	1	演習林見学	
301	2	1	しおじの会	0	0	0	2	2	2	自由見学日コースの見学	
302	3	1	秩父演習林	0	0	0	12	12	12	木材生産時に発生する残材等を活用した林業体験教育プログラムの開発	
303	3	1	秩父演習林	0	0	0	3	3	3	木材生産時に発生する残材等を活用した林業体験教育プログラムの開発	
304	3	2	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1	0	0	0	1	2	景観情報の収集, センサービデオ運用準備作業	
305	3	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ調査(センサーカメラのチェック)	
306	3	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏情報学研究室	0	0	1	0	1	1	クマハギ発生状況調査	
307	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1	0	2	0	3	3	器材撤収	
308	3	1	東京大学農学生命科学研究科生物材料科学専攻	2	0	0	0	2	2	樹木新生組織に含有される多糖フィブリルの存在形態	

利用者数合計 2,595
 利用者延べ数合計 3,609
 利用件数 308

演習林名: 愛知演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
1	4	3	生圏システム学専攻演習林研究室	0	0	2	0	2	6	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確認	赤津宿泊施設
2	4	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	4	水質部屋と柵の整理整頓のため	赤津宿泊施設
3	4	1	一般	0	0	0	3	3	3	見学	
4	4	2	犬山市エコアップリーダー	0	0	0	1	1	2	再生した里山における野生動物の関わりについて	
5	4	1	一般	0	0	0	6	6	6	樹木の観察	
6	4	2	東京大学愛知演習林	1	0	0	29	30	60	矢作川森の健康診断リーダー研修	
7	4	2	演習林研究部	1	0	0	0	1	2	業務打ち合わせ、調査他	
8	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	3	全演協科研クロスチェックと水質分析のため	赤津宿泊施設
9	4	1	生圏システム学専攻演習林研究室	0	0	2	0	2	2	雨量計、パーシャルフリュウムデータ回収	
10	5	11	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	11	全演協科研クロスチェックと水質分析のため	赤津宿泊施設
11	5	3	名古屋大学大学院生命農学研究科	0	3	1	0	4	11	現地調査(樹高測定、プロット設置など)	
12	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	0	0	1	0	1	1	愛知演習林利用者研究会	
13	5	1	名古屋大学農学部資源生物環境学科	0	0	1	0	1	1	愛知演習林利用者研究会	
14	5	1	東京大学大学院河川流域環境研究室	0	0	1	0	1	1	愛知演習林利用者研究会	赤津宿泊施設
15	5	1	名古屋大学農学部資源生物環境学科	0	0	1	0	1	1	愛知演習林利用者研究会	
16	5	2	東京農業大学治山・緑化学研究室	1	3	0	0	4	8	風化花崗岩地における土砂流出の特性	赤津宿泊施設
17	5	2	東京農工大学森林環境学講座	1	0	2	0	3	6	演習林利用者集会、試験地見学	赤津宿泊施設
18	5	3	生圏システム学専攻演習林研究室	0	0	1	0	1	3	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確認	赤津宿泊施設
19	5	1	犬山市エコアップリーダー	0	0	0	1	1	1	再生した里山における野生動物の関わりについて	
20	5	3	演習林研究部	1	0	0	0	1	2	業務打ち合わせ、鳥類調査、薬物検査立合い	
21	5	1	豊田森林組合とよた森林学校事務局	0	0	0	56	56	56	とよた森林学校「森林セミナー」の開催	
22	5	1	名古屋大学農学部資源生物研究学科	0	0	1	0	1	1	博士論文研究	
23	5	1	名古屋大学農学部資源生物研究学科	1	23	1	0	25	25	資源生物環境学実験実習 (B)(測樹学)	
24	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	3	全演協科研クロスチェックと水質分析のため	赤津宿泊施設
25	5	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	16	16	16	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
26	5	1	(株)とうめい新聞編集部	0	0	0	1	1	1	新聞記事取材	
27	5	1	犬山市健康福祉部子ども未来課	0	0	0	167	167	167	体操教室ウォークラリー	
28	5	1	愛知演習林	0	0	0	21	21	21	公開講座「森を測る」	
29	6	3	東京大学愛知演習林	0	7	0	0	7	21	教養学部総合科目D人間・環境「青の革命と緑のダム」	赤津宿泊施設
30	6	1	生圏システム学専攻演習林研究室	0	0	1	0	1	1	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確認	
31	6	10	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	10	分析・研究のため	五位塚宿泊室
32	6	2	一般	0	0	0	2	2	4		
33	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	0	0	1	0	1	1	現地調査(樹高測定、プロット設置など)	
34	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	1	11	1	0	13	39	森林保全学実習	赤津宿泊施設
35	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	2	23	3	0	28	28	土壌学実習	
36	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	1	CO ₂ プロファイラの作成技術の習得	
37	6	1	東京農業大学	0	5	0	0	5	15	卒論	赤津宿泊施設
38	6	4	生圏システム学専攻演習林研究室	0	0	1	0	1	4	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確認	赤津宿泊施設
39	7	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	0	0	1	0	1	1	現地調査(樹高測定、プロット設置など)	
40	7	1	一般	0	0	0	4	4	4	自然観察	
41	7	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	16	16	16	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
42	7	6	生圏システム学専攻演習林研究室	0	0	1	0	1	6	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確認	赤津宿泊施設
43	7	5	株式会社ケーシーエス環境調査部	0	0	0	2	2	10	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確認	
44	7	1	東京農業大学	0	1	0	0	1	1	卒論	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
45	7	1	犬山市エコアップリー ダー東大演習林G	0	0	0	36	36	36	野遊び塾 昆虫調査	
46	7	1	瀬戸市市民生活部環境 課	0	0	0	9	9	9	市全域を対象とした「貴重野生植物調 査」のため	
47	7	1	学校法人梅村学園三重 中学校	4	0	0	36	40	40	三重中学校特別授業「地球環境と調査」	
48	7	1	愛知県環境調査センター 企画情報部	0	0	0	6	6	6	環境学習ハンドブック活用講習会	
49	7	1	ECOにここ瀬戸	0	0	0	20	20	20	愛知演習林の概要を知るため	
50	7	3	東京農業大学治山・緑化 工学研究室	0	4	0	0	4	12	白坂本流での縦横断測量による土砂流 出の解析	赤津宿泊施設
51	7	1	名古屋大学農学部資源 生物研究学科	0	0	1	0	1	1	博士論文研究	
52	7	1	愛知演習林	4	0	1	11	16	16	国際シンポジウムのエクスカージョン	
53	7	1	一般	0	0	0	4	4	4	子供の夏休み自由研究(矢田川水系の 水質などについて)	
54	7	1	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林利水 及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	1	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊室
55	8	7	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林利水 及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	7	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊室
56	8	1	愛知県環境調査センター 企画情報部	0	0	0	40	40	40	環境学習ハンドブック活用講習会	
57	8	1	生圏システム学専攻演習 林研究室	0	0	1	0	1	1	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確 認	
58	8	1	(有)マル仁木工所	0	0	0	2	2	2	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確 認	
59	8	6	株式会社ケーシーエス環 境調査部	0	0	0	2	2	12	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確 認	
60	8	1	東京農業大学	0	1	0	0	1	1	卒論	
61	8	1	名古屋大学大学院生命 農学研究科	1	0	0	0	1	1	ヒサカキ葉内のA1動態に関する研究	
62	8	1	名古屋大学大学院生命 農学研究科	0	0	1	0	1	1	現地調査(樹高測定、プロット設置など)	
63	8	1	生圏システム学専攻演習 林研究室	0	0	1	0	1	1	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確 認	
64	8	1	地域環境活性化協議会	0	0	0	30	30	30	小学生低学年環境教育	
65	8	5	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林利水 及び砂防工学研究室	1	6	2	0	9	45	測量学実習	赤津宿泊施設
66	8	5	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林利水 及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	5	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊室
67	9	6	東京農業大学治山・緑化 工学研究室	0	5	0	0	5	30	白坂本流での横断測量による土砂流出 の解析	赤津宿泊施設
68	9	1	埼玉大学大学院理工学 研究科土質工学研究室	1	1	2	1	5	5	土壤撥水性の発現度合いに被覆植生 が及ぼす影響の評価	
69	9	4	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林利水 及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	4	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊室
70	9	1	一般	0	0	0	1	1	1	治山工事見学	
71	9	1	生圏システム学専攻演習 林研究室	0	0	1	0	1	1	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確 認	
72	9	4	東京農業大学治山・緑化 工学研究室	0	7	0	0	7	28	白坂本流での横断測量による土砂流出 の解析	赤津宿泊施設
73	9	1	東京農業大学森林総合 科学科	0	0	0	1	1	1	研究の話し合い	
74	9	4	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林利水 及び砂防工学研究室	1	6	0	0	7	28	全学体験ゼミナール 森に学ぶ(4)森 林生態研究の現場からの発見	赤津宿泊施設
75	10	1	犬山市健康福祉部健康 推進課	0	0	0	16	16	16	犬山市民健康館が実施する市民健康 づくり事業	
76	10	1	一般	0	0	0	2	2	2	林内の散策	
77	10	3	生圏システム学専攻演習 林研究室	0	0	1	0	1	3	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確 認	赤津宿泊施設
78	10	1	犬山市健康福祉部健康 推進課	0	0	0	6	6	6	犬山市民健康館が実施する市民健康 づくり事業	
79	10	1	犬山市役所環境部環境 課	0	0	0	25	25	25	犬山里山塾の開催	
80	10	1	瀬戸市役所環境課	0	0	0	19	19	19	せと環境塾(ブレ版)セミナー開催	
81	10	1	犬山ニュータウン自治会	0	0	0	34	34	34	犬山ニュータウン自治会イベント(ハイキ ング)	
82	10	1	一般	0	0	0	1	1	1	取材のため	
83	10	4	東京農業大学治山・緑化 工学研究室	0	5	0	0	5	20	白坂北谷流域の植生調査	赤津宿泊施設
84	10	1	木曽川水系水道水質協 議会事務局	0	0	0	36	36	36	研修見学会	
85	10	4	生圏システム学専攻演習 林研究室	0	0	1	0	1	4	雨量計、パーシャルフリュウムの動作確 認	赤津宿泊施設
86	10	1	岐阜県立国際園芸アカデ ミー	1	0	0	36	37	37	研修見学会	
87	10~ 11	19	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林利水 及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	16	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊室
88	11	1	犬山市役所環境部環境 課	0	0	0	25	25	25	犬山里山塾の開催	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
89	11	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	4	4	4	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
90	11	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	0	0	1	0	1	1	現地調査(樹高測定,プロット設置など)	
91	11	1	東山植物園ボランティア	0	0	0	15	15	15	林内の植物分布の学習	
92	11	1	三井住友海上火災(株)代理店損害調査	0	0	0	2	2	2	森林区による保水に関する研究	
93	11	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	9	9	9	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
94	11	4	東京農業大学治山・緑化学研究室	0	6	0	0	6	24	白坂北谷流域の植生と地下水位の関係について	赤津宿泊施設
95	11	2	演習林研究部	3	0	0	0	3	6	愛知演習林に発生したナラ枯れ被害の視察	赤津宿泊施設
96	11	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	2	38	0	0	40	40	生物環境科学実験実習	
97	12	5	生圏システム学専攻演習林研究室	0	0	1	0	1	5	雨量計,パーシャルフリュウムの動作確認	赤津宿泊施設
98	12	1	あつた勤労者山岳会	0	0	0	4	4	4	自然観察	
99	12	2	一般	0	0	0	16	16	32	第20回日本の森と自然を守る全国集会のため	赤津宿泊施設
100	12	1	犬山市役所環境部環境課	0	0	0	20	20	20	尾張地域木材利用促進会議(学びの森整備事業箇所の視察)	
101	12	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	9	9	9	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
102	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	1	研究の指導を受けるため	
103	12	6	東京農業大学治山・緑化学研究室	0	6	0	0	6	36	白坂北谷流域の植生と地下水位の関係について	赤津宿泊施設
104	12	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	0	0	1	0	1	1	現地調査(樹高測定,プロット設置など)	
105	12	2	演習林研究部	1	0	0	0	1	2	業務打ち合わせ,鳥類調査	
106	12	2	東京農業大学治山・緑化学研究室	0	3	0	0	3	6	卒業論文のための研究	
107	1	7	東京農業大学	0	2	0	0	2	14	量水施設のデータ回収	赤津宿泊施設
108	1	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	20	20	20	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
109	1	3	愛知演習林	1	0	4	0	5	15	森林科学専攻・生圏システム学専攻講義「国際森林学徳論」	赤津宿泊施設
110	1	1	犬山市役所環境部環境課	0	0	0	40	40	40	里山リレー講座の開催(冬芽の観察)	
111	1	2	生圏システム学専攻演習林研究室	0	0	1	0	1	2	修士論文の打ち合わせ	赤津宿泊施設
112	2	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	31	31	31	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
113	2	1	愛知演習林	1	0	0	2	3	3	沢畑亨氏(水保愛林館長,林政OB)他1名の見学案内	
114	2	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	3	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊室
115	2	1	一般	0	0	0	7	7	7	自然観察	
116	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利水及び砂防工学研究室	0	0	1	0	1	5	研究の指導を受けるため	五位塚宿泊室
117	2	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	17	17	17	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
118	2	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	31	31	31	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
119	2	1	東京農業大学	0	1	0	0	1	1	量水施設のデータ回収	
120	3	1	あつた勤労者山岳会	0	0	0	5	5	5	自然観察	
121	3	1	愛知演習林	0	0	0	8	8	8	公開講座	
122	3	1	宇都宮大学農学部附属演習林	4	0	0	15	19	19	技術職員研修	
123	3	1	犬山市健康福祉部健康推進課	0	0	0	15	15	15	犬山市民健康館が実施する市民健康づくり事業	
124	3	2	静岡大学農学部	2	3	0	0	5	10	土壌呼吸に及ぼす温暖化影響の実験的評価	赤津宿泊施設
125	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	0	1	1	0	2	2	調査地の片付け	
126	3	1	シデコブシの会	0	0	0	8	8	8	木材の販売	
127	3	1	東京農業大学治山・緑化学研究室	0	3	0	0	3	3	卒業論文の報告	

利用者数合計 1,270
利用者延べ数合計 1,695
利用件数 127

演習林名: 富士演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
1	4	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	2	0	0	0	2	2	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
2	4	9	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	9	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	富士山中宿泊施設
3	4	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	0	0	1	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
4	4	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
5	4	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	0	0	0	1	1	1	ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と生長	
6	4	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	0	1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
7	4	3	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	3	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
8	4	15	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	15	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
9	4	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
10	4	3	東京大学秩父演習林	2	0	0	0	2	6	基盤データ整備に伴う植物調査	
11	4	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
12	5	31	静岡大学農学部造林学研究室	1	0	0	1	2	32	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	富士山中宿泊施設
13	5	1	一般	0	0	0	2	2	2	見学	
14	5	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	0	1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
15	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻	3	4	0	0	7	13	森園管理学実習	
16	5	1	富士山クラブ	0	0	0	4	4	4	見学(下見)	
17	5	1	東京大学	4	0	0	0	4	4	東京大学工学系社会基盤工学実習下目	
18	5	2	NPO富士山自然学校	0	0	0	86	86	172	高原学校の森林学習	
19	5	11	山中湖村	0	0	0	22,000	22,000	22,000	山中湖村ロードレース大会	
20	6	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	0	0	0	1	1	1	ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と生長	
21	6	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
22	6	1	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
23	6	1	東京大学運動会	0	6	0	0	6	6	グランド肥料撒き	
24	6	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	0	1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
25	6	1	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
26	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科富士演習林	3	7	0	0	10	20	総合科目(森林-人間関係科学)実習	
27	6	2	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	2	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
28	6	1	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
29	6	1	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
30	6	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
31	7	2	青葉学園幼稚園	0	0	0	126	126	252	夏季保育, 自然活動体験	
32	7	1	関東学院小学校	0	0	0	78	78	78	校外学習	
33	7	2	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	2	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
34	7	1	渋谷幼稚園	1	0	0	49	50	50	夏季保育, 自然活動体験	
35	7	2	聖ヨゼフ小学校	0	0	0	76	76	152	体験学習	
36	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林風致計学研究室	2	10	0	0	12	24	環境設計演習(学部4年演習)	
37	7	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	0	1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
38	7	2	八幡幼稚園	0	0	0	84	84	168	夏季保育, 自然活動体験	
39	7	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
40	7	2	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	2	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
41	7	2	丸山幼稚園	0	0	0	185	185	370	夏季保育, 自然活動体験	
42	7	1	向陽文化スポーツクラブ	0	0	0	31	31	31	樹木園見学等	
43	7	1	大田区立雪谷小学校	0	0	0	22	22	22	自然探察	
44	7	1	モデル・ランゲージ・スタジオ	0	0	5	99	104	104	自然体験活動	
45	7	1	ガールスカウト東京都第4団	0	0	0	28	28	28	健全な活動, 育成	
46	7	2	東京大学運動会馬術部	0	0	20	0	20	40	技術向上の為の合宿	
47	7	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	0	1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
48	8	22	東京大学運動会馬術部	0	0	20	0	20	440	技術向上の為の合宿	
49	8	19	ホールアース自然学校	0	0	0	3	3	57	エコツアー, 樹木ガイド	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
50	8	4	山梨県セーリング連盟	0	0	0	200	200	800	全日本F1級ヨット選手権大会	
51	8	1	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
52	8	1	株式会社松栄開発	0	0	0	2	2	2	2林班測定のため	
53	8	1	(財)国際青少年研修協会	0	19	0	140	159	159	国際交流キャンプ自然に触れ合い、青少年の育成	
54	8	2	NPO富士山ネイチャークラブ	0	0	0	6	6	12	自然観察	
55	8	3	カトリック藤が丘教会	0	2	0	43	45	135	自然観察	
56	8	1	慶北大学校農業生命科 大学林学科森林環境学 研究室	0	0	8	0	8	8	GLOBALCHALLENGERPROGRAM	
57	8	4	カトリック藤枝教会	1	0	0	35	36	144	自然観察	
58	8	1	東邦大学理学部生物学 科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデビリの水分収支、光合成、特性についての成木と稚樹との比較	
59	8	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
60	8	1	独立行政法人物質、材料 研究機構材料研究所	1	0	0	0	1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
61	8	2	NPO富士山ネイチャー クラブ	0	0	0	7	7	14	自然観察	
62	8	1	カトリック清瀬教会	0	0	0	2	2	2	見学	
63	8	3	東邦大学理学部生物学 科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	3	ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と生長	
64	8	6	株式会社松栄開発	0	0	0	2	2	12	2林班測定のため	富士山中宿泊施設
65	8	2	NPO富士山ネイチャー クラブ	0	0	0	8	8	16	自然観察	
66	9	1	東京大学大学院理学系 研究科生物科学専攻	3	8	0	0	11	11	生態学野外実習	
67	9	2	株式会社松栄開発	0	0	0	2	2	4	2林班測定のため	富士山中宿泊施設
68	9	4	株式会社松栄開発	0	0	0	4	4	16	2林班測定のため	富士山中宿泊施設
69	9	1	独立行政法人森林総合 研究所	2	0	0	0	2	2	研究用、ブナ、ミズナラの葉の採取	
70	9	4	東京大学工学系社会基 盤学科土地/地盤研究室	2	60	0	0	62	248	工学部、社会基盤学科の実習	
71	9	1	東邦大学理学部生物学 科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデビリの水分収支、光合成、特性についての成木と稚樹との比較	
72	9	1	兵庫県立淡路夢舞台温 室	7	0	0	0	7	7	自生植物の種子採取	
73	9	2	静岡大学農学部造林学 研究室	0	4	0	1	5	10	ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と生長	
74	9	5	株式会社松栄開発	0	0	0	2	2	10	2林班測定のため	富士山中宿泊施設
75	10	10	株式会社松栄開発	0	0	0	2	2	20	3林班測定のため	富士山中宿泊施設
76	10	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
77	10	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
78	10	20	山中湖村立山中湖中 学校	0	0	0	25	25	500	ラクビー部の練習	
79	10	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
80	10	1	株式会社キッスラボ	0	0	0	40	40	40	自然観察	
81	10	1	武蔵工業大学環境情報 学部環境情報学科	1	14	1	1	17	17	植物の観察、同定、及び標本採取	
82	10	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
83	10	2	株式会社松栄開発	0	0	0	2	2	4	3林班測定のため	富士山中宿泊施設
84	10	1	東邦大学理学部生物学 科植物生態学研究室	1	0	0	1	2	2	シデビリの水分収支、光合成、特性についての成木と稚樹との比較	
85	10	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
86	10	2	鎌倉女学院中学校	20	0	0	168	188	376	野外活動(プロジェクト、アベンチャー)	
87	10	1	聖ヨゼフ小学校	8	0	0	80	88	88	体験学習	
88	11	1	東邦大学理学部生物学 科植物生態学研究室	1	0	0	1	2	2	シデビリの水分収支、光合成、特性についての成木と稚樹との比較	
89	11	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
90	11	1	独立行政法人物質、材料 研究機構材料研究所	1	0	0	4	5	5	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
91	11	1	NPO富士山クラブ	0	0	0	14	14	14	森林研修	
92	11	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
93	11	1	東邦大学理学部生物学 科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデビリの水分収支、光合成、特性についての成木と稚樹との比較	
94	11	4	目黒星美小学校	0	0	0	127	127	508	見学及び写生	
95	11	1	ホールアース自然学校	0	0	0	10	10	10	来年度以後の利用の下見	
96	11	1	東邦大学理学部生物学 科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデビリの水分収支、光合成、特性についての成木と稚樹との比較	
97	11	1	静岡大学農学部造林学 研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	
98	11	1	東邦大学理学部生物学 科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデビリの水分収支、光合成、特性についての成木と稚樹との比較	
99	12	2	東京大学農学生命科学 研究科附属演習林	1	3	0	0	4	8	全学体験ゼミナール(年輪を読む)	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
100	12	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
101	12	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
102	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・生圏システム学専攻	1	0	2	0	3	3	聖ヒノキのクローン検定	
103	12	1	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
104	12	1	山中湖村立山中湖中学校	0	0	0	57	57	57	林内環境整備(落ち葉回収)	
105	12	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林	0	0	3	0	3	3	森林研修(森林圏管理システム学)	
106	12	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	1	2	2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
107	12	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
108	12	1	静岡大学農学部造林学研究室	0	0	0	1	1	1	産地の異なるブナの開葉フェロロジーに対する環境要因の解析	
109	12	1	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	1	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
110	12	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
111	12	1	独立行政法人物質, 材料研究機構	1	0	0	0	1	1	測定器調整	
112	1	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
113	1	4	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	4	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
114	1	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	1	2	2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
115	1	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
116	1	2	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	2	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
117	2	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
118	2	2	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	2	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
119	2	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	0	1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
120	2	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
121	2	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	1	0	0	0	1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
122	2	4	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	4	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
123	2	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
124	3	2	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	2	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
125	3	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
126	3	1	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	1	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
127	3	3	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	3	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
128	3	1	独立行政法人物質, 材料研究機構材料研究所	2	0	0	0	2	2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食動調査	
129	3	5	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	5	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
130	3	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	
131	3	5	東京大学農学生命科学研究科緑地植物実験所	0	0	0	1	1	5	周辺環境がキツネの食性に与える影響について	富士山中宿泊施設
132	3	1	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	1	0	0	0	1	1	シデリの水分収支, 光合成, 特性についての成木と稚樹との比較	

利用者数合計 24,197
利用者延べ数合計 27,468
利用件数 132

演習林名: 樹芸研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
1	4	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	0	2	0	3	6	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
2	4	1	静岡大学教育学部附属浜松中学校	0	0	0	3	3	3	総合学習「南伊豆の自然について」	
3	4	4	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	1	0	1	4	アオキの生育について	
4	4	1	学校法人九里学園浦和実業学園中学校	6	0	0	73	79	79	温室見学	
5	4	1	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
6	4	2	東京大学・農学生命科学研究科・生圏システム学・森園管理学研究室	1	0	7	0	8	16	森園管理学演習	
7	4	2	東工コーセン株式会社	0	0	0	2	2	4	シカ防護柵設置	
8	4	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	2	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
9	4	5	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	2	0	2	7	アオキの生育について	
10	4	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
11	4	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
12	5	2	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	2	0	2	4	アオキの生育について	
13	5	1	東京大学・樹芸研究所	0	0	0	24	24	24	公開講座「春の散策」	
14	5	1	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
15	5	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	0	2	0	3	9	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
16	5	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・砂防工学研究室	1	0	2	0	3	6	森林溪流の水質に関する研究	
17	5	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
18	5	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
19	5	1	東京大学・農学部・安全衛生管理室	2	0	0	0	2	2	安全衛生マネジメントシステムについて	
20	5	2	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	1	0	0	0	1	2	業務打合せ	
21	6	1	一般見学	0	0	0	3	3	3	温室見学	
22	6	3	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	1	0	1	3	アオキの生育について	
23	6	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	3	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
24	6	1	下田市立下田中学校	0	0	0	1	1	1	総合学習「くろふね学習」	
25	6	1	(社)下田青年会議所	0	0	0	3	3	3	青野研究林見学	
26	6	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	1	0	0	2	4	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性の解析	
27	6	4	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	2	0	2	7	アオキの生育について	
28	6	2	東京大学・秩父演習林	1	3	0	0	4	8	総合科目「森林・人間の科学」	
29	6	1	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
30	6	5	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	1	0	1	5	アオキの生育について	
31	6	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	2	0	2	6	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
32	6	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
33	6	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	0	2	0	3	6	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
34	7	2	東京大学・農学生命科学研究科・緑地植物実験所	1	7	2	0	10	20	資源生物学基礎実験(植生調査)	
35	7	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	2	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
36	7	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	3	0	3	9	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
37	7	4	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	3	0	3	12	アオキの生育について	
38	7	1	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
39	7	1	東京大学・演習林	2	0	2	0	4	4	「南伊豆地域における景観的特徴の解明と再評価」シンポジウム打合せ	
40	7	1	一般見学	0	0	0	1	1	1	温室見学	
41	7	1	東京大学・秩父演習林	1	0	0	0	1	1	実習打合せ	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
42	7~8	5	東京大学・千葉演習林	2	0	0	0	2	10	全学ゼミ協力	
43	8	4	東京大学・樹芸研究所	2	30	0	0	32	126	全学体験ゼミナール「夏版 伊豆に学ぶ」	
44	8	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	2	0	2	6	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
45	8	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	2	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
46	8	9	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	9	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
47	8	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	0	0	0	1	3	ツバキ科樹木のA3耐性に関する研究のための試料採取	
48	8	2	東京大学・農学事務部・総務課	4	0	0	0	4	8	施設見学	
49	8	4	東京大学・演習林	4	22	0	0	26	104	国際開発農学専修森林実習	
50	8	1	東京大学・演習林	1	0	0	0	1	1	シンポジウム打合せ	
51	8	1	メディア・メトル株式会社	0	0	0	1	1	1	NHKBS「アジア大自然紀行」ロケハン	
52	8	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	2	0	2	6	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
53	8	1	アンタスプロダクション	0	0	0	3	3	3	NHKBS「アジア大自然紀行」現場打合せ	
54	8	1	株式会社 浜島書店	0	0	0	1	1	1	生物科資料集画像掲載について	
55	8	1	一般見学	0	0	0	4	4	4	温室見学	
56	8	1	アンタスプロダクション	0	0	0	9	9	9	NHKBS「アジア大自然紀行」撮影	
57	9	1	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	1	撥水性土壌の分布および斜面における土壌水分動態	
58	9	9	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	9	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
59	9	2	東京大学・農学生命科学研究科・生圏システム学・森園管理学研究室	1	0	0	0	1	2	フタバガキ科樹木のさし木試験	
60	9	1	九州大学・理学研究院・生物科学専攻・生態学研究室	0	0	1	0	1	1	南硫黄島新産のタマアジサイ類の正体と系統地理	
61	9	1	一般見学	0	0	0	1	1	1	温室見学	
62	9	4	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	4	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
63	9	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	2	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
64	9	4	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	4	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
65	9	4	東京大学・樹芸研究所	0	4	0	0	4	16	全学体験ゼミナール「森に学ぶ」	
66	10	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	3	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
67	10	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	1	0	0	2	4	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性の解析	
68	10	1	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	1	0	0	1	1	撥水性土壌の分布および斜面における土壌水分動態	
69	10	4	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	1	0	1	1	アオキの生育について	
70	10	8	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	8	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
71	10	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	2	0	2	6	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
72	10	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
73	10	2	東京大学・農学生命科学研究科・生圏システム学・森園管理学研究室	1	0	1	0	2	4	フタバガキ科樹木のさし木試験	
74	10	8	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	8	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
75	10	1	一般見学	0	0	0	1	1	1	温室見学	
76	11	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	2	0	2	6	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
77	11	8	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	8	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
78	11	2	一般	0	0	0	4	4	8	狩猟	
79	11	1	東京大学・演習林	2	0	5	93	100	100	シンポジウム「南伊豆の風景探し」	
80	11	1	一般見学	0	0	0	3	3	3	温室見学	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
81	11	8	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	0	1	0	2	10	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
82	11	3	一般	0	0	0	4	4	12	狩猟	
83	11	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
84	11	5	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	1	0	1	5	アオキの生育について	
85	11~12	3	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	0	1	0	2	6	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
86	12	2	一般	0	0	0	5	5	10	狩猟	
87	12	1	自然観察指導員	0	0	0	15	15	15	自然観察会	
88	12	1	下田市立稲穂小学校	2	0	0	15	17	17	緑の少年団活動	
89	12	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
90	12	18	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	18	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
91	12	1	東京大学・樹芸研究所	0	0	0	20	20	20	公開講座「鳥の巣箱を作る」	
92	12	2	一般	0	0	0	4	4	8	狩猟	
93	12	1	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	1	0	1	1	アオキの生育について	
94	12	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
95	12	1	東京大学・千葉演習林	2	0	0	0	2	2	暖帯常緑広葉樹林の持続的維持に関する繁殖生態学的研究	
96	12	1	一般	0	0	0	5	5	5	狩猟	
97	12	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	1	1	0	0	2	4	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性の解析	
98	12	1	一般見学	0	0	0	4	4	4	温室見学	
99	12	3	一般	0	0	0	5	5	15	狩猟	
100	12	3	一般	0	0	0	5	5	15	狩猟	
101	1	1	一般見学	0	0	0	1	1	1	温室見学	
102	1	5	一般	0	0	0	5	5	25	狩猟	
103	1	9	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	9	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
104	1	2	一般	0	0	0	5	5	10	狩猟	
105	1	3	東京大学・千葉演習林	1	0	0	0	1	3	シカ生息調査	
106	1	3	東京大学・秩父演習林	1	0	0	0	1	3	シカ生息調査	
107	1	1	ボランティアガイド	0	0	0	1	1	1	青野研究林見学	
108	1	1	一般見学	0	0	0	17	17	17	温室見学	
109	1	1	一般	0	0	0	2	2	2	狩猟	
110	1	1	一般見学	0	0	0	2	2	2	温室見学	
111	1	8	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	8	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
112	1	1	一般	0	0	0	5	5	5	狩猟	
113	2	1	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	1	土壌水分量の変化に伴う土壌の撥水性の変動	
114	2	1	東京大学・保健センター・健康管理室	1	0	0	0	1	1	産業医巡視	
115	2	1	一般	0	0	0	2	2	2	狩猟	
116	2	1	東京大学・農学生命科学研究科・生圏システム学・森園管理学研究室	1	0	0	0	1	1	フタバガキ科樹木のさし木試験	
117	2	8	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	8	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
118	2	1	一般	0	0	0	5	5	5	狩猟	
119	2	1	一般見学	0	0	0	1	1	1	温室見学	
120	2	1	一般見学	0	0	0	4	4	4	温室見学	
121	2	5	東京大学・千葉演習林	2	0	0	0	2	10	全学体験ゼミ協力	
122	2	5	東京大学・秩父演習林	2	0	0	0	2	7	全学体験ゼミ協力	
123	2	4	東京大学・樹芸研究所	0	36	0	0	36	144	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	
124	2	5	東京大学・千葉演習林	3	0	0	0	3	15	全学体験ゼミ協力	
125	2	4	東京大学・樹芸研究所	0	46	0	0	46	184	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	
126	3	1	東京大学・秩父演習林	2	0	0	0	2	2	全学体験ゼミ協力	
127	3	1	南伊豆町立南伊豆幼稚園	4	0	0	51	55	55	温室見学	
128	3	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・砂防工学研究室	1	1	1	0	3	6	樹芸研究所利用者発表会	
129	3	2	東京大学・愛知演習林	1	0	2	0	3	6	樹芸研究所利用者発表会	
130	3	2	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	2	樹芸研究所利用者発表会	
131	3	2	北海道林産試験場	1	0	0	0	1	2	樹芸研究所利用者発表会	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
132	3	1	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	1	樹芸研究所利用者発表会	
133	3	7	東京大学・農学生命科学研究科・森林科学・造林学研究室	0	0	1	0	1	7	フタバカキ科樹木の低温応答に関する研究	
134	3	1	東京大学・演習林研究部	1	0	0	0	1	1	全演協科研研究流出水の平均滞留時間推定のため水サンプル採取	
135	3	1	東京大学・農学生命科学研究科・生圏システム学・森園管理学研究室	2	1	0	0	3	3	伊豆暖温帯林における森林伐採後の更新動態調査	
136	3	1	東京大学・農学生命科学研究科・演習林	0	0	1	0	1	1	アオキの生育について	

利用者数合計 740
 利用者延べ数合計 1,504
 利用件数 136

演習林名: 田無試験地

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
1	4	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	1	0	2	0	3	7	サクラてんぐ巢病に関する研究	
2	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	1	Melaleuca cajuputiにおける沈水適応性の解明	
3	4	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	38	38	38	植物観察	
4	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	2	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
5	4	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	1	サクラの根株腐朽菌被害木の腐朽形状調査	
6	4	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	23	23	23	動物観察	
7	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	3	水滴の葉面付着が樹木の物質生産に与える影響	
8	4	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
9	4	1	道くさ会(森林勉強会)	0	0	0	23	23	23	林内見学	
10	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	2	ナラ類異葉凋枯死における通水阻害機構	
11	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	3	0	3	3	マツ類における材線虫病の発現機構の解明	
12	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	0	2	0	0	2	2	全学体験ゼミナール	
13	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	3	13	1	0	17	17	造林学実験	
14	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	0	0	1	1	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性解析	
15	4	1	ホトギスの会	0	0	0	15	15	15	自然観察	
16	4	1	東京大学農学部生物環境科学過程森林環境科学専修造林学研究室	0	2	0	0	2	2	「植木市」のための苗木分譲(下見)	
17	4	1	森林インストラクター東京会	0	0	0	20	20	20	樹木観察	
18	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	2	0	3	3	樹木の光屈性	
19	4	2	白梅学園短期大学保育科	1	22	0	0	23	45	関東近郊の森林における生物の観察	
20	4		その他一般見学者	0	0	0	652	652	652	林内見学	
21	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室	1	0	1	0	2	2	昆虫嗜好性線虫の侵入定着と遺伝的構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種類の影響	
22	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	2	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
23	5	1	一般	0	0	0	20	20	20	林内見学	
24	5	5	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	5	水滴の葉面付着が樹木の物質生産に与える影響	
25	5	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林	0	0	1	0	1	1	被子植物、裸子植物の花の観察	
26	5	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	57	57	65	植物観察	
27	5	1	練馬区立関町福祉園	0	0	0	25	25	25	林内見学	
28	5	1	西東京市立谷戸第二小学校	3	0	0	98	101	101	林内見学	
29	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	3	サクラてんぐ巢病に関する研究	
30	5	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	11	11	18	動物観察	
31	5	1	(社)小平市シルバー人材センター	0	0	0	60	60	60	樹木観察	
32	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科応用昆虫学研究室	3	29	4	0	36	36	農場基礎実習(昆虫採集等)	
33	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	0	2	0	0	2	2	全学体験ゼミナール	
34	5	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
35	5	1	道くさ会(森林勉強会)	0	0	0	23	23	23	林内見学	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
36	5	1	水彩研	0	0	0	13	13	13	林内見学	
37	5	1	讚美会	0	0	0	15	15	15	林内見学	
38	5	1	NPO法人南沢シュタイナー子ども園	0	0	0	67	67	67	林内見学	
39	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	0	1	0	0	1	1	全学体験ゼミナール	
40	5	1	絵手紙さざんかの会	0	0	0	14	14	14	林内見学	
41	5	1	東京大学農学部生物環境科学過程森林環境科学専修造林学研究室	0	6	0	0	6	6	「植木市」のための苗木分譲	
42	5	1	ホトギスの会	0	0	0	15	15	15	自然観察	
43	5	1	西東京市立ひばりが丘保育園	0	0	0	68	68	68	林内見学	
44	5	1	西東京市立ほうやちよう保育園	0	0	0	25	25	25	林内見学	
45	5	1	西東京市立西原保育園	0	0	0	53	53	53	林内見学	
46	5	1	東京大学大学院生圏システム専攻耕地生圏生態学研究室	0	0	1	0	1	1	都市部におけるマトリクス空間による鳥類相への影響	
47	5	1	一般	0	0	0	24	24	24	「子ども樹木博士」認定活動	
48	5	1	一般	0	0	0	20	20	20	林内見学	
49	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	1	Melaleuca cajuputiにおける沈水適応性の解明	
50	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	2	0	1	0	3	3	外生菌根菌群集の動態に関する研究	
51	5	1	東京大学農学部森林植物学研究室	2	14	0	0	16	16	森林植物学実験	
52	5		その他一般見学者	0	0	0	732	732	732		
53	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	1	0	1	0	2	6	外生菌根菌群集の動態に関する研究	
54	6	1	淡彩会	0	0	0	14	14	14	林内見学	
55	6	7	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	1	0	2	10	水滴の葉面付着が樹木の物質生産に与える影響	
56	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
57	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料物理学研究室	1	0	1	0	2	2	竹材の新しい接合方法に関する研究	
58	6	1	ディサービスエリカ	0	0	0	4	4	4	林内見学	
59	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	0	1	0	0	2	2	全学体験ゼミナール	
60	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	0	0	1	1	樹木の光屈性	
61	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	0	0	1	1	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性解析	
62	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	0	0	1	1	モデル樹木の増殖法の検討（造林学実験）	
63	6	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	58	58	58	植物観察	
64	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	サクラてんぐ巣病に関する研究	
65	6	1	東京大学農学部環境生物学専修 緑地植物実験所所属	0	1	0	0	1	1	都市緑地における蝶の生息に影響する要因	
66	6	1	西東京市立保谷第二小学校	15	0	0	0	15	15	西東京市立小学校教育研究会・理科部6月例会	
67	6	1	東京大学農学部森林植物学研究室	10	0	0	0	10	10	東京大学農学生命科学研究科技術職員連絡協議会会議	
68	6	2	東京大学農学部森林動物学研究室	1	15	2	0	18	36	森林動物学実験	
69	6	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	1	0	1	0	2	2	森林の構成樹種が菌類相に与える影響の解明	
70	6	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
71	6	2	東京大学大学院生圏システム専攻耕地生圏生態学研究室	0	0	1	0	1	2	都市部におけるマトリクス空間による鳥類相への影響	
72	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ類における材線虫病の発現機構の解明	
73	6	2	東京大学千葉演習林	1	0	0	0	1	2	樹木の生体防御システムに基づいた樹木治療技術の確立に関する研究	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
74	6	1	ホトギスの会	0	0	0	15	15	15	自然観察	
75	6	1	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	10	10	10	動物観察	
76	6		その他一般見学者	0	0	0	172	172	172	林内見学	
77	7	6	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	6	外生菌根菌群集の動態に関する研究	
78	7	7	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	1	0	2	8	水滴の葉面付着が樹木の物質生産に与える影響	
79	7	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	5	マツ類における材線虫病の発現機構の解明	
80	7	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	2	森林の構成樹種が菌類相に与える影響の解明	
81	7	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	60	60	60	植物観察	
82	7	1	ゆりの会	0	0	0	33	33	33	林内見学	
83	7	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	21	21	21	動物観察	
84	7	1	府中野草の会	0	0	0	11	11	11	林内見学	
85	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	0	0	1	1	樹木の光屈性	
86	7	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	1	0	0	0	1	1	マツ材線虫病の通水障害メカニズムの解明	
87	7	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
88	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	サクラてんぐ巣病に関する研究	
89	7	1	東京大学千葉演習林	1	0	0	0	1	1	ヒメコマツかさぶたがんしゅ病の発生生態と防除	
90	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室	1	0	2	0	3	5	昆虫嗜好性線虫の侵入定着と遺伝的構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種類の影響	
91	7	1	ホトギスの会	0	0	0	15	15	15	自然観察	
92	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
93	7	1	谷戸小学校施設開放運営協議会	0	0	0	30	30	30	林内見学	
94	7	1	東京大学農学部環境生物学専修 緑地植物実験所所属	0	1	0	0	1	1	都市緑地における蝶の生息に影響する要因	
95	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	1	Melaleuca cajuputiにおける沈水適応性の解明	
96	7		その他一般見学者	0	0	0	211	211	211	林内見学	
97	8	10	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	10	マツ類における材線虫病の発現機構の解明	
98	8	17	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	1	0	2	28	水滴の葉面付着が樹木の物質生産に与える影響	
99	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	0	0	1	2	樹木の光屈性	
100	8	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	21	21	21	動物観察	
101	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室	1	0	1	0	2	2	昆虫嗜好性線虫の侵入定着と遺伝的構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種類の影響	
102	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	3	外生菌根菌群集の動態に関する研究	
103	8	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	60	60	60	植物観察	
104	8	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	2	森林の構成樹種が菌類相に与える影響の解明	
105	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	2	環状剥皮による樹木の枯死経過について	
106	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	ナラ類異葉凋枯死における通水障害機構	
107	8	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
108	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
109	8	1	一般	0	0	0	33	33	33	林内見学	
110	8	1	一般	0	0	0	25	25	25	森林教室	
111	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	サクラてんぐ巢病に関する研究	
112	8	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	1	0	1	0	2	2	マツ材線虫病の通水障害メカニズムの解明	
113	8		その他一般見学者	0	0	0	268	268	268	林内見学	
114	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	4	外生菌根菌群集の動態に関する研究	
115	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	1	環状剥皮による樹木の枯死経過について	
116	9	1	ホトギスの会	0	0	0	15	15	15	自然観察	
117	9	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	60	60	60	植物観察	
118	9	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	1	森林の構成樹種が菌類相に与える影響の解明	
119	9	11	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	1	0	2	13	水滴の葉面付着が樹木の物質生産に与える影響	
120	9	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林研究部	17	0	0	0	17	17	全国演習林協議会技術職員情報交換会	
121	9	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	21	21	21	動物観察	
122	9	1	東京大学農学部環境生物学専修 緑地植物実験所所属	0	1	0	0	1	1	都市緑地における蝶の生息に影響する要因	
123	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
124	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	2	マツ類における材線虫病の発現機構の解明	
125	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	1	0	2	2	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性解析	
126	9	1	ナーブ関東	0	0	0	15	15	15	林内見学	
127	9	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
128	9		その他一般見学者	0	0	0	242	242	242	林内見学	
129	10	1	けやき学童クラブ	0	0	0	57	57	57	林内見学	
130	10	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	5	外生菌根菌群集の動態に関する研究	
131	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	2	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
132	10	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	20	20	20	植物観察	
133	10	1	東京大学教育学部中等教育学校	1	0	0	26	27	27	課題別学習「自然案内人になる」	
134	10	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	21	21	21	動物観察	
135	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	1	0	2	2	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性解析	
136	10	1	小平市立花小金井小学校	0	0	0	83	83	83	林内見学	
137	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	1	水滴の葉面付着が樹木の物質生産に与える影響	
138	10	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
139	10	1	多摩職業能力開発センター	0	0	0	1	1	1	押葉採集	
140	10	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	1	森林の構成樹種が菌類相に与える影響の解明	
141	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ類における材線虫病の発現機構の解明	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
142	10	1	東久留米市立第五小学校	0	0	0	89	89	89	林内見学	
143	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生産環境生物学応用昆虫学研究室	1	0	1	0	2	2	蝶の幼虫の調査	
144	10	1	西東京市生活環境部みどり公園課	0	0	0	80	80	80	林内見学	
145	10	1	自由学園初等部	0	0	0	43	43	43	林内見学	
146	10	1	西東京市立住吉小学校	0	0	0	90	90	90	林内見学	
147	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	0	6	0	0	6	6	全学体験ゼミナール	
148	10	1	NPO法人南沢シュタイナー子ども園	0	0	0	67	67	67	林内見学	
149	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻放射線植物生理学研究室	1	0	0	3	4	4	植物における水動態	
150	10	1	ホトギスの会	0	0	0	15	15	15	林内見学	
151	10	1	東京大学農学部環境生物学専修 緑地植物実験所所属	0	1	0	0	1	1	都市緑地における蝶の生息に影響する要因	
152	10		その他一般見学者	0	0	0	586	586	586	林内見学	
153	11	1	一般	0	0	0	13	13	13	「子ども樹木博士」認定活動	
154	11	1	一般	0	0	0	29	29	29	林内見学	
155	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	3	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
156	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	0	0	1	0	1	1	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性解析	
157	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	サクラてんぐ葉病に関する研究	
158	11	8	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	8	サクラの根株腐朽菌被害木の腐朽形状調査	
159	11	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	21	21	21	動物観察	
160	11	1	板橋区高齢者スポーツ大学同窓会	0	0	0	100	100	100	林内見学	
161	11	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	60	60	60	植物観察	
162	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻高分子材料学研究室	1	0	0	0	1	1	スギ木粉/ポリオレフィン複合材料のリサイクル特性	
163	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	0	5	0	0	5	5	全学体験ゼミナール	
164	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	1	森林の構成樹種が菌類相に与える影響の解明	
165	11	1	けやき学童クラブ	0	0	0	67	67	67	林内見学	
166	11	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
167	11	1	西東京市立田無小学校	0	0	0	105	105	106	林内見学	
168	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生物・環境工学専攻	1	1	2	0	4	4	森林土壌の二酸化炭素放出速度用試料採集	
169	11	1	自由学園幼児生活団幼稚園	0	0	0	26	26	26	林内見学	
170	11	1	東久留米市立さいわい保育園	0	0	0	32	32	32	林内見学	
171	11	1	一般	0	0	0	112	112	112	林内見学	
172	11	1	ホトギスの会	0	0	0	16	16	16	林内見学	
173	11	1	NPO法人にんじん畑	0	0	0	20	20	20	林内見学	
174	11		その他一般見学者	0	0	0	575	575	575	林内見学	
175	12	1	一般	0	0	0	10	10	10	落ち葉の下の生き物たち-土壌動物について-	
176	12	1	一般	0	0	0	82	82	82	林内見学	
177	12	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	60	60	60	植物観察	
178	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	0	5	0	0	5	5	全学体験ゼミナール	
179	12	1	私立柳橋保育園	0	0	0	23	23	23	林内見学	
180	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	0	1	0	2	2	木本植物のアルミニウム集積を伴う強力なアルミニウム耐性解析	
181	12	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
182	12	1	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	11	11	11	動物観察	
183	12		その他一般見学者	0	0	0	242	242	242	林内見学	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用者延べ数	利用目的	宿泊施設
184	1	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	60	60	60	植物観察	
185	1	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	21	21	21	動物観察	
186	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
187	1	1	一般	0	0	0	1	1	1	林内見学	
188	1	1	明成幼稚園	0	0	0	90	90	90	林内見学	
189	1	1	環境文化財保護協議会緑化専門委員会	0	0	0	12	12	12		
190	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	0	0	1	0	1	2	外生菌根菌群集の動態に関する研究	
191	1		その他一般見学者	0	0	0	225	225	225	林内見学	
192	2	1	東京大学大学院・農学生命科学研究科・森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
193	2	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	59	59	59	植物観察	
194	2	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	18	18	18	動物観察	
195	2	1	一般	0	0	0	1	1	1	植物観察	
196	2	1	東京大学大学院・新領域創成科学研究科・自然環境学専攻・自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	1	サクラの根株腐朽菌被害木の腐朽形状調査	
197	2	1	東京大学大学院・農学生命科学研究科・森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	サクラてんぐす病に関する研究	
198	2	1	東京大学大学院・農学生命科学研究科・森林植物学研究室	2	2	2	0	6	6	ポプラの枝の採取	
199	2	1	NPO法人南沢シュタイナー子ども園	0	0	0	56	56	56	親子遠足	
200	2		その他一般見学者	0	0	0	225	225	225	林内見学	
201	3	3	東京大学大学院・新領域創成科学研究科・自然環境学専攻・自然環境評価学研究室	0	0	1	0	1	3	サクラの根株腐朽菌被害木の腐朽形状調査	
202	3	1	東京大学大学院・農学生命科学研究科・森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	マツ材線虫病の細胞生理学的研究	
203	3	1	ホトギスの会	0	0	0	15	15	15	植物観察	
204	3	1	(株)地域開発コンサルタント	0	0	0	2	2	2	猛禽類調査	
205	3	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	53	53	64	植物観察	
206	3	2	東大農場・演習林の存続を願う会	0	0	0	12	12	18	動物観察	
207	3	1	西東京市立ひがし保育園	0	0	0	68	68	68	自然観察	
208	3	1	一般	0	0	0	1	1	1	植物観察	
209	3	1	西東京市立すみよし幼稚園	0	0	0	75	75	75	自然観察	
210	3	1	東京大学大学院・農学生命科学研究科・森林植物学研究室	0	0	1	0	1	1	サクラてんぐす病に関する研究	
211	3		その他一般見学者	0	0	0	334	334	334	林内見学	

利用者数合計 7,953
利用者延べ数合計 8,145
利用件数 211

研修

技術職員

研 修 名	開 催 機 関	開催月	参加人数
平成19年度技術職員等試験研究・研修会議	東京大学演習林	10	34
平成19年度新規採用職員(中途採用者)研修	東京大学	4	1
第10回関東甲信越地区演習林技術職員研修	宇都宮大学演習林	10	4
第14回東海地区農学部附属演習林技術職員研修	岐阜大学演習林	10	7
第16回九州地区農学部附属演習林技術職員研修	鹿児島大学演習林	10	2
中国・四国地区大学附属演習林技術職員研修	愛媛大学演習林	6	1
平成19年度東京大学教室系技術職員研修(樹木医学関係)	東京大学演習林	10	2
平成19年度京都大学フィールド科学教育研究センター技術職員研修	京都大学フィールド科学教育研究センター	10	4
平成19年度北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション技術職員研修	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	9	5
北海道地区国立大学法人等技術職員研修	国立大学法人北海道大学	7	2
北海道地区中堅係員研修	人事院北海道事務局	6	1
平成19年度メンタルヘルス講習会	東京大学	11	4
平成19年度第1回農学生命科学研究科技術職員総合研修	東京大学農学生命科学研究科	11	1
平成19年度第2回農学生命科学研究科技術職員総合研修	東京大学農学生命科学研究科	3	11

事務職員

研 修 名	開 催 機 関 等	開催月	参加人数
北海道地区課長補佐研修	人事院北海道事務局長	11	1

各種委員会報告

運営委員会

演習林規則第5条により設置されている演習林の管理及び運営に関する最高議決機関である。委員は、演習林の教授・助教授のほか、研究科長が推薦する研究科の教授又は助教授(10名以内)と事務部長であり、演習林長が委員長を務める。今年度は、2008年3月12日に開催した。

演習林会議

演習林長の諮問機関としての役割を持つ。毎月1回、原則として教授会開催日の前日に開催する。メンバーは講師以上の演習林教員である。今年度は都合11回開催した。

演習林編集委員会

「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行っている。原則として2ヶ月おきに開催し、2007年度はメールによる委員会を含め都合9回開催した。

事務主任会議

地方演事務主任相当職によって地方演における事務処理遂行上の問題点等について報告、意見交換を行う。原則として演習林長、研究部長、統括技術長も出席する。必要に応じて事務部の関係課長、係長も同席する。年1回、当初予算決定後に開催する。今年度は2007年7月24日に事務主任・技術主任合同会議として開催した。

技術職員等試験研究・研修会議

技術職員等による研究報告と情報交換、技術研修等を目的に年1回開催する。今年度は、2007年10月31日から11月1日にかけて秩父演習林で開催した。

技術主任会議

地方演技術職主任によって地方演における森林管理や技術職員組織に関わる諸問題について報告、意見交換を年1回行う。原則として演習林長、研究部長も出席する。今年度は2007年7月23、24日の2日間にわたって開催した。

科学の森ニュース編集委員会

広報誌「科学の森ニュース」の編集に当たっている。電子メールでのやりとりを中心にしながら、発行に合わせて編集委員会を開催している。2007年度は4回開催した。

ホームページ編集委員会

ホームページの編集を行っている。電子メールでのやりとりを中心にしながら、ホームページの更新に合わせて編集委員会を開催している。2007年度は22回開催した。

管理体制・業務検討WG

技術職員の業務内容を把握し業務の一層の改善につなげるために、2007年12月に技術職員の業務状況調査を試行した。2008年度は1年間の調査とする予定である。

教育研究安全衛生マネジメントシステム

2007年度より研究部および各地方演習林をそれぞれユニットとして教育研究安全衛生マネジメントシステムを実施した。各ユニットで安全衛生計画等の作成、定期的なミーティング、リスクアセスメントと対策の検討、安全衛生に関わる研修、講習を行った。担当者会議を3月13日に開催し、2007年度の結果と問題点を集約し、2008年度の方針について検討した。

広報情報室

広報情報室は演習林将来計画 2007 の検討結果を受け、東京大学演習林の「広報活動の整理・充実」と「試験記録データおよび生物情報の整備と公開」という2つの課題を担当するために2007年7月に研究部のもとに発足した。2007年度は活動初年度ということであったがこれまで各演や研究部でおこなってきた活動を中心に以下のような活動を行った。

1. 「科学の森ニュース」の編集・発行
2. 年報 2007(2006年度活動報告等)編集・発行
3. 学生募集用パンフレット「科学の森で学ぼう」の編集・発行
4. 書籍の発行・販売
5. 演習林報告、演習林の編集・発行
6. 科学の森教育研究センターHPの管理運営
7. 演習林ネットワーク関連業務、メールアドレス管理
8. 基盤データ整備実務
9. 利用者データの収集・管理体制の整備

10. 演習林概要の編集・発行

また、2007年度の活動として各演習林の協力の下、以下のような活動を企画・実施した。

1. 東京大学 130 周年記念公開講座

日時: 2007年9月1日(土)12時30分～9月2日(日)14時00分

宿泊: 埼玉県立大滝げんきプラザ

参加高校: 田園調布雙葉高校(3名), 神奈川県立城山高校(3名), 東京都立隅田川高校(先生1名のみ
の参加)

プログラム:

2007.9.1 荒川水系滝沢ダムの見学(水資源機構の方の案内), 樹木園散策, 荒川河川敷まで降りて河原
で観察, 地元の林業家のお話と交流, (星空観察は雨天のため中止)

2007.9.2 早朝探鳥会, 埼玉県立森林科学館見学(木馬体験等), 演習林入川林道沿いの人工林見学, モ
ノレール体験乗車

2. 地方演習林(研究部を含む)のシンボルカラーの選定

今後、全演的に作成する資料や各演で作成する資料ホームページなどで使ってもらうための各演のシンボ
ルカラーの選定を行った。

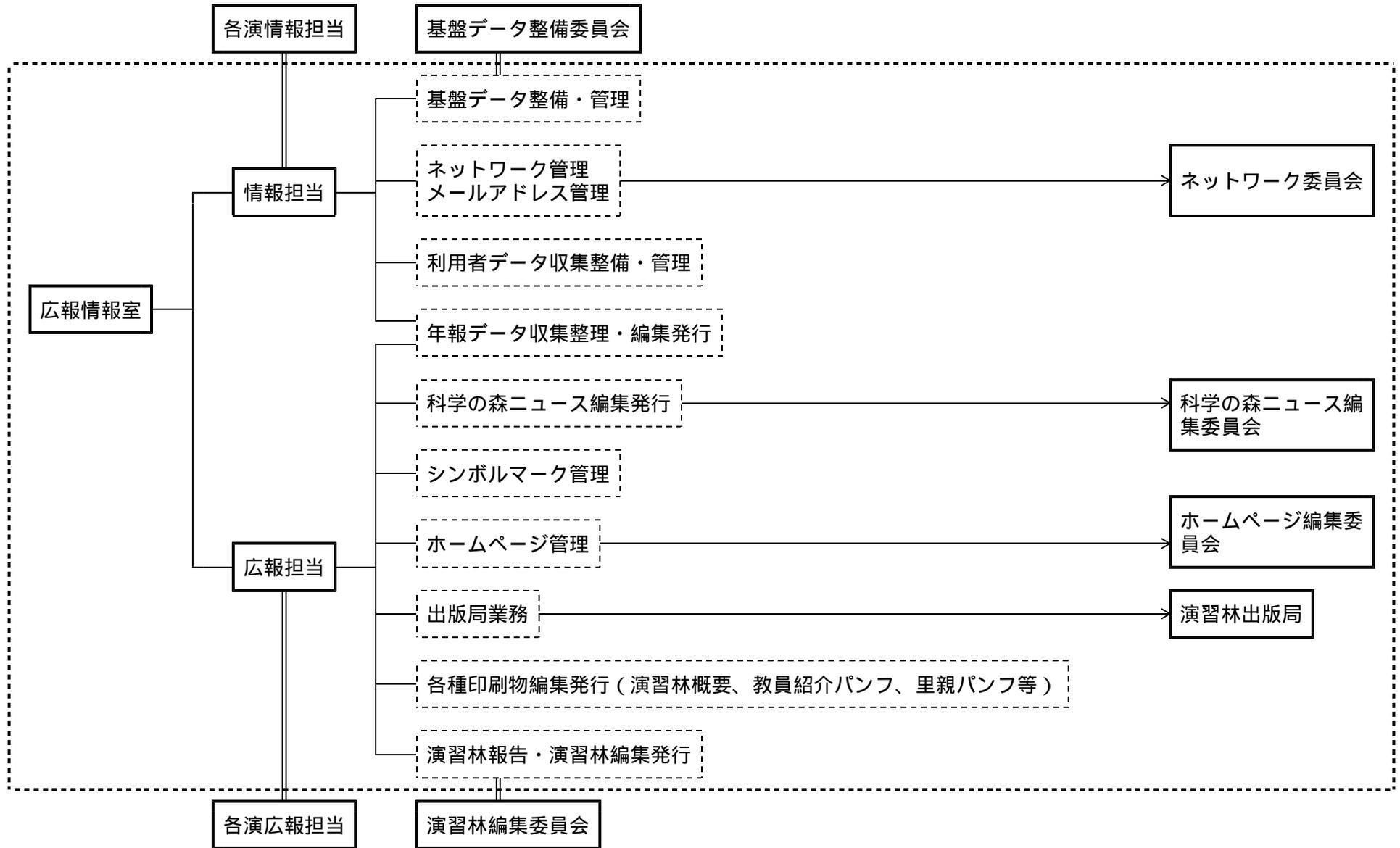
シンボルカラーのデータ

演習林	カラー	印刷用データ				画像用データ		
		C	M	Y	K	R	G	B
科学の森教育研究センター	緑	100	20	100	0	0	136	66
千葉演習林	萌黄色	50	20	100	0	151	166	30
北海道演習林	瓶覗	20	0	0	0	210	244	250
秩父演習林	秩父紅どうだん	10	100	70	0	216	6	59
愛知演習林	梔子色	10	40	80	0	236	165	23
富士演習林	瑠璃色	90	60	20	0	40	82	148
樹芸研究所	オレンジ	0	70	80	0	255	102	0
田無試験地	桜色	5	20	10	0	242	216	223
研究部	紺瑠璃	100	100	10	0	32	0	152

3. 里親制度パンフレットの表紙の原画募集

「子どもの描いた絵」を条件に原画の公募を行った。11件の応募があり、本部林長賞、研究部長賞、広報情
報室長賞の3件を選出した。選ばれた原画は次年度以降に作成するパンフレットに使用する予定。

演習林広報情報室の主な業務と各種委員会との関係



基盤データ整備委員会

研究フィールドとしての演習林の価値をよりいっそう高めることを目的に、さまざまな基礎的なデータの収集と提供を組織的に行うのが基盤データ整備委員会である。気象部門、生物部門、水文部門、固定試験地部門、GIS部門から構成する。

気象観測部門

各地方演習林協力の下、演習林における気象観測を継続し行った。2006年度は千葉4ヶ所、北海道2ヶ所、秩父4ヶ所、愛知3ヶ所、富士1ヶ所、樹芸2ヶ所、田無1ヶ所、合計17ヶ所であった。2007年度の気象担当者会議は5月16日に開催し、観測体制や機器整備方針を確認した。

なお、2007年の気象観測データは「演習林」48号(2009年1月発行予定)に2007年気象年報として掲載する。



生物部門

演習林基盤データ整備委員会【生物部門】は、(1)木本植物、(2)草本植物、(3)鳥類、(4)脊椎動物(鳥類を除く)、(5)昆虫類、の5つの分野についてデータの収集にあたっている。基本的には、これまでの情報の蓄積が多く、また調査を実施しやすい木本植物、草本植物、鳥類の3分野について先行してデータの収集・整備を進め、脊椎動物、昆虫類の2分野については本格的な調査実施に向けての予備情報の収集を進める方針で活動をおこなっている。2007年度に行った主な活動とその成果は以下の通りである。

(1) 木本植物分野および草本植物分野

演習林内に生育する維管束植物(自生種・導入植栽種)をリストアップし、さく葉標本を3点以上作成することを目標に資料の収集にあたっている。2007年度の活動状況は以下の通りである。

演習林名	調査 日数	調査 人員	標本 種数	標本 点数	その他
千葉	5	10			草本:調査日数 5日,調査人員 10人 木本:単独調査日数は0日,他業務中に 22種についてGPS,写真を計測,撮影
北海道	5	13	未整理	未整理	通常勤務中に40時間の踏査,写真撮影
秩父	3	5	24	161	デジタル写真16種52枚 通常業務中2日程度標本採取,写真撮 影
愛知	25	25	313	629	希少種1種は写真のみ
富士	3	7	39	182	デジタル写真47種117枚 通常業務中2日程度標本採取,写真撮 影
樹研	1	1	10	30	過去の採取分と重複するもの含む
田無	6	6	16	46	
全演習林合計	48	67	402	1,048	

(2) 鳥類分野

演習林でみられる鳥類のリストアップを目標に 2004年度から調査を継続してきている。2007年度の調査実施状況,確認種数は,以下の通りである(調査回数は,ラインセンサス,定点調査,任意調査等の合計)。

演習林名	調査回数	確認種数
千葉	88	57
北海道	15	77
秩父	27	48
愛知	31	57
富士	8	28
樹研	49	63
田無	11	32
全演習林合計	229	---



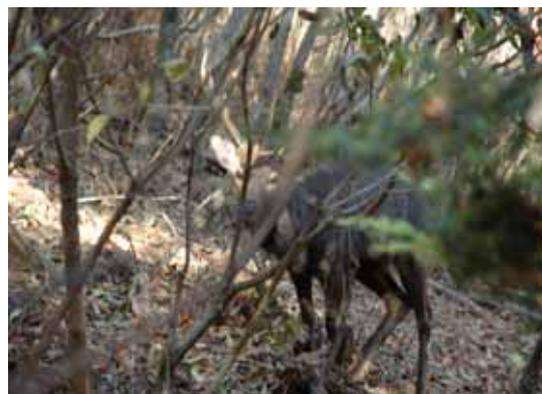
(3) 脊椎動物(鳥類を除く)分野

各演習林で過去の目撃記録や資料の洗い出し, 新たな目撃情報の収集などを行い演習林内に生息している脊椎動物のリストアップを行っている。各演習林の取り組み状況および成果は以下の通りである。

演習林名	取り組み状況
千葉	<ul style="list-style-type: none">・過去の資料を調べ, 脊椎動物リストを作成した。・通勤時や業務中に目撃した脊椎動物をチェック。・脊椎動物に絞った調査は実施せず。・シカ生息数調査を行った。
北海道	<ul style="list-style-type: none">・「目撃ノート」を作成し, 全職員から目撃記録を集めた。・リストアップは哺乳類のみにした。・試験的に自動撮影装置を使って行った(現在も実施中)。
秩父	<ul style="list-style-type: none">・哺乳類は鹿を主として生息数を把握した。・月1回のライトセンサスと10月に区画法調査を行った。
愛知	<ul style="list-style-type: none">・過去の資料を調べ, 脊椎動物リストを作成した。・目撃情報シートに目撃した動物をチェック。
富士	<ul style="list-style-type: none">・職員による特別な調査は実施せず。
樹研	<ul style="list-style-type: none">・職員による目撃情報を記録した。・リストを作成した。・シカ生息数調査を行った。・センサーカメラによる動物出現記録を開始(2007年度から)した。
田無	<ul style="list-style-type: none">・これまでに市民グループおよび環境アセスメント調査により確認された種の洗い出しを行い, まとめた。・脊椎動物に特化した調査は実施せず。



シカ生息状況調査(打合せ)



調査区画内で目撃したシカ()

(4) 昆虫類分野

各演習林で過去の目撃記録や資料の洗い出し、新たな目撃情報の収集などを行い演習林内に生息している昆虫類のリスタップを行っている。

2007年度は11月7～9日に田無試験地で担当者の会議と研修会を行い、2008年より全演習林において、ピットホールトラップを用いたオサムシ科の甲虫相調査を実施することを決めた。各演習林の取り組み状況および成果は以下の通りである。

演習林名	取り組み状況
千葉	・職員による特別な昆虫類調査は実施せず。
北海道	・水系調査の中で、沢に生息する水生昆虫類の調査を実施した。 ・トビケラ目について北海道演習林より既知種13種、新種(タイプロカリティではない)2種、秩父演習林より3既知種、千葉県より1新種(タイプロカリティではない)を確認。
秩父	・職員による特別な昆虫類調査は実施せず。
愛知	・職員による特別な昆虫類調査は実施せず。
富士	・職員による特別な昆虫類調査は実施せず。
樹研	・職員による特別な昆虫類調査は実施せず。
田無	・職員による特別な昆虫類調査は実施せず。

なお、水生昆虫類調査に関連したものとして以下の報告を行った。

Ayuko Ohkawa and Toshio Hattori (2007): The Caddisflies (Trichoptera) of the University Forest in Hokkaido, the University of Tokyo. I. Rhyacophilidae. Proceedings of the XIIth International Symposium on Trichoptera, June 18-22, 2006, Bueno-Soria, J., R. Barba-Álvarez, and B. Armitage (Editors), pp. 263-274. The Caddis Press.

Ayuko Ohkawa and Tomiko Ito (2007): The genus *Plectrocnemia* Stephens of Japan (Trichoptera; Polycentropodidae). Limnology 8:183-210.

水文観測部門

量水観測は多年にわたり観測を継続して初めて精度への信頼度が得られ、研究トピックの範囲も広くなるという性質がある。例えば、極めて長期に観測すれば植生遷移にともなう水収支の変動や降雨・流出系での応答関係の変化を追跡することが可能となる。また、突発的に派生する、山火事や生物害やマスウエイスティングなどによる流域の生態系の激変などは、研究トピックとして重要なイベントであるといえる。また、東京大学の7つの地方演習林で植生・地質・気候の相違は、水収支や降雨・流出応答関係の比較研究の興味深い対象であり、短期間でも精度の高いデータが得られればこの比較研究はかなりの部分が達成可能である。

さて、広範な水文関連の観測項目のうち、量水観測データを基盤データとして整備することがこの部門の目的とするところである。愛知演習林の量水観測を例にして、観測データについて概要を説明したい。

愛知演習林では、大流域として、3流域、小流域として2流域(さらにその内部流域での水位観測を含む)で構成し、それぞれにデジタル記録とアナログ記録(バックアップ用)を収集している。

水位は、ベルヌーイ式を基本に変形された土研公式を使用して流量に換算している。流量は、雨量と同様の単位である mm/day mm/5min などにまとめられ整理している。雨量は、気象部門で整理されている CR10X の雨量を欠測値の補充に充てている。量水観測とセットで概ね流域の出口（即ち量水堰堤近傍）に CR10X とは別に雨量計を設置している。基本的なデータは、雨量・水位とも5分間隔データであり、公表は、日単位データである。量水観測の精度維持上の要点は、土砂の不定期な排出作業にある。また、精密機械である水位計の精度劣化などの問題があり、愛知演習林では、最短で1週間毎にポイントゲージで水位のチェックを実施している。

千葉・北海道・秩父・樹芸の各地方演習林にも試験流域を設定しており、地方演習林単位でデータの整備を行っている。特に、豪雨による引き起こされる土砂の流入の問題で欠測を余儀なくされ、その欠測期間が長期化する問題をいずれのサイトでも抱えているといえる。この問題への対応は各地方演習林への努力に期待せざるを得ず、負担を強いるケースが今後増えていくことになろう。

固定試験地部門

東京大学の7地方演習林は数多くの試験地を設定し、測定を行っている。固定試験地部門では、まず各演習林にある試験地の全容を把握し、そのうえで蓄積されているデータのデータベース化や一元管理体制の構築をめざすことにしている。2007年度はその第一歩として各演習林にある試験地のリストアップを行い、800箇所を超える試験地が存在し、その多くが現在も測定を続けている実態をまとめた。

GIS部門

演習林基盤データ整備委員会 GIS部門は2007年度から新たに設置された部門である。はじめに、演習林におけるGIS(Geographic Information System, 地理情報システム)の導入状況を把握するため、2007年7月に各地方演習のGIS担当者を対象としたアンケート調査を実施した。本調査の結果を踏まえ、GIS部門の活動方針として、ハード/ソフトウェアの整備、GISオペレータの育成、GISデータの整備、の3つを設定した。

活動方針 に関しては、愛知と田無にGIS用パソコンを各1台導入した。また、GISデータのバックアップ体制を各地方演習で整備することとした。

活動方針 に関しては、2007年11月13～15日に北海道演習林でGIS技術の内部研修会を実施した。中川雄二技術職員(北海道)が講師となり、各地方演習のGIS担当者がGISソフトウェア(ArcGIS)の基本操作やGISデータの作製について研修を行った。また、尾張敏章講師(北海道)が「国内外の大学演習林におけるGIS利用の現状」について、藤原章雄助教(秩父)が「広報情報室としてのデータ整備・管理の構想とGISの役割」について、それぞれ講演を行った。

活動方針 に関しては、GIS技術研修会の実習として、各地方演習の林班界のGISデータ(ポリゴン)を作製した。また、この林班界データをもとに各地方演習の管理業務実行位置図を作製し、「演習林年報2007」に掲載した。さらに、各地方演習が保有する大判紙図面のスキャニング作業を北海道演習林で行った。

安全衛生

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施、あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備している。

安全・防災のための講習会等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
新規採用職員対象安全衛生講習会	東京大学	4	2
労働安全マネジメントシステム説明会	東京大学	6	19
第1回森林管理に係る安全衛生講習(広葉樹伐倒作業)	東京大学	2	18
応急手当(止血・三角巾の使用法・固定・搬送)	北海道演習林	4	36
エピペン講習(エピペンの使用方法等)	北海道演習林	6	41
林内安全衛生研修(林内歩行・機器等の使用法)	北海道演習林	11	36
交通安全講習(冬道走行等について:講話・ビデオ)	北海道演習林	11	40
スノーモビル実技研修(エンジンのかけ方・走行体勢・走行方法・スタック脱出方法・使用後の手入れ等)	北海道演習林	1	31
モノレール操作講習	秩父演習林	5	2
安全教育および救命救急講習会	秩父演習林・富士演習林・秩父消防署	6, 11	14
消火訓練	秩父演習林・富士演習林	11	13
自動車の安全操作	秩父演習林	3	8
普通救命講習	愛知演習林	12	20

資格取得のための講習等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
安全衛生推進者	社団法人北海道労働基準協会連合会	2	1
玉掛け技能者	北海道労働局長登録教習機関有限会社労災防止センター	4	5
小型移動式クレーン運転士	北海道労働局長登録教習機関有限会社労災防止センター	4	6

研 修 名	開 催 機 関 等	開 催 月	参 加 人 数
車両系建設機械運転技能者(整地等)	北海道労働局長登録教習機関北海道教習所KK日立建機教習センター北海道教習所	2	1
安衛則第36条第8号伐木作業等特別教育(チェーンソー使用等)	東京大学北海道演習林	2,3	28
甲種防火管理者	上川南部消防事務組合消防長	11	2
危険物取扱者(乙種4類)(写真の書換えH29.10.9まで)	北海道知事	10	1
木材加工用機械作業主任者技能講習	林業・木材製造業労働災害防止協会	7	1
小型車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)特別教育	江南クレーン技能教習所	3	2

災害統計

2007年度は2006年度に比べて、災害発生件数は35件から28件とやや減少、ヒヤリハットは半分以下に大幅に減少した。重大災害、休業災害は引き続いて発生していない。しかしながら、災害件数はまだ多く、さらに重大災害になりかねない災害、ヒヤリハットが発生したことから、今後も安全衛生対策を強化する必要がある。

災害ではハチ刺されが大半で、次にナタによる切創、チェーンソー作業中の枝条等による事故であった。ヒヤリハットでは、転倒特にスノーモビル関係が目立ち、枝の飛散、落下、材の予期しない転がりも多かった。発生した災害、ヒヤリハットについては安全衛生マネジメントシステムの中で分析し、安全衛生の向上に努めている。

	教職員	学生	その他
重大及び休業災害(4日以上)	0件	0件	0件
休業災害(4日未満)	0件	0件	0件
不休災害	26件	2件	0件
災害合計	26件	2件	0件
設備災害	0件		
ヒヤリハットなど	26件	0件	0件

山火事予防活動

演習林名	名 称	開 催 場 所	日 程	参加人数
北海道	林野火災予防強調期間中の林内巡視及び日直	北海道演習林一円	2007.4.21～5.31	45

人事異動

日付	異動	新職名	氏名	旧職名
2007. 4. 1	昇任	附属演習林千葉演習林講師	廣嶋 卓也	
"	配置換	附属演習林秩父演習林助教	鈴木 牧	附属演習林千葉演習林助手
"	職名変更	附属演習林研究部准教授	鎌田 直人	同助教授
"	職名変更	附属演習林愛知演習林准教授	芝野 博文	同助教授
"	職名変更	附属演習林研究部助教	浅野 友子	同助手
"	職名変更	附属演習林研究部助教	安村 直樹	同助手
"	職名変更	附属演習林千葉演習林助教	池田 裕行	同助手
"	職名変更	附属演習林千葉演習林助教	山中 征夫	同助手
"	職名変更	附属演習林北海道演習林助教	宮本 義憲	同助手
"	職名変更	附属演習林秩父演習林助教	藤原 章雄	同助手
"	職名変更	附属演習林富士演習林助教	山本 清龍	同助手
"	職名変更	附属演習林田無試験地助教	坂上 大翼	同助手
"	職名変更	附属演習林田無試験地助教	前原 忠	同助手
"	昇任	附属演習林千葉演習林技術専門員	永島 初義	附属演習林千葉演習林技術専門職員
"	昇任	附属演習林北海道演習林技術専門員	廣川 俊英	附属演習林北海道演習林技術専門職員
"	昇任	附属演習林千葉演習林技術専門職員	米道 学	附属演習林千葉演習林技術職員
"	昇任	附属演習林秩父演習林技術専門職員	高野 充広	附属演習林秩父演習林技術職員
"	採用	附属演習林北海道演習林技術職員	大川 あゆ子	
"	再雇用	附属演習林秩父演習林技術職員	佐々木 和男	
"	再雇用	附属演習林北海道演習林技術職員	五十嵐 秀雄	
"	勤務換	附属演習林北海道演習林技術専門職員	五十嵐 勇治	附属演習林秩父演習林技術専門職員
"	勤務換	附属演習林北海道演習林技術職員	福岡 哲	附属演習林千葉演習林技術職員
"	勤務換	附属演習林秩父演習林技術職員	算用子 麻未	附属演習林千葉演習林技術職員
2007. 4. 16	採用	附属演習林愛知演習林助教	田中 延亮	
2007. 5. 1	配置換	大学院新領域創成科学研究科教授	山本 博一	附属演習林研究部教授
"	命	附属演習林研究部長	下村 彰男	

日付	異動	新職名	氏名	旧職名
2007. 5. 1	免		山本 博一	附属演習林研究部長
2007. 6. 1	兼務	附属演習林研究部教授	山本 博一	大学院新領域創成科学研究科教授
"	命	附属演習林研究部長	山本 博一	
"	免		下村 彰男	附属演習林研究部長
2007. 6.15	育児休業		浅野 友子	附属演習林研究部助教
"	臨時的採用	附属演習林研究部助教	陳 鐘善	
2007. 7. 1	勤務換	附属演習林研究部技術専門職員	大村 和也	附属演習林秩父演習林技術専門職員
"	勤務換	附属演習林千葉演習林技術専門職員	大石 諭	附属演習林北海道演習林技術専門職員
2007. 7.16	昇任	附属演習林樹芸研究所准教授	鴨田 重裕	同講師
2007. 8.20	育児休業		深谷 仁子	総務課附属演習林秩父演習林事務室一般職員
2007. 9. 1	臨時的採用	総務課附属演習林秩父演習林事務室一般職員	福島 東子	同事務補佐員
2007.11.14	任期滿了退職		陳 鐘善	附属演習林研究部助教(臨時的採用)
2007.11.15	職務復歸	附属演習林研究部助教	浅野 友子	
2007.11.16	昇任	附属演習林北海道演習林准教授	後藤 晋	同講師
2007.12. 1	採用	附属演習林秩父演習林助教	齋藤 暖生	
2007.12.16	採用	附属演習林千葉演習林助教	井上 広喜	
2008. 3.31	定年退職		加藤 正勝	総務課附属演習林愛知演習林事務室係長
"	定年退職		山本 親男	総務課附属演習林樹芸研究所事務室係長
"	定年退職		春田 まち子	総務課附属演習林愛知演習林事務室主任

予算配分と収入

予算配分

運 営 費	:	303,689	千円	
特 殊 要 因	:	6,525	千円	借地料・下水道負担金
<hr/>				
小 計		310,214	千円	

収入

林産物収入	:	120,459	千円	
損害賠償金	:	27,982	千円	
奨学寄付金	:	1,140	千円	科学の森里親制度による分
<hr/>				
小 計		149,581	千円	

演習林林産物収入細分表

区 分	立 木	素 材	そ の 他			合 計
			ヒサカキ	苗 木	残材等	
千葉演習林	155.960 m ³	69.100 m ³	32 束	300 本		4,642,456 円
	984,000 円	3,630,616 円	27,840 円	34,000 円		
北海道演習林	23,226.53 m ³	2,456.637 m ³				115,305,905 円
	60,163,550 円	55,115,992 円			26,363 円	
秩父演習林	2.350 m ³					1,155 円
	1,155 円					
愛知演習林	304.410 m ³					475,000 円
	475,000 円					
合 計	23,689.25 m ³	2,525.737 m ³	32 束	300 本		120,458,516 円
	61,623,705 円	58,746,608 円	27,840 円	34,000 円	26,363 円	

残材等：森林の市で販売した年輪測定済み円板，松ぼっくり，1m未満の丸太など

組織図

本部

組織(主任職員)		配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
演習林長	教授 下村 彰 男		
研究部			
部長	教授 山本 博 一	教授 石橋 整 司(兼)	
統括技術長	技術専門員 荒木 田 義 隆	准教授 鎌 田 直 人	
		講師 鴨 田 重 裕(兼)	
		助教 安 村 直 樹	
		助教 浅 野 友 子	
		(産休)	
		助教 陳 鍾 善	
		(代替教員)	
		技術専門職員 大 村 和 也	
		2007.7.1から	
		技術職員 相 川 美 絵 子	
		事務部附属施設総務係主任	
		池 田 美 智 子	
農学系事務部			
事務部長	井上 幸 太 郎	附属施設担当専門員	
総務課長	米 谷 栄 治	原 島 二 美 雄	
経理課長	川 口 安 名		
教務課長	平 野 榮 三		
		他事務部各係	

研究部 研究員・学生等

学 生 等	氏 名
リサーチフェロー	浅井 英 一 郎
農学特定研究員	佐竹(秋廣) 敬 恵
農学特定研究員	陳 鍾 善
大学院研究生	村田 政 穂
大学院研究生	堀 真 人
博士3年	トリフコピッチ・スタンコ
博士2年	王 清 春
修士2年	中村 麻 祐 子
修士2年	澤 畠 薫
修士1年	佐藤 樹 里
修士1年	中馬 美 咲
修士1年	石塚 航
修士1年	植村 卓 哉

千葉演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長 林長補佐	教授 講師	山田利博 廣嶋卓也 2007.4.1から				
教育研究主任 主査 技術主任	助教 技術専門職員	山中征夫 根上昌久 鶴見康幸 2008.3.31まで				
事務係	事務室係長 事務室主任 事務室主任	根上昌久 野山智 田山勝則	一般係員	石野裕昭		
宿泊管理係	技術専門職員	永島初義			臨時用務員 技能補佐員 技能補佐員	糟谷育代 鈴木俊江 行方和子
森林管理係	技術専門職員	鶴見康幸 2008.3.31まで	技術職員	三次充和 2007.4.1から専任		
施設係			一般係員	石野裕昭		
企画調整係	技術専門職員	村川功雄 2008.3.31まで	技術職員	三次充和 2007.4.1から併任		
生産販売係 土木係	技術専門職員 技術専門職員 技術専門職員	山中千恵子 大石諭 2007.7.1から 鈴木祐紀 2007.6.30まで	技術職員	藤平晃司 2007.7.1から併任		
造林係	技術専門職員	大塚明宏	技術職員	塚越剛史		
試験係	助教	池田裕行 2007.4.1から	助教	井上広喜 2007.12.16から		
資料管理係	講師	廣嶋卓也 2007.4.1から	技術職員	軽込勉 2007.4.1から		
清澄作業所	技術専門職員	永島初義	技術職員	塚越剛史	技能補佐員 技能補佐員	唐鎌勇 富川勲
札郷作業所	技術専門職員	鈴木祐紀 2007.7.1から専任	技術職員 技術職員	藤平晃司 2007.7.1から 阿達康真	技能補佐員 技能補佐員 技能補佐員	粕谷善廣 長谷川二郎 2007.4.1から
郷台作業所	技術専門職員	米道学	技術職員 技術職員	里見重成 軽込勉 2007.4.1から併任	技能補佐員 技能補佐員 技能補佐員	黒川よし子 2007.4.1から 宮原はな 2007.4.1から 岡田康則 2007.4.1から

北海道演習林

組織（主任職員）		配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林長	教授 梶 幹 男		
林長補佐	准教授 後 藤 晋 2007.11.16昇任		
主査(総務担当)	堀 内 正		
技術主任	技術専門職員 犬 飼 浩		
教育研究主任	助教 宮 本 義 憲		
庶務係	係長 岡 田 教 和	主任 大 屋 裕 子 主任 天 山 学 主任 木 船 聡	事務補佐員 穴 澤 三 恵 子
会計係	係長 米 田 久 和	主任 横 山 和 宏	事務補佐員 伊 原 悦 子
資産管理係	係長 堀 内 正(兼)	主任 堀 内 正(兼)	臨時用務員 荻 原 敬 子
営繕係		大 川 あ ゆ 子	
企画調整係	技術専門職員 井 口 和 信 2008. 3.31まで		
阿 呂 川 林 業 工 作 所	技術専門員 廣 川 俊 英		技能補佐員 稲 葉 文 吉 技能補佐員 岡 本 ヒ サ ヨ
狸 田 山 林 業 工 作 所	技術専門職員 松 井 理 生	技術職員 岡 平 卓 巳	
生 産 敷 元 林 業 工 作 所	技術専門職員 岡 村 行 治		事務補佐員 吉 田 幸 子 事務補佐員 藤 島 ノ ブ 子
土木生産係(土木担当)主任	技術専門職員 平 田 雅 和	技術専門職員 大 石 諭 2007. 6.30まで 林業作業員 飯 沼 利 雄	
土木生産係(生産担当)主任	技術専門職員 笠 原 久 臣	技術専門職員 宅 間 隆 二 技術専門職員 磯 崎 靖 雄 技術職員 福 岡 哲 2007. 4. 1から 技術職員 及 川 希 技術職員 五 十 嵐 秀 雄	技能補佐員 千 徳 勝 洋
森林技術係		教授 梶 幹 男 准教授 後 藤 晋 2007.11.16から 講師 尾 張 敏 章 助教 宮 本 義 憲	
試験係			
東山作業所主任	技術専門員 道 上 昭 夫(兼)		
事務係		道 上 昭 夫(兼)	
山麓作業所主任	技術専門職員 井 口 和 信(兼) 2008. 3.31まで		
調査第一係主任	技術専門職員 福 士 憲 司	技術専門職員 五 十 嵐 勇 治 2007. 4. 1から 技術職員 小 池 征 寛 技術職員 丹 羽 悠 二 技術職員 犬 飼 慎 也	
調査第二係主任	技術専門職員 木 村 徳 志	技術専門職員 清 水 目 元 一 技術職員 中 川 雄 治 技術職員 高 橋 功 一 技術職員 遠 國 正 樹	
山部樹木園主任	技術専門員 道 上 昭 夫	技術職員 小 川 瞳 自動車運転手 大 屋 一 美	技能補佐員 内 芝 和 江 技能補佐員 安 藤 佳 子 技能補佐員 佐 藤 裕 子 技能補佐員 中 坪 優 子
セミナーハウス	施設長 梶 幹 男	岡 田 教 和(兼)	技能補佐員 山 本 八 十 子 技能補佐員 飯 沼 芳 子 臨時用務員 矢 吹 喜 市 臨時用務員 米 澤 京 子

秩父演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	教授 石橋整司				
事務室係長	事務職員 大村栄	一般係員	深谷仁子	臨時用務員	笠原美津子
事務室主任	事務職員 渡邊幸司	一般係員	本橋雅人		
教育研究主任	助教 藤原章雄	助教	鈴木牧		
技術主任	技術専門職員 芝野伸策	技術職員	大畑茂		
		技術職員	佐々木和男		
森林施業系主任					
	技術専門職員 齋藤俊浩				
森林計画係	技術専門職員 齋藤俊浩(兼)	技術職員	算用子麻未 2007.9.30まで		
森林管理係	技術専門職員 芝野伸策(兼)	技術職員	吉田弓子		
栃本作業所主任					
	技術専門職員 栗田直明	技術専門職員	西山教雄	臨時用務員	小河洋子
		技術職員	神塚武一	臨時用務員	山中隆平
				臨時用務員	山中ミヤ子
大血川作業所主任					
	技術専門職員 栗田直明(兼)	技術専門職員	西山教雄(兼)		
		技術職員	神塚武一(兼)		
影森苗畑主任	技術専門職員 高野充広				
利用促進系主任					
企画調整係	技術専門職員 才木道雄			事務補佐員	福島東子
資料管理係	技術専門職員 大村和也 2007.6.30まで				
	技術専門職員 才木道雄(兼) 2007.7.1から	技術職員	算用子麻未 2007.10.1から		

愛知演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	助教授 芝野博文				
事務係	事務室係長 加藤正勝	事務室主任	春田まち子		
教育研究主任	講師 蔵治光一郎	助教	田中延亮		
技術主任	技術専門員 渡部賢				
技術係長森林管理系					
	技術専門職員 後藤太成				
森林計画係	技術専門職員 井上淳	技術専門職員	荒木田きよみ (兼)		
森林管理係	技術専門職員 井上淳(兼)	技術職員	高德佳絵	技能補佐員	熊谷喜美子
赤津研究林	技術専門職員 後藤太成(兼)	技術専門職員	井上淳(兼)	技能補佐員	大川くに子
		技術職員	高德佳絵(兼)	技能補佐員	胡桃沢清
		技術専門職員	荒木田きよみ (兼)	技能補佐員	胡桃沢晃子
				技能補佐員	原孝秀
				技能補佐員	波多野八重子
				技能補佐員	水野信代
犬山研究林	技術職員 高德佳絵(兼)			技能補佐員	亀井弘光
東山・穴の宮試験地					
	技術専門職員 澤田晴雄(兼)	技術職員	高德佳絵(兼)		
新居試験地	技術専門職員 澤田晴雄(兼)			技能補佐員	近藤よし江
技術係長利用促進系					
	技術専門員 澤田晴雄				
企画調整係	技術専門職員 澤田晴雄(兼)	技術職員	高德佳絵(兼)		
試験係	技術専門職員 荒木田きよみ	技術職員	高德佳絵(兼)		

富士演習林

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長 教授 石橋整司(兼)		
教育研究主任 助教 山本清龍		
	技術職員 千島茂	臨時雇用職員 高村洋子

樹芸研究所

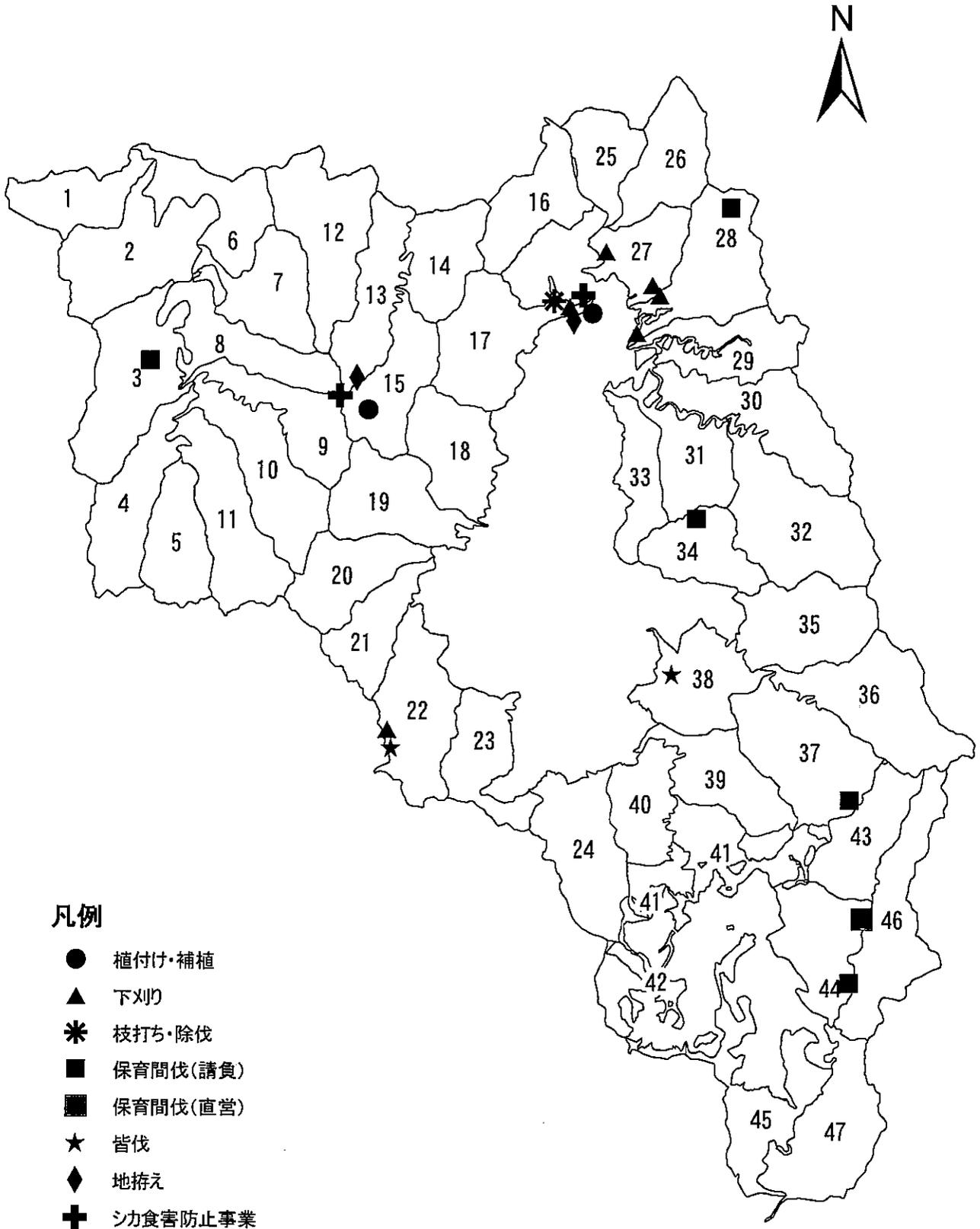
組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
所長 准教授 鴨田重裕		
事務係 事務室係長 山本親男		
技術主任 技術専門職員 渡邊良広		
試験係	技術専門職員 渡邊良広 技術専門職員 村瀬一隆 技術専門職員 辻和明(兼) 技術職員 辻良子	技能補佐員 須藤和子 技能補佐員 土屋福江
調査係主任 技術専門職員 渡邊良広(兼)		
青野作業所主任 技術専門職員 辻和明		技能補佐員 大島浩子 技能補佐員 高橋誠

田無試験地

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
試験地主任 准教授 鎌田直人(兼)		
教育研究主任 助教 前原忠	助教 坂上大翼	
技術主任 技術専門職員 千嶋武	技術職員 岩本則長	事務補佐員 石浦恭子 技能補佐員 川田米子 技能補佐員 前田克人

■管理業務実行位置図■

千葉演習林



凡例

保育

- ★ 枝打ち(直営)
- ◇ 蔓切り・除伐(請負)

保育 下刈り

- 直営
- ▲ 請負
- 直営・請負

請負地況

- +

虫害等防除

- 野鼠予察
- 毒餌散布

植え付け・播種

- ✚ 請負
- ✱ 直営

育苗・苗木生産

- ★ 苗木生産
- ◇ 種子採取

樹木園等整備

- 樹干除伐

林況調査

- ⊕ 第1作業級
- ⊕ 第2作業級

立木採

- 素材
- ▲ 立木
- 計画外

立木伐採単木

- ① 広葉樹

車道修繕

- 車道修繕
- 直営
- 請負

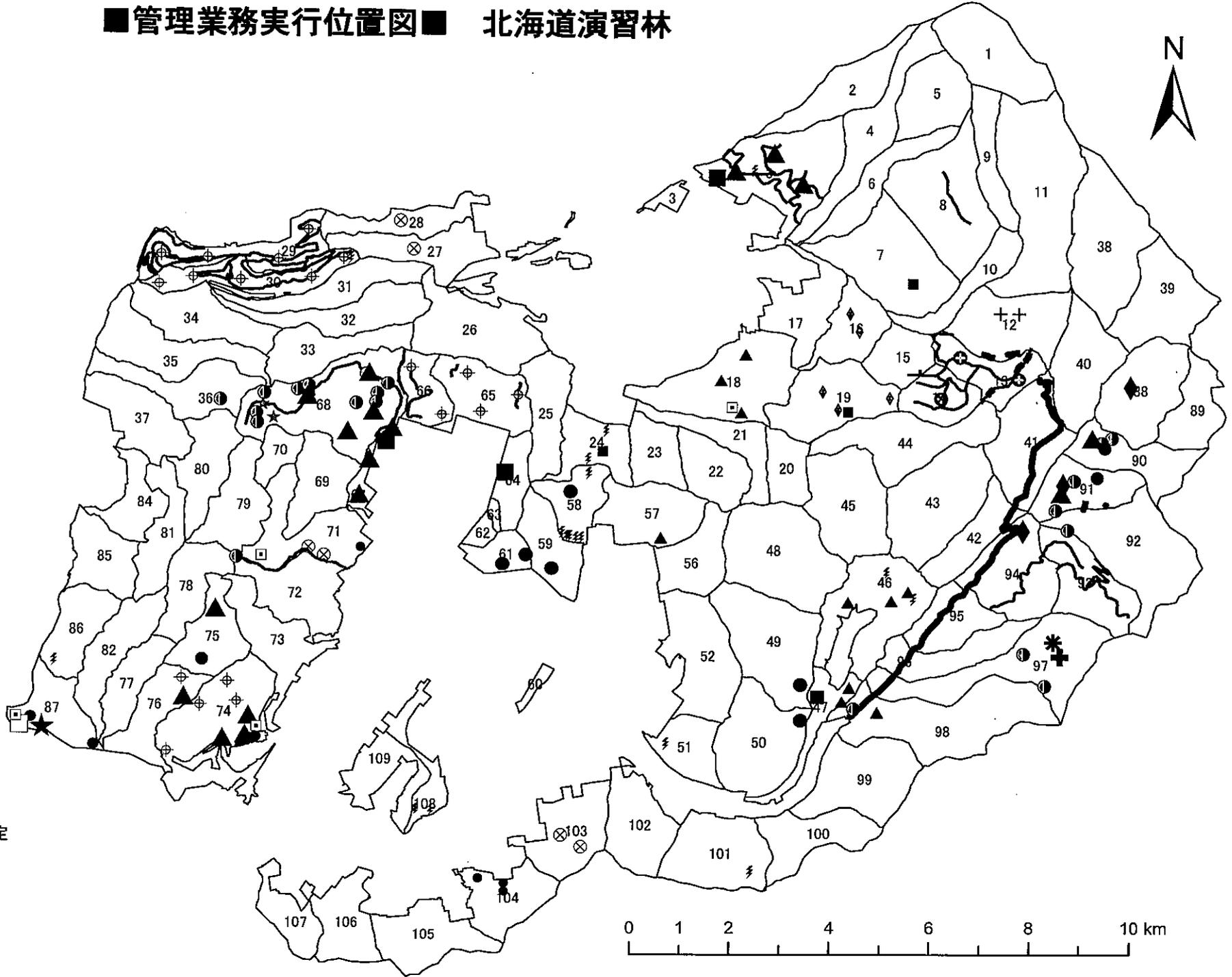
天然林成長量試験地測定

- ⊗ 検定
- ⚡ 測定
- 測定・検定

育苗試験地測定

- 育苗試験地測定

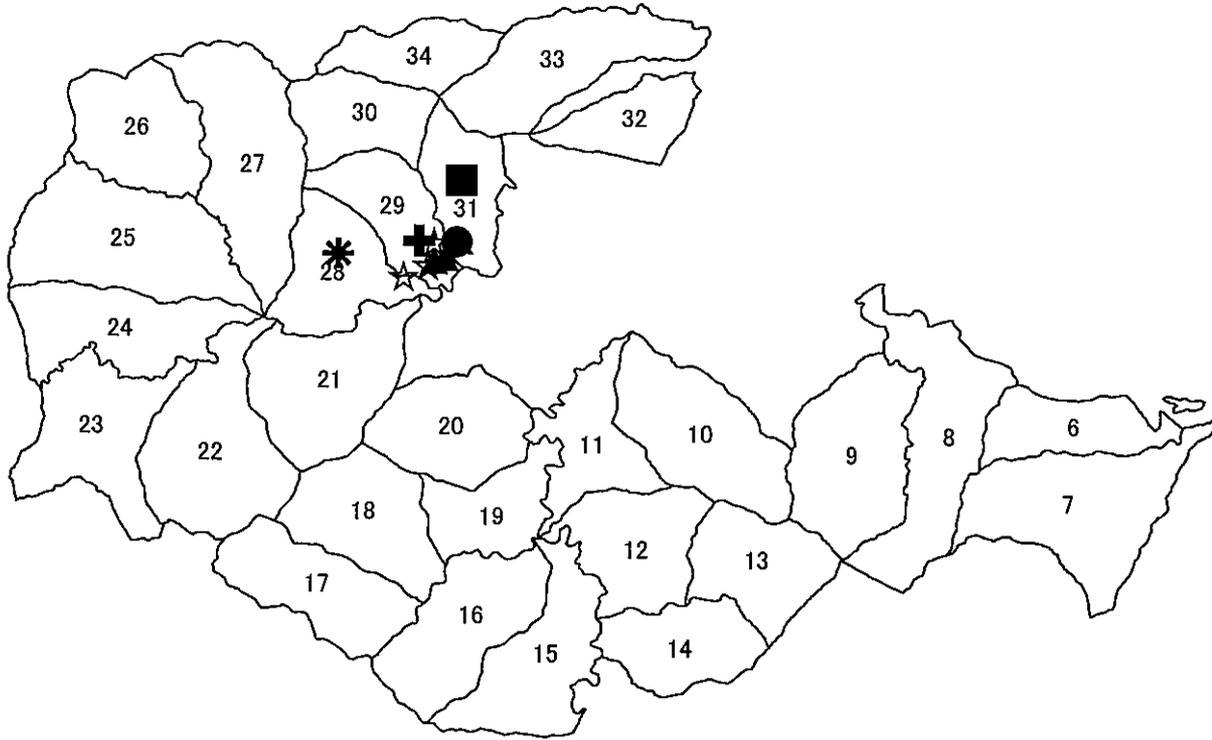
■管理業務実行位置図■ 北海道演習林



■管理業務実行位置図■ 秩父演習林

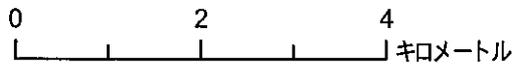


栃本

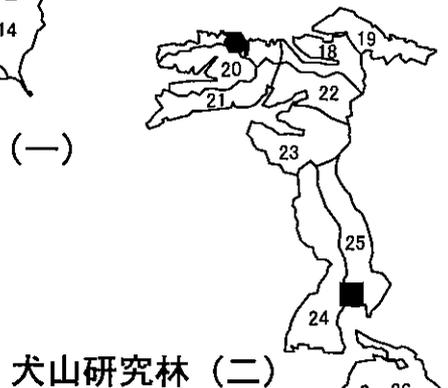
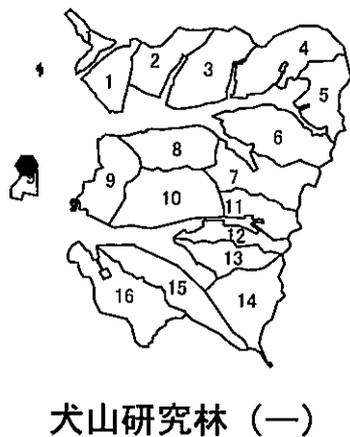
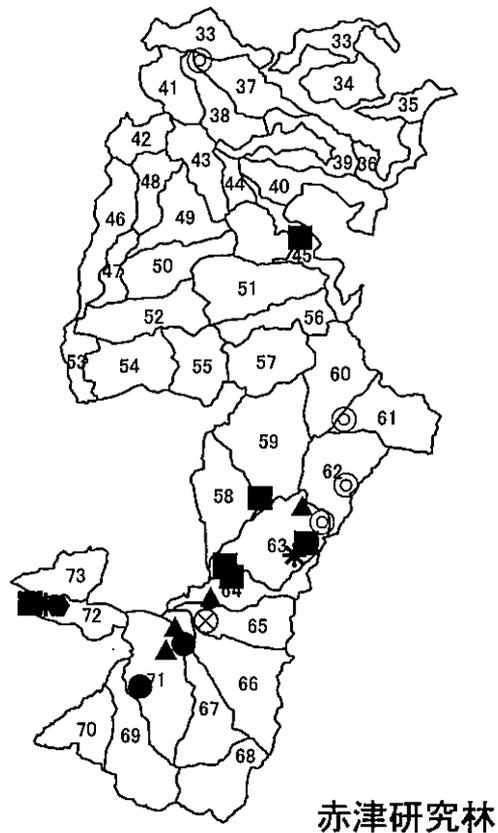


凡例

- 植付
- ◎ 補植
- ▲ 下刈
- * 枝打ち
- 間伐(撫育)
- ☆ 伐採
- ⊕ 鹿柵設置



■管理業務実行位置図■ 愛知演習林



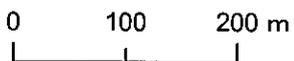
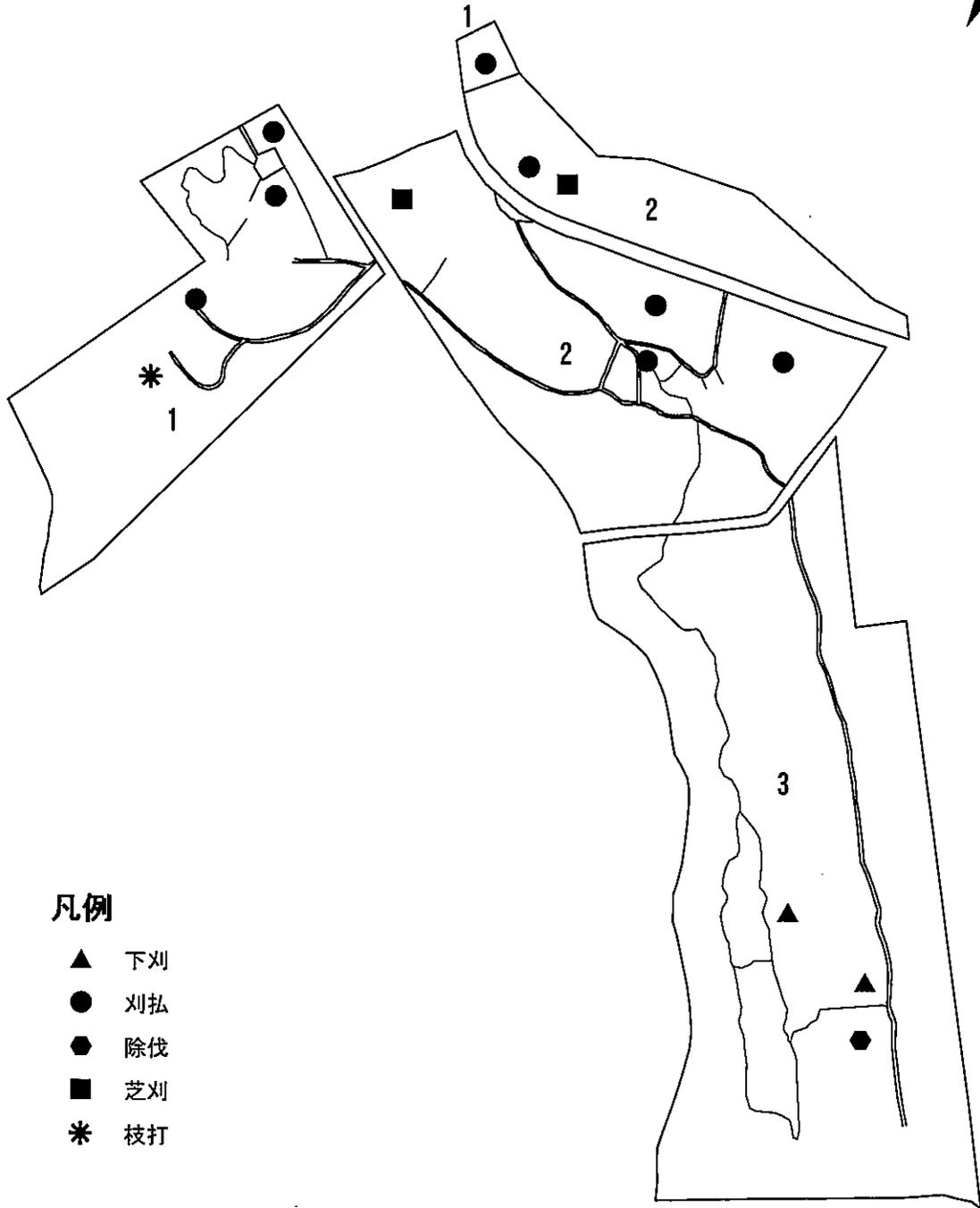
凡例

- 新補植
- ▲ 下刈り
- * 枝打ち
- 除伐
- 間伐
- マツノザイセンチュウ駆除
- ⊗ モニタリング1000
- × 地拵え
- ◎ 試験地調査

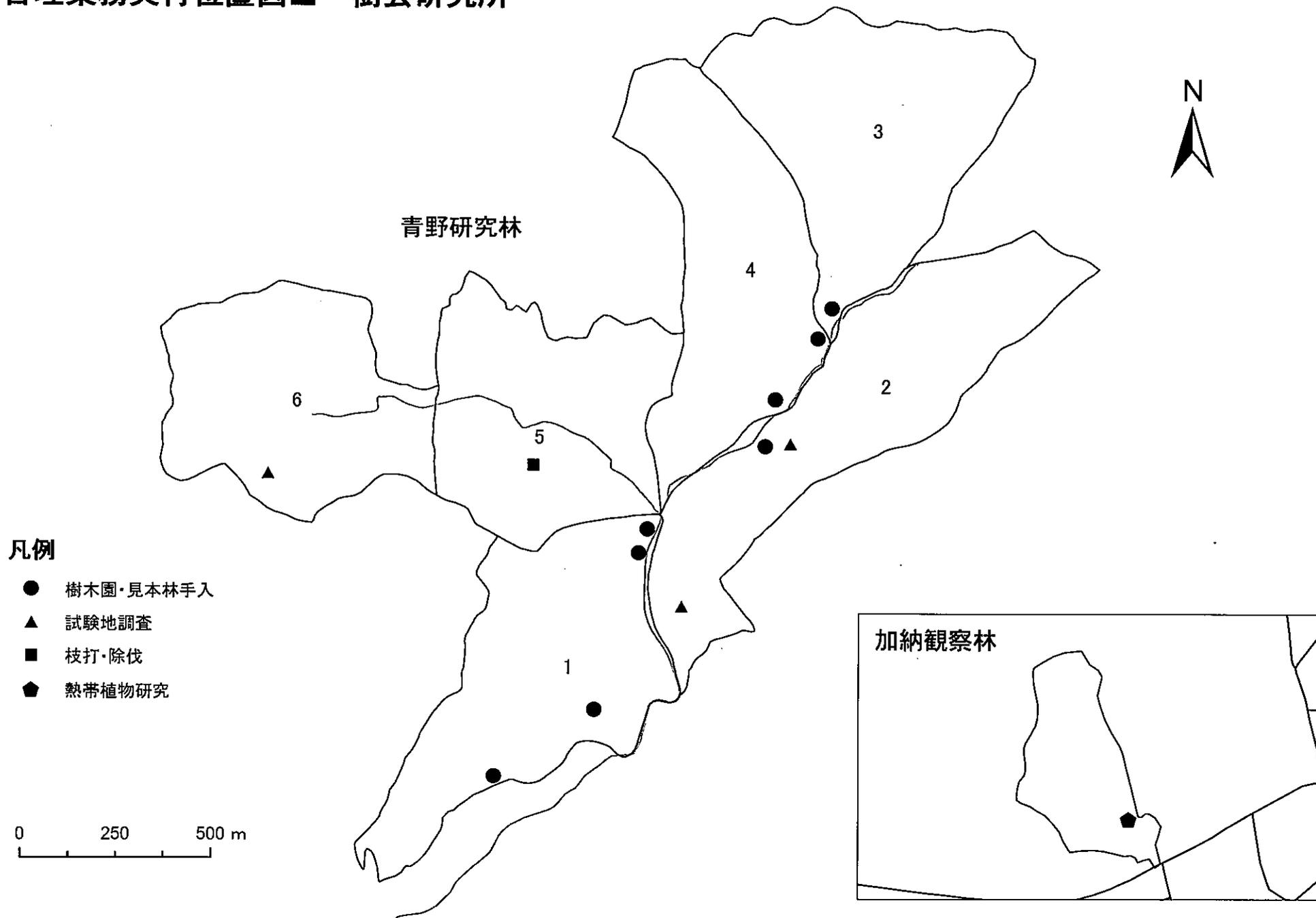


新居試験地

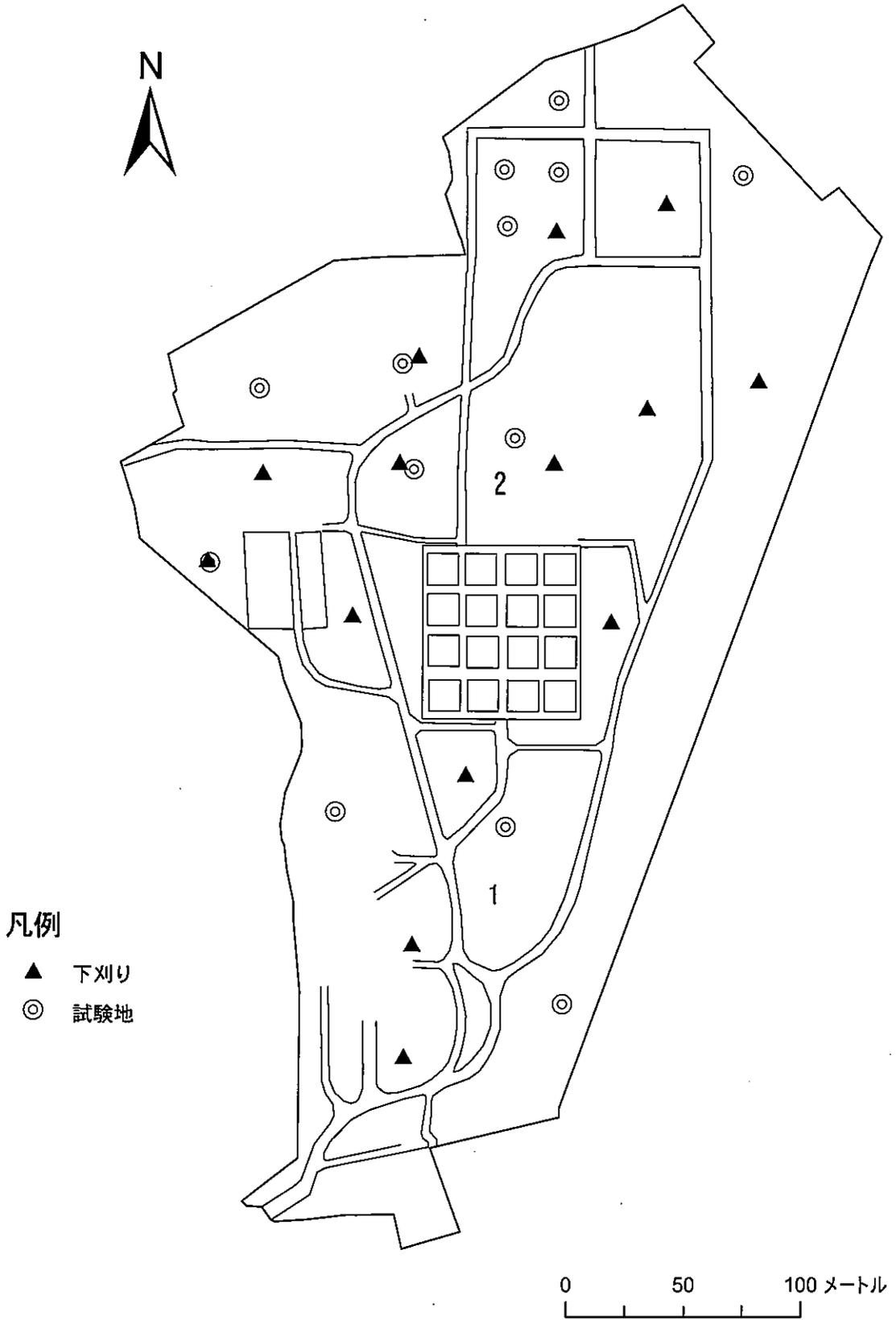
■管理業務実行位置図■ 富士演習林



■ 管理業務実行位置図 ■ 樹芸研究所



■管理業務実行位置図■ 田無試験地



管理面積集計表

2007年6月30日現在

ha

	樹林地									竹林	伐採跡地	未立木地	その他
	合計	人工林				天然林							
		小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林				
千葉	2,170	841	811	21	9	1,261		366	895	1			67
北海道	22,698	3,323	3,023	86	214	18,432	1,808	12,707	3,917			756	187
秩父	5,812	767	749		18	4,984	117	60	4,807				61
愛知	1,292	380	374		6	872		872					40
富士	38	38	34	1	3								
樹芸	246	109	50		59	106			106				31
田無	9	6	2	3	1								3
合計	32,265	5,464	5,043	111	310	25,655	1,925	14,005	9,725	1		756	389

林相別蓄積集計表

2007年6月30日現在

m³

	計	人工林	天然林
千葉	519,449	311,630	207,819
北海道	4,497,008	518,046	3,978,962
秩父	870,425	162,109	708,316
愛知	195,565	58,751	136,814
富士	3,493	3,493	
樹芸	59,760	39,424	20,336
田無	1,817	1,817	
合計	6,144,027	1,091,780	5,052,247

立木伐採量

m³

	伐採材積（主伐）							利用 間伐 材積	主間伐 合計	
	計	人工林			天然林					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	針葉樹	広葉樹			
千葉	立木販売	156	129	129	27		27		156	
	素材生産資材量	87	85	85	2		2		87	
	その他									
	合計	243	215		29		29		243	
北海道	立木販売	15,849			15,849	13,413	2,436	7,377	23,226	
	素材生産資材量	3,305			3,305	1,998	1,307		3,305	
	その他	386			386		386		386	
	合計	19,540			19,540	15,411	4,129	7,377	26,917	
秩父	立木販売	2			2		2		2	
	素材生産資材量									
	その他									
	合計	2			2		2		2	
愛知	立木販売	254	126	113	13	128	15	112	51	304
	素材生産資材量									
	その他									
	合計	254	126	113	13	128	15	112	51	304
富士	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合計									
樹芸	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合計									
田無	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合計									
合計	立木販売	16,261	256	243	13	16,006	13,428	2,577	7,428	23,689
	素材生産資材量	3,392	85	85		3,307	1,998	1,309		3,392
	その他	386				386		386		386
	合計	20,039	341	328	13	19,699	15,426	4,272	7,428	27,467

育林実行量

	造林		保育(ha)	備考
	面積(ha)	植栽本数(本)		
千葉	0.60	1,730	14.57	下刈り7.19ha 除伐・枝打ち0.1ha シカ食害防止柵作り0.6ha 間伐(6.08ha) 地拵え0.6ha
北海道	20.67	24,730	136.91	下刈(直19.53ha, 請57.82ha) 蔓切除伐(請34.77ha) 枝打(直3.80ha) 根踏(直12.65ha) 野鼠防除(直8.34ha)
秩父	1.47	2,680	15.87	補植0.70ha(1,060本) 下刈り2.55ha 枝打ち2.77ha 間伐2.20ha(クマハギ被害木) 撫育間伐7.64ha(請負) シカ食害防止柵設置0.01ha
愛知	0.25	1,044	5.36	補植ヒノキ挿し木64本 下刈1.49ha 枝打0.67ha 間伐1.1ha 間伐2.1ha
富士			12.87	下刈4.16ha 芝刈5.7ha 落枝片付・整理2.46ha 枝打0.3ha 除伐0.25ha
樹芸			0.14	除伐1.0ha 枝打0.04ha
田無			3.73	下刈3.73ha
合計	22.99	30,184	189.45	

植栽樹種

	本				
	スギ	ヒノキ	マツ	アイクロマツ	ケヤキ
千葉	180	900	500	50	100
北海道	トドマツ	アカエゾ	エゾマツ		
	9,905	5,785	9,040		
秩父	スギ	ヒノキ	サワラ		
	1,970	620	90		
愛知	ヒノキ	マツ			
	1,044	1,342			
富士					
樹芸					
田無					

素材生産総括表

	素材生産資材量			素材生産量			歩留(%)		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹
	千葉	87.21	85.21	2.00	41.657	39.657	2.000	73.25	46.50
北海道	3,305.00	1,998.00	1,307.00	2,417.00	1,532	885	73	77	68
秩父									
愛知									
富士									
樹芸									
田無									
合計	3,392.21	2,083.21	1,309.00	2,458.66	1,571.66	887.00			

m³

土木実行総括表

	実行内容	実行数量			
		千葉	車道維持	歩道維持	
		35,593	18,197		
北海道	車道草刈	車道補修	車道砂利敷き均し		
		283,700	60,860	14,560	
秩父	車道新設	車道維持	歩道維持		
		1,847*	13,859	32,399	
愛知	車道維持	車道草刈	歩道維持	歩道草刈	
		1,500	4,500	800	300
富士					
樹芸	車道草刈	歩道草刈			
		5,621	2,712		
田無					

m

注) 秩父: 車道新設, 県より管理替(国道140号雁坂道路開設工事に基づく補償工事) 林道1,217m 作業道630m

道路現況

	車道延長				歩道延長	
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)
千葉	31,262		31,262	14.21	126,190	57.36
北海道	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.34
秩父	11,395	2,464	13,859	2.4	181,391	31.2
愛知	11,840	1,500	13,340	10	12,400	9.60
富士	2,087		2,087	54.92	2,357	62.03
樹芸	3,593		3,593	14.6	11,753	47.8
田無						
合計	544,677		997,531		339,536	

m

各演習林所在地および連絡先

研究部

〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話 03-5841-5497
FAX 03-5841-5494

千葉演習林

〒299-5503
千葉県鴨川市天津770
電話 04-7094-0621
FAX 04-7094-2321

清澄作業所

〒299-5505
千葉県鴨川市清澄135
電話 04-7094-0585

札郷作業所

〒292-0537
千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1
電話 0439-39-3122

郷台作業所

〒292-0533
千葉県君津市折木沢字相ノ沢
電話 0439-39-3121

北海道演習林

〒079-1561
北海道富良野市字山部2条通北1
電話 0167-42-2111
FAX 0167-42-2689

セミナーハウス

〒076-0161
北海道富良野市字麓郷市街地1
電話 0167-29-2204

山麓作業所

〒079-1561
北海道富良野市字山部2条通北1
電話 0167-42-2111

東山作業所

〒076-0202
北海道富良野市字東山9号地

山部樹木園

〒079-7582
北海道富良野市字山部第一苗圃
電話 0167-39-6017

秩父演習林

〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話 0494-22-0272
FAX 0494-23-9620

栃本作業所

〒369-1901
埼玉県秩父市大滝3450
電話 0494-55-0355

大血川作業所

〒369-1907
埼玉県秩父市大滝5198
電話 0494-54-1220

影森苗畑

〒369-1871
埼玉県秩父市大字下影森764
電話 0494-23-9768

愛知演習林

〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話 0561-82-2371
FAX 0561-85-2838

赤津作業所・白坂苗畑

〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1
電話 0561-82-8816

犬山作業所

〒484-0094
愛知県犬山市塔野地字大畔178-2
電話 0568-61-0270

穴の宮試験地

〒489-0008
愛知県瀬戸市曾野町411-1

新居試験地

〒431-0300
静岡県浜名郡新居町ハマンガ3606-1

富士演習林

〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話 0555-62-0012
FAX 0555-62-4798

樹芸研究所

〒415-0304
静岡県賀茂郡南伊豆町加納457
電話 0558-62-0021
FAX 0558-62-3170

青野作業所

〒415-0327
静岡県賀茂郡南伊豆町青野851
電話 0558-62-0254

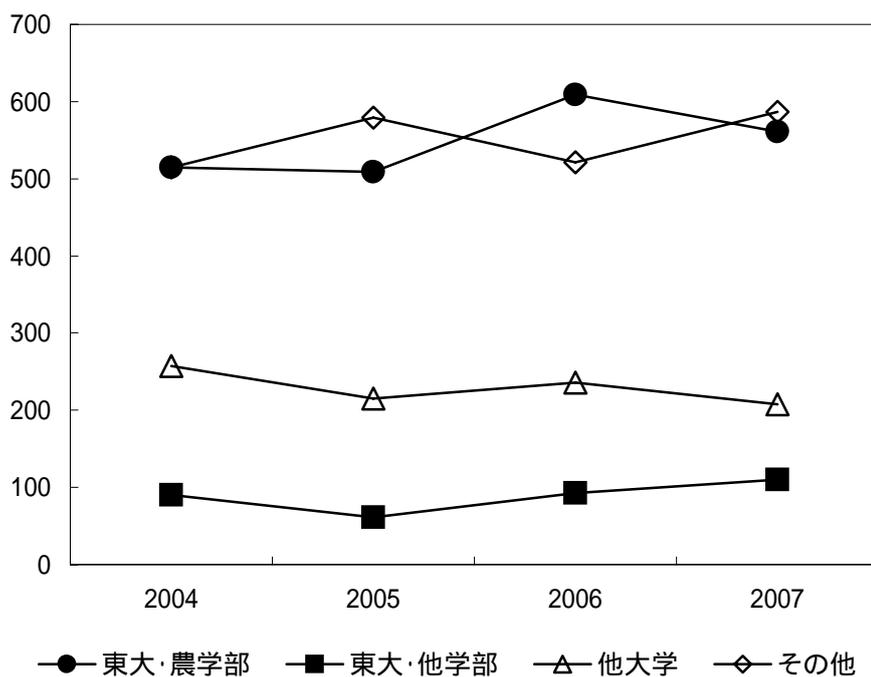
田無試験地

〒188-0002
東京都西東京市緑町1-1-8
電話 0424-61-1528
FAX 0424-61-2302

教職員の写真

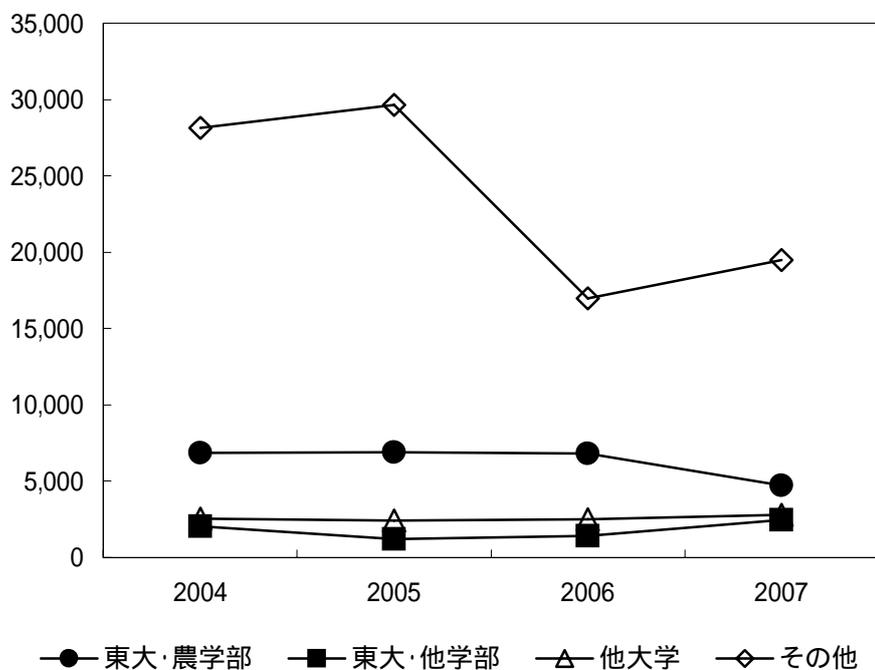
(153ページより)

2008年4月1日以降に在職された方で、希望のあった方を掲載しています。



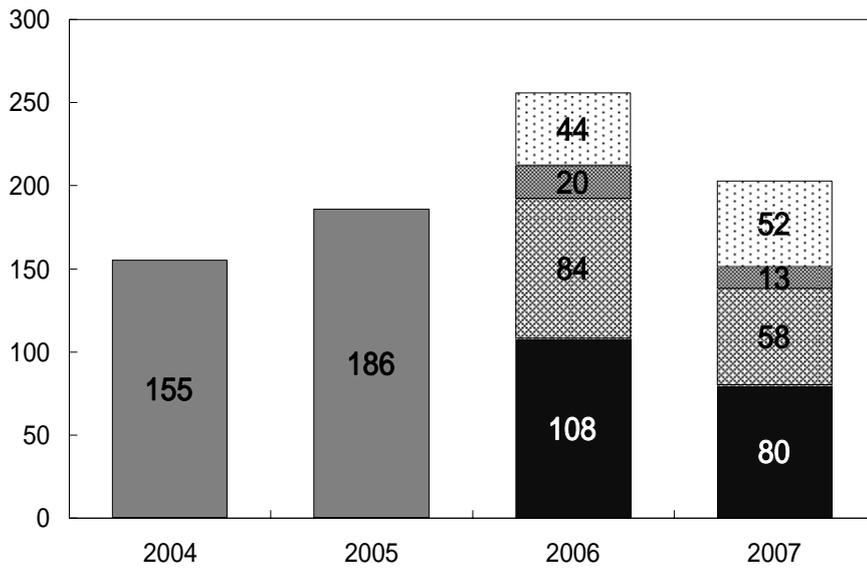
利用件数

一般公開(千葉)、ラングラウフ(北海道)、ロードレース(富士)の利用を除く



利用者延べ人数

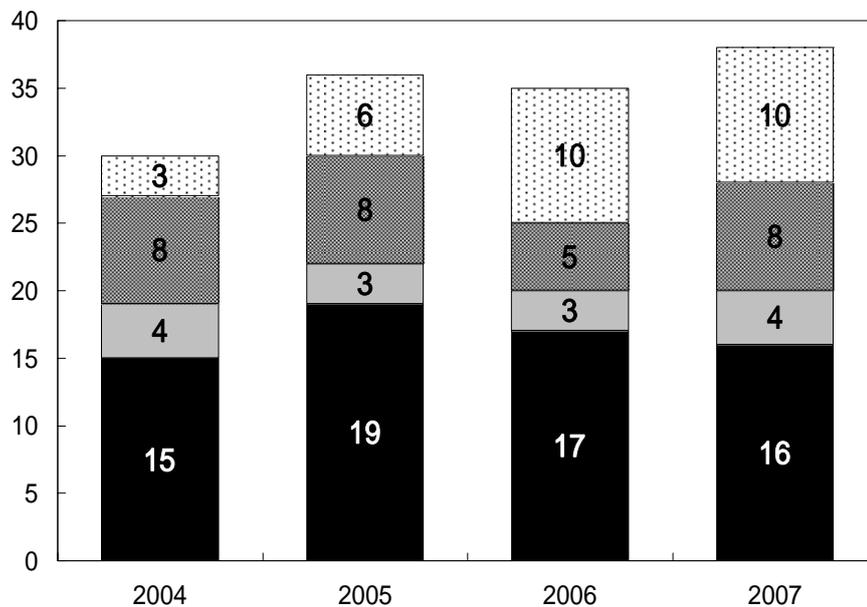
一般公開(千葉)、ラングラウフ(北海道)、ロードレース(富士)の利用を除く



■ 教職員の論文等 ▨ 学会発表等 ▩ 著書等 □ 利用者の論文等 ■ 利用して行った

論文等の本数

2006年度から集計方法を変更した



■ 科学研究費 □ 他機関との共同研究 ▨ 受託研究費 □ 奨学寄付金

外部研究費の獲得数

奨学寄付金は里親制度を含まない

地方演習林(研究部を含む)

シンボルカラー

科学の森教育研究センター：緑
森林およびシンボルマークの色。

千葉演習林：萌黄色
千葉演習林の照葉樹林の新緑の色。

北海道演習林：^{かめのぞき}瓶覗
少し青みがかった雪のイメージ。

秩父演習林：秩父紅どうだん
チチブドウダンの花の色。

愛知演習林：^{くちなし}梔子色
犬山に自生のクちなシがある。瀬戸市の主要産業である窯業の土をイメージさせる。

富士演習林：^{るり}瑠璃色
山中湖と富士山の色。

樹芸研究所：オレンジ
暖かい、演習林で一番若い光のイメージ。

田無試験地：桜色
春の代表的な花として親しまれているサクラの花の色。

研究部：紺瑠璃
父なる山を管理する各演習林をとりまとめる母なる海のイメージ。

里親制度パンフレットの表紙の原画募集入選作品

本部林長賞 辻 耕太 さん



研究部長賞 高野 すずか さん



広報情報室長賞 大村 耕平 さん

